11　品目別調査結果　その他品目

1. 野菜(きゅうり・トマト・アスパラガス・さやいんげん・ねぎ・ブロッコリー・グリーンピース)
2. きのこ類(しいたけ・なめこ)
3. 果物(梨・りんご・ぶどう)
4. 水産物(カツオ・カレイ類・シラス・トラフグ)
5. 畜産物(豚肉・鶏肉・牛乳)

その他の品目に関する掲載内容

- 野菜７品目、きのこ２品目、果物３品目、水産物４品目、畜産物３品目の計19品目について、概要調査とアンケート調査の内容を記載している。
  - 品目によって収集可能なデータが違っているため、掲載内容も異なる。
  - 野菜ときのこについては、概要調査のデータを幅広く収集して記載している。

品目ごとの掲載内容（野菜・きのこ）

	きゅうり	トマト	アスパラガス	さやいんげん	ねぎ	ブロッコリー	グリーンピース	しいたけ	なめこ
出荷量※1(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	○	○
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	△(※3)	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※2)	△(※2)	○	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※2)	△(※2)	○	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※１：しいたけ・なめこは生産量。　※２：東京市場のみ。　※３：一部の市場のみ。

441

その他の品目に関する掲載内容

- 果物と水産物については、概ね野菜・きのこと同様の内容を掲載している。
- 畜産物については、政府統計が存在しない（更新が停止されている）などの理由から概要調査の情報は限られている。

品目ごとの掲載内容（果物・水産物・畜産物）

	梨	りんご	ぶどう	カツオ	カレイ類	シラス	トラフグ	豚肉	鶏肉	牛乳
出荷量(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※2)	△(※3)
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)	△(※2)	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

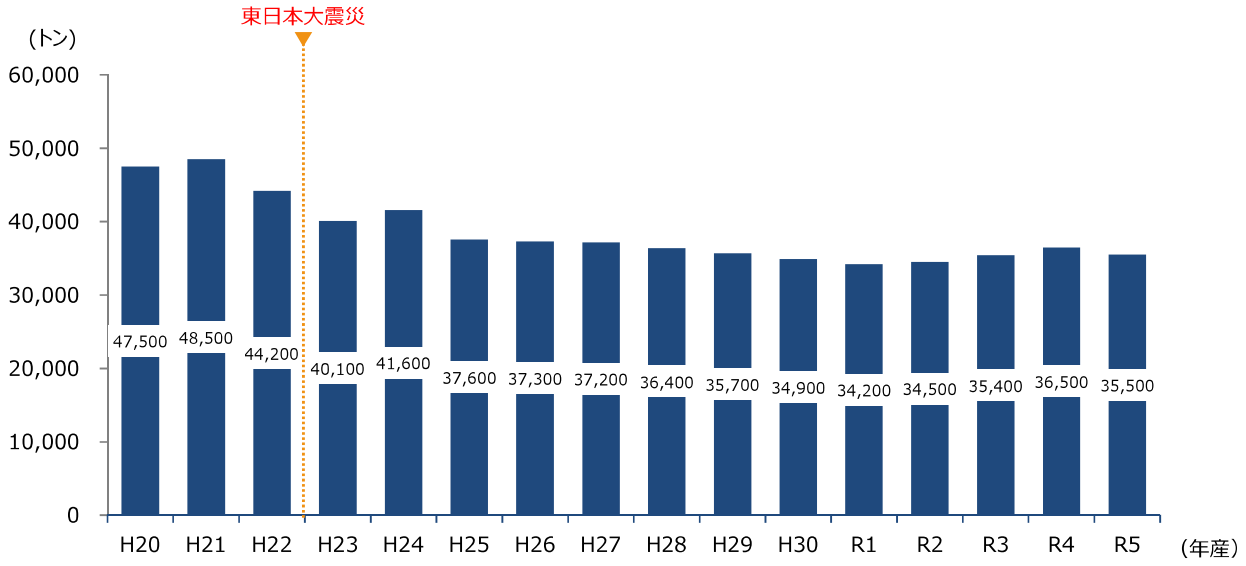
※１：東京市場のみ。　※2：平成26年までのデータのみ。全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数。　※3：系統出荷分のみ。

442

福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災後平成24年産を除いて減少傾向で推移していたが、令和元年産を底に、令和2年産以降は増加に転じた。しかし、令和5年産は令和4年産を下回り、35,500トンとなった。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

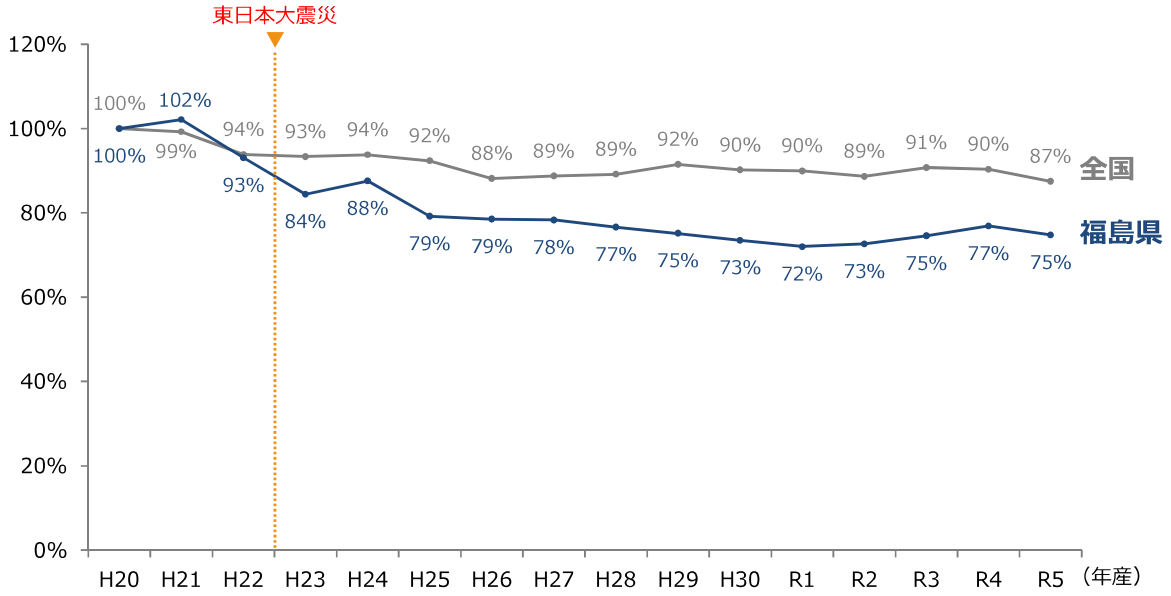


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、震災前からは微減したが近年概ね横ばいで推移している。福島県産は震災後の平成23年産・平成25年産の大幅減少もあり、全国より減少幅が大きい。

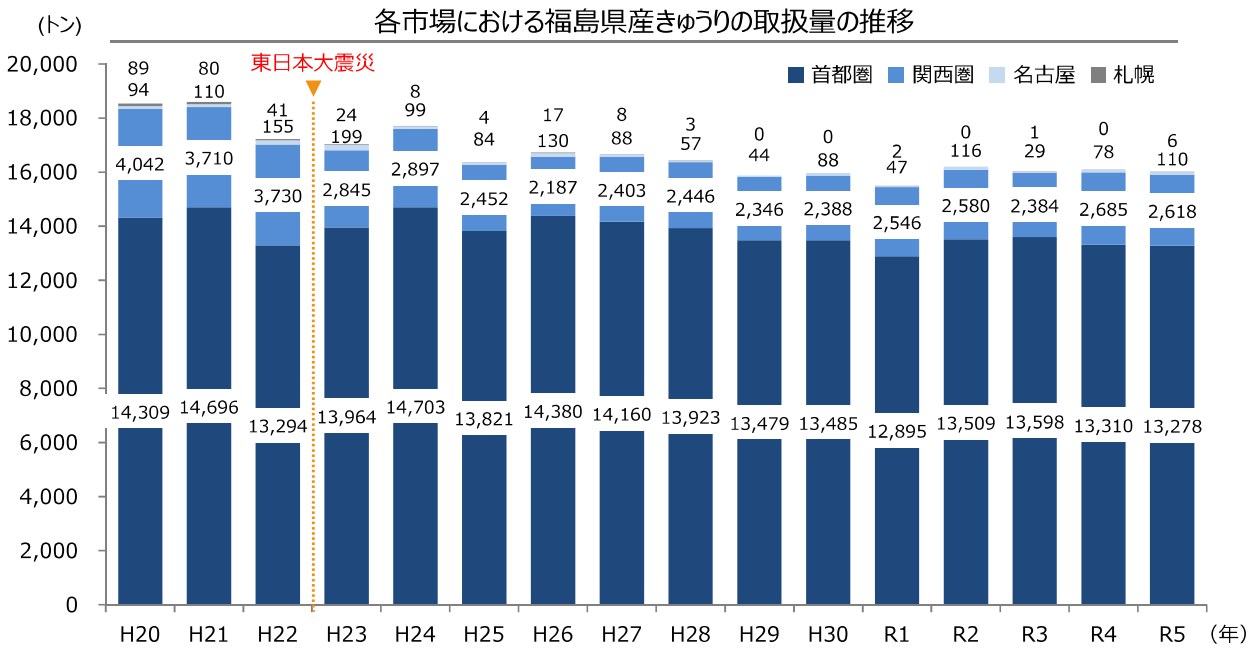
全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌への流通は震災前から少ない。



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産きゅうりのシェアは、東京都中央卸売市場では７月～９月に１位であった。横浜市中央卸売市場では６月～９月に１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	2%	14%	42%	45%	29%	11%	3%	0%	10,527
群馬	7%	18%	26%	28%	26%	24%	8%	4%	18%	31%	21%	8%	13,023
宮崎	46%	37%	25%	17%	12%	3%	0%	0%	0%	3%	28%	47%	10,376
埼玉	4%	3%	13%	23%	27%	25%	4%	0%	11%	25%	20%	10%	10,031
千葉	16%	17%	14%	10%	9%	7%	5%	2%	2%	4%	9%	15%	5,935
総量	**4,154**	**4,094**	**5,689**	**6,370**	**8,019**	**6,720**	**7,056**	**8,061**	**7,156**	**5,109**	**4,702**	**4,079**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	4%	14%	28%	48%	49%	37%	23%	8%	0%	2,751
高知	55%	44%	36%	22%	18%	8%	0%	0%	0%	3%	27%	45%	2,253
群馬	0%	5%	17%	23%	27%	21%	1%	0%	16%	28%	20%	5%	1,750
千葉	17%	21%	17%	13%	9%	7%	5%	3%	2%	2%	7%	14%	1,109
宮崎	21%	18%	9%	6%	0%	1%	0%	0%	0%	7%	11%	26%	817
総量	**767**	**717**	**981**	**1,028**	**1,327**	**1,164**	**1,352**	**1,571**	**1,280**	**931**	**862**	**773**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産きゅうりのシェアは、大阪市中央卸売市場では７月～９月に１位であった。京都市中央卸売市場では８月に１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	11%	35%	39%	26%	5%	0%	0%	2,319
宮崎	39%	34%	37%	41%	38%	28%	3%	2%	4%	24%	40%	41%	4,725
高知	20%	24%	24%	21%	17%	11%	0%	0%	0%	6%	21%	28%	2,434
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	5%	18%	19%	24%	17%	6%	0%	1,585
愛媛	6%	6%	6%	5%	5%	8%	15%	12%	6%	3%	2%	4%	1,350
総量	**1,263**	**1,145**	**1,458**	**1,571**	**2,046**	**1,854**	**2,053**	**2,172**	**1,852**	**1,212**	**1,112**	**1,154**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	4%	6%	41%	10%	0%	0%	0%	299
宮崎	16%	58%	56%	7%	56%	7%	1%	0%	2%	18%	48%	13%	1,223
高知	59%	26%	25%	26%	17%	0%	0%	0%	0%	2%	13%	35%	627
滋賀	1%	0%	1%	19%	2%	34%	8%	2%	7%	19%	18%	33%	532
京都	1%	0%	0%	0%	2%	13%	40%	4%	21%	10%	3%	1%	418
佐賀	2%	7%	2%	16%	12%	1%	1%	6%	9%	19%	11%	3%	402
総量	**152**	**362**	**455**	**361**	**588**	**372**	**318**	**467**	**720**	**441**	**461**	**197**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産きゅうりの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	2%	1%	1%	0%	0%	110
愛知	58%	60%	56%	48%	43%	33%	6%	2%	1%	4%	35%	50%	4,955
長野	0%	0%	1%	5%	8%	24%	56%	59%	40%	19%	6%	1%	3,110
群馬	0%	1%	11%	18%	21%	19%	3%	1%	17%	43%	21%	2%	2,026
宮崎	19%	15%	12%	13%	12%	11%	1%	0%	0%	6%	17%	22%	1,552
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	23%	21%	19%	6%	0%	0%	1,046
総量	**1,087**	**1,018**	**1,341**	**1,428**	**1,775**	**1,442**	**1,466**	**1,541**	**1,427**	**989**	**1,036**	**972**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
北海道	0%	1%	3%	4%	10%	85%	100%	99%	100%	86%	18%	0%	4,768
宮崎	87%	76%	68%	61%	54%	9%	0%	0%	0%	10%	72%	93%	2,041
千葉	10%	18%	22%	18%	12%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	364
埼玉	0%	0%	2%	5%	8%	1%	0%	0%	0%	2%	5%	2%	121
群馬	1%	3%	3%	3%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	73
総量	**332**	**312**	**399**	**413**	**599**	**946**	**1,271**	**1,157**	**949**	**503**	**335**	**313**	

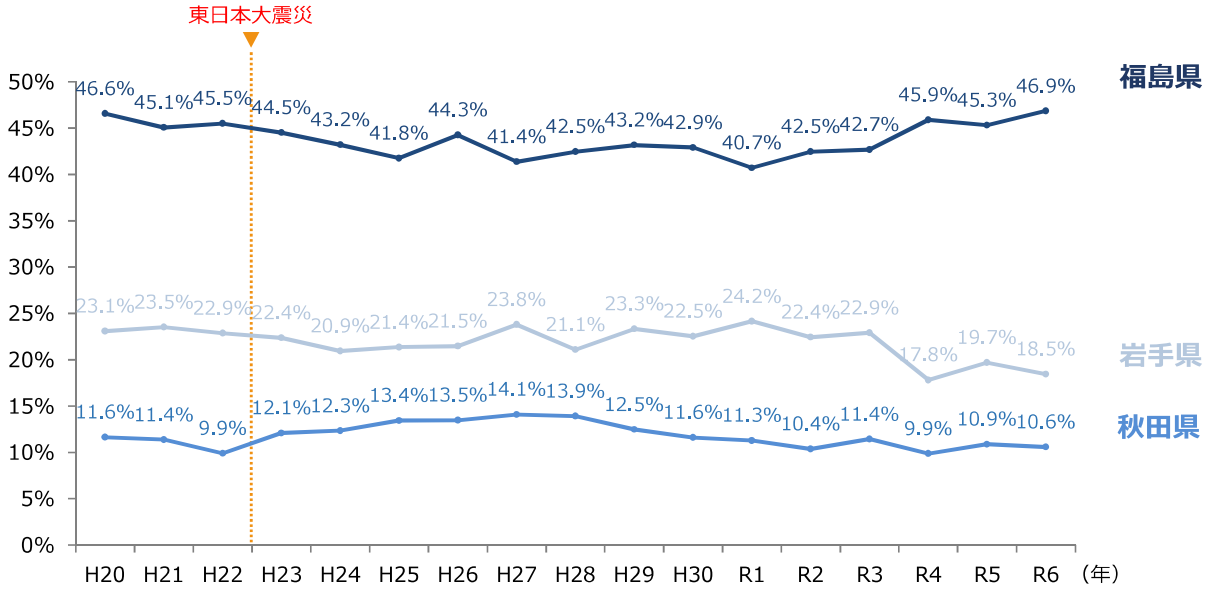
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

東京都中央卸売市場における８月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後に微減したものの、40%以上を維持している。また、直近３年は震災前と同水準のシェアとなった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(８月)

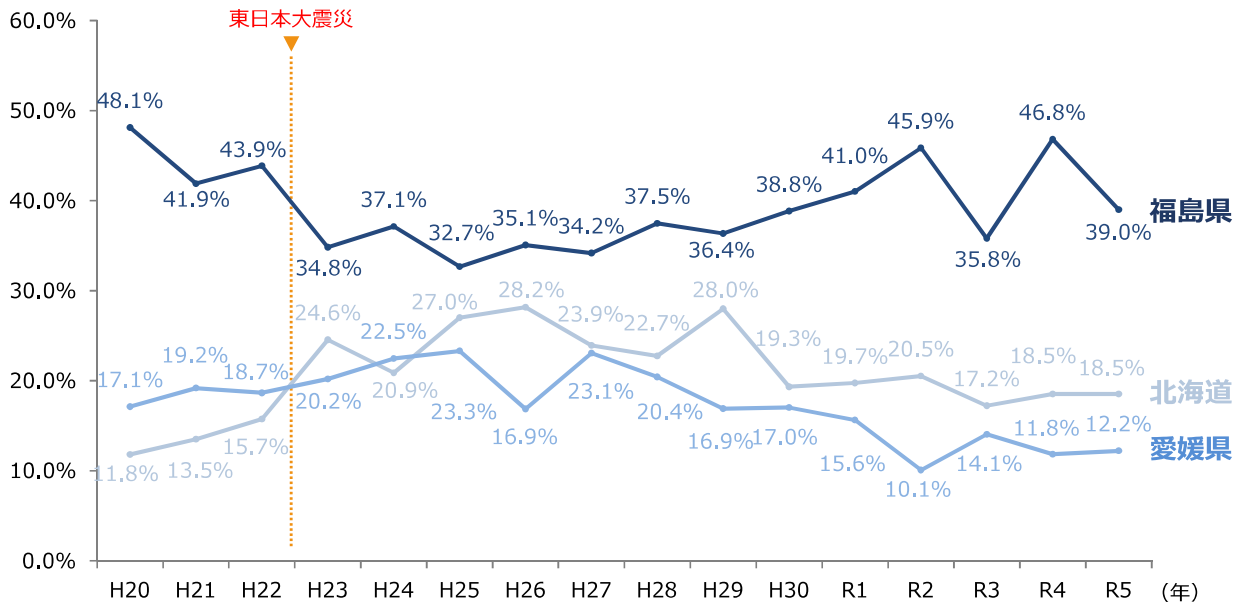


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

大阪市中央卸売市場における８月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後に縮小し、北海道産のシェアが拡大する状況が続いていた。平成25年～令和２年は福島県産のシェアが拡大したが、直近３年のシェアは35.8%、46.8%、39.0%と上下している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(８月)

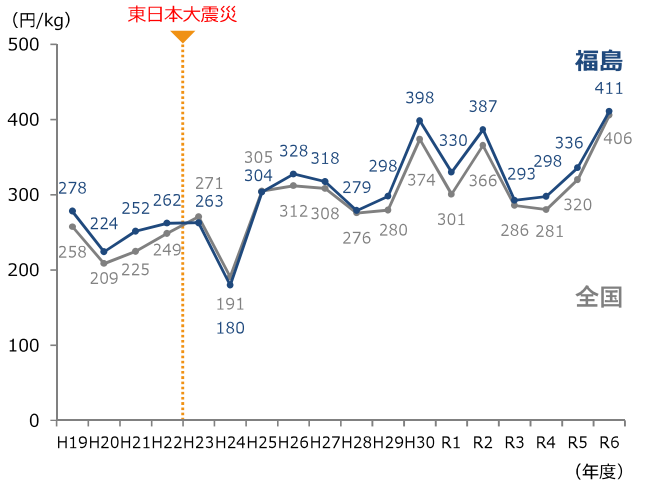


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

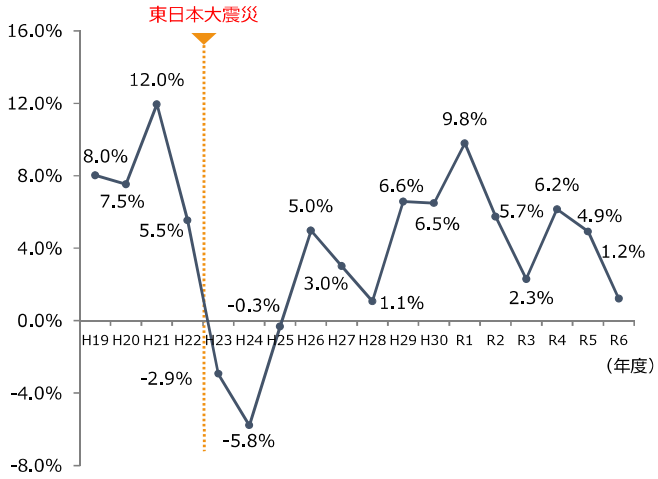
東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりの価格回復概況（夏秋きゅうり（７月～９月）全国平均との価格差）

東京都中央卸売市場における７月から９月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後３年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は全国平均と同水準以上となっている。

東京都中央卸売市場における平均単価推移
（夏秋きゅうり）



全国平均との価格差推移
（夏秋きゅうり）



→ 震災前(平成22年度)：262円/kg

→ 震災後(令和６年度)：411円/kg(+148円/kg)

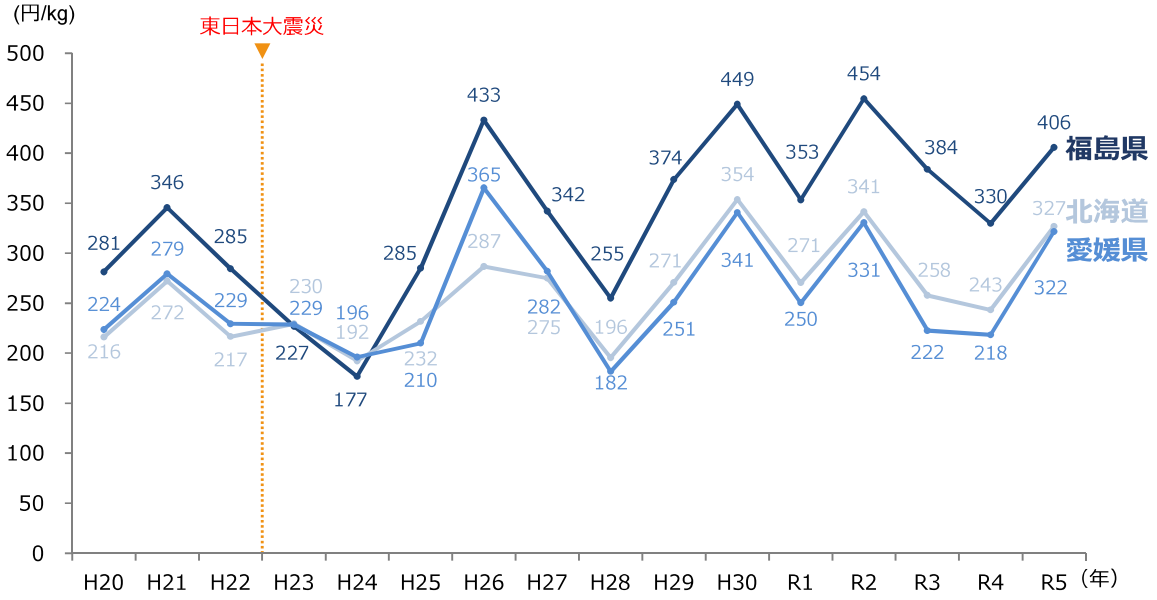
※７月～９月は福島県産の主な出荷時期。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

大阪市中央卸売市場における８月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は競合道県産を下回っていたが、平成25年以降は競合道県産を上回る水準で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(８月)

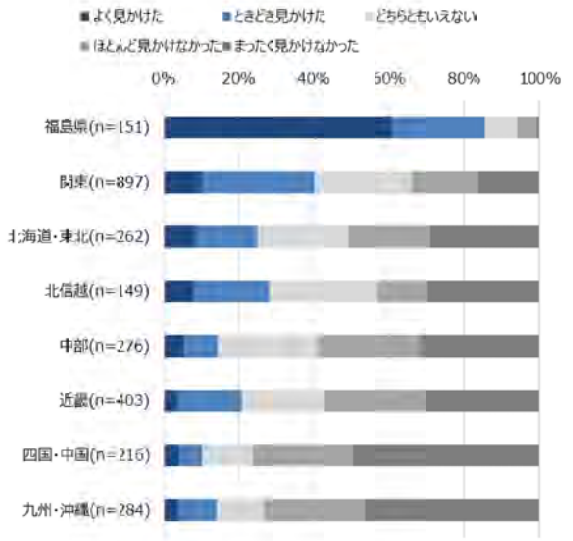


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産きゅうりを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

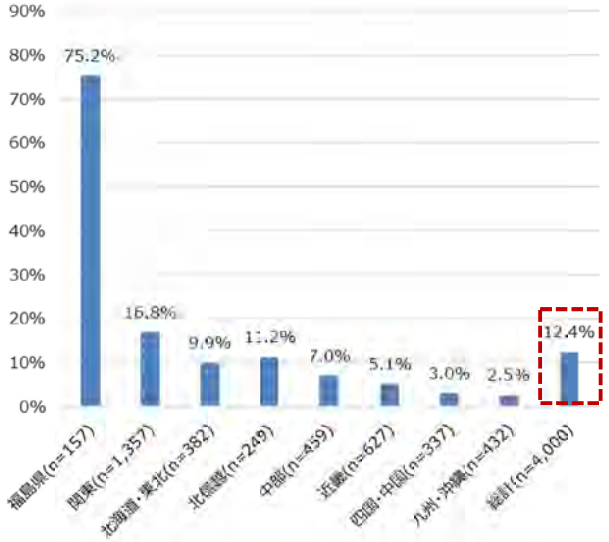
福島県産きゅうりを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、関東を除く他の地域では10%に満たない。福島県産きゅうりを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では12.4%であった。

福島県産きゅうりを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購入経験率

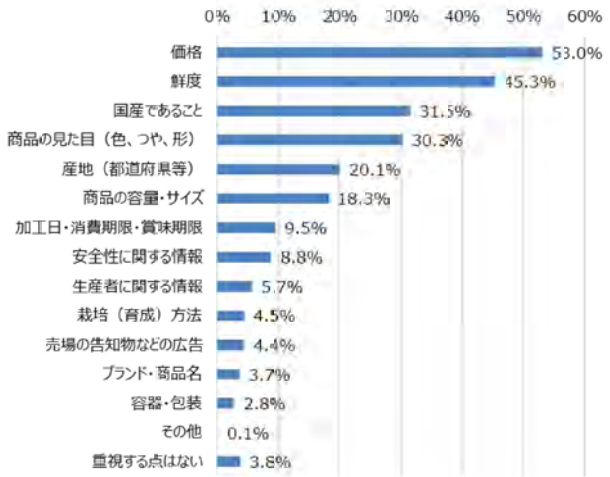


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

きゅうり購入時の重視点と福島県産きゅうり購入者の評価（消費者アンケート）

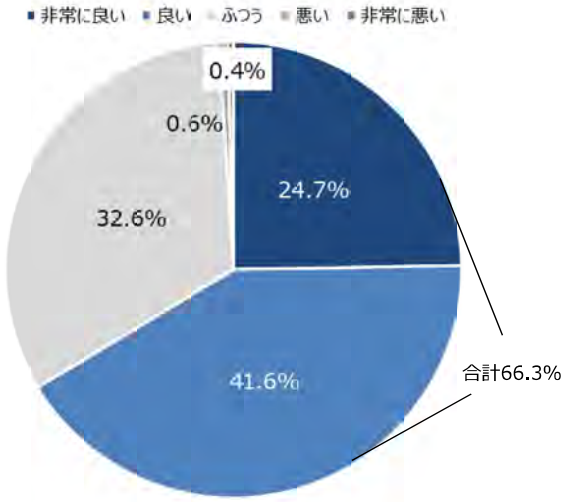
福島県産に限らずきゅうり購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産きゅうりの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が66.3%であった。

きゅうり購入時の重視点（n=3,280、複数回答）



※きゅうり購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上きゅうりを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうりの購入者の評価（n=497）

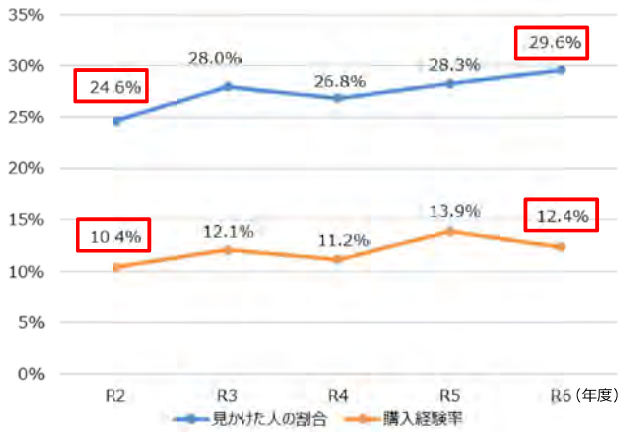


※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうりを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産きゅうりを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ5.0%ポイント、2.0%ポイント上昇し、福島県産きゅうりの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.6%ポイント上昇した。

福島県産きゅうりを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,231 、R3:7,855、R4:3,678、R5:2,904、R6:2,638。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000 、R6:4,000 。

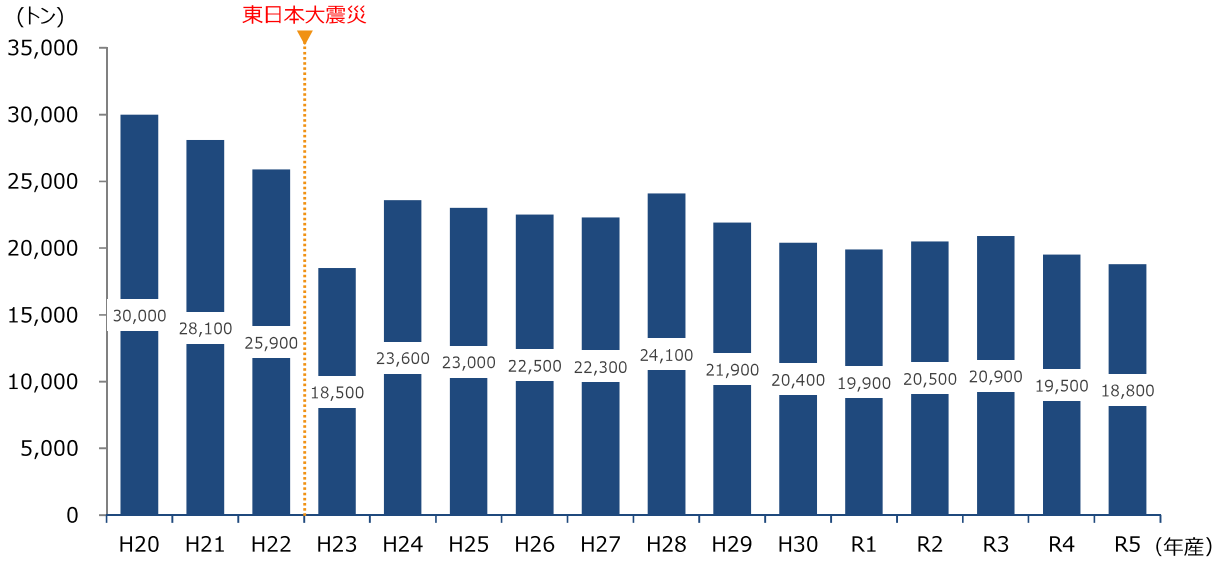
福島県産きゅうりを高く評価している人の割合

※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:1,144、R3:1,332、R4:617、R5:557、R6:497。

福島県産トマトの出荷量の推移

福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後は、緩やかな減少傾向にあった。令和２～３年産は微増したが、令和４～５年産で再び減少した。

福島県産トマトの出荷量の推移

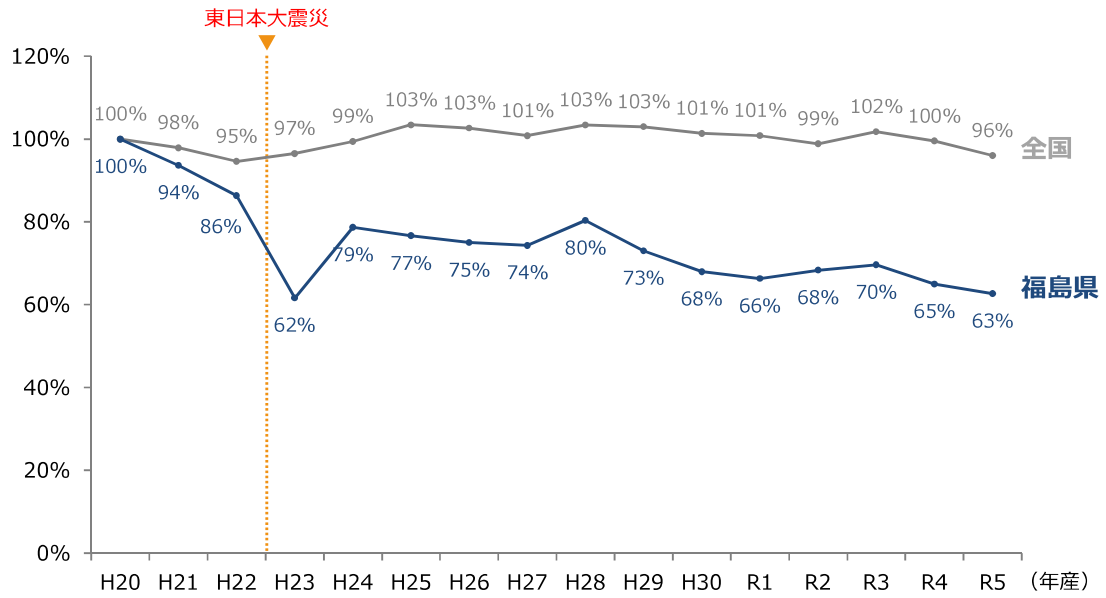


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量は概ね横ばいで推移していたが、直近３年は僅かに減少傾向にある。福島県産トマトの出荷量は、震災以前と比べて総じて低い水準であり、緩やかな減少傾向で推移している。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

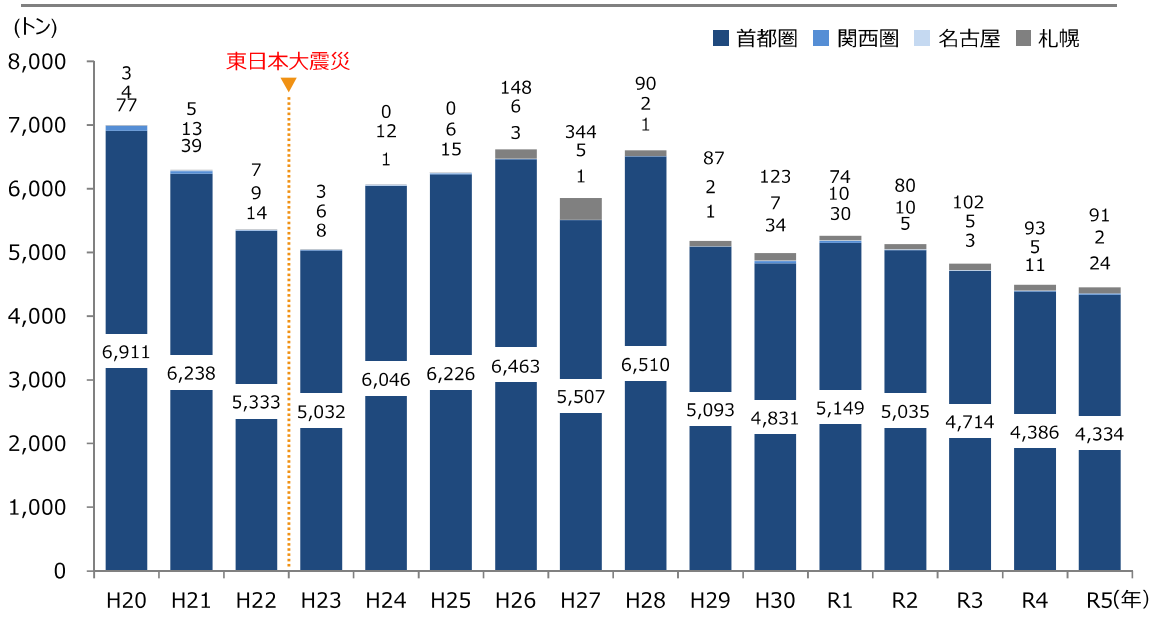


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後の平成26年以降、取扱量が増えている。令和５年においては、わずかに関西圏での取扱量が増えた。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるトマトの産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、８月～10月は福島県産トマトのシェアが10~20%程度であるが、それ以外の月では取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、７月～９月に福島県産トマトのシェアは３位となった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位~３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	19%	16%	12%	1%	0%	3,505
熊本	42%	34%	29%	31%	28%	18%	5%	2%	2%	16%	40%	43%	15,121
栃木	17%	22%	25%	26%	24%	22%	7%	1%	1%	3%	11%	16%	10,027
愛知	17%	16%	14%	12%	12%	12%	4%	0%	1%	8%	15%	17%	6,701
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	5%	19%	25%	17%	9%	1%	0%	5,042
千葉	4%	4%	4%	5%	7%	11%	5%	2%	17%	18%	12%	7%	4,940
総量	**5,064**	**4,487**	**5,246**	**5,829**	**7,840**	**7,386**	**6,647**	**8,406**	**5,434**	**3,226**	**3,659**	**4,674**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	3%	16%	21%	15%	6%	1%	0%	829
熊本	77%	74%	70%	68%	63%	42%	5%	3%	4%	32%	64%	74%	6,972
栃木	10%	14%	15%	14%	13%	11%	3%	0%	0%	1%	3%	7%	1,164
千葉	5%	4%	4%	4%	5%	6%	3%	3%	26%	24%	10%	6%	1,105
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	6%	17%	22%	18%	11%	8%	0%	1,044
青森	0%	0%	0%	0%	0%	5%	24%	23%	13%	6%	1%	0%	984
総量	**1,158**	**987**	**1,113**	**1,311**	**1,807**	**1,463**	**1,326**	**1,641**	**1,128**	**726**	**978**	**1,221**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるトマトの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産トマトの取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。京都市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位~３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24
熊本	77%	78%	75%	75%	75%	50%	8%	3%	4%	35%	63%	77%	15,030
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	12%	45%	45%	33%	15%	1%	0%	4,714
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	2%	14%	31%	35%	27%	17%	1%	3,437
愛知	5%	6%	6%	6%	6%	7%	3%	0%	0%	2%	3%	5%	1,262
茨城	0%	0%	0%	0%	0%	6%	9%	2%	7%	2%	0%	0%	799
総量	**2,268**	**2,064**	**2,143**	**2,531**	**3,316**	**3,185**	**3,070**	**3,954**	**2,638**	**1,584**	**1,965**	**2,400**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	80%	74%	18%	36%	66%	47%	3%	5%	7%	0%	64%	66%	4,000
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	20%	15%	83%	30%	23%	1%	0%	1,784
岐阜	3%	2%	2%	1%	2%	0%	48%	7%	52%	42%	23%	1%	1,480
福岡	2%	17%	53%	11%	22%	19%	9%	0%	0%	16%	3%	21%	1,263
京都	2%	1%	4%	6%	3%	7%	11%	1%	1%	0%	5%	3%	339
総量	**791**	**736**	**330**	**248**	**1,488**	**1,278**	**569**	**1,103**	**1,308**	**587**	**526**	**898**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるトマトの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産トマトの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、３月・５月～８月・11月～12月にシェアが３位以内となったが、北海道産や熊本県産と比較して、取扱量は僅かであった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
岐阜	12%	13%	14%	17%	12%	14%	36%	68%	76%	51%	38%	12%	4,581
熊本	47%	45%	46%	48%	49%	38%	7%	0%	0%	16%	32%	48%	4,218
愛知	23%	24%	24%	18%	21%	24%	25%	11%	10%	17%	15%	21%	2,793
三重	15%	14%	14%	16%	17%	14%	4%	0%	0%	6%	11%	15%	1,438
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	18%	15%	8%	4%	0%	0%	729
総量	**1,026**	**909**	**988**	**1,184**	**1,676**	**1,508**	**1,502**	**1,977**	**1,244**	**683**	**830**	**893**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	3%	4%	6%	3%	2%	1%	0%	1%	5%	2%	91
北海道	0%	1%	3%	8%	58%	91%	98%	99%	99%	95%	56%	1%	2,765
熊本	94%	88%	77%	75%	33%	5%	0%	0%	0%	3%	38%	90%	1,135
長崎	0%	9%	13%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	65
千葉	0%	0%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	23
総量	**249**	**179**	**223**	**234**	**365**	**589**	**731**	**561**	**385**	**236**	**190**	**184**	

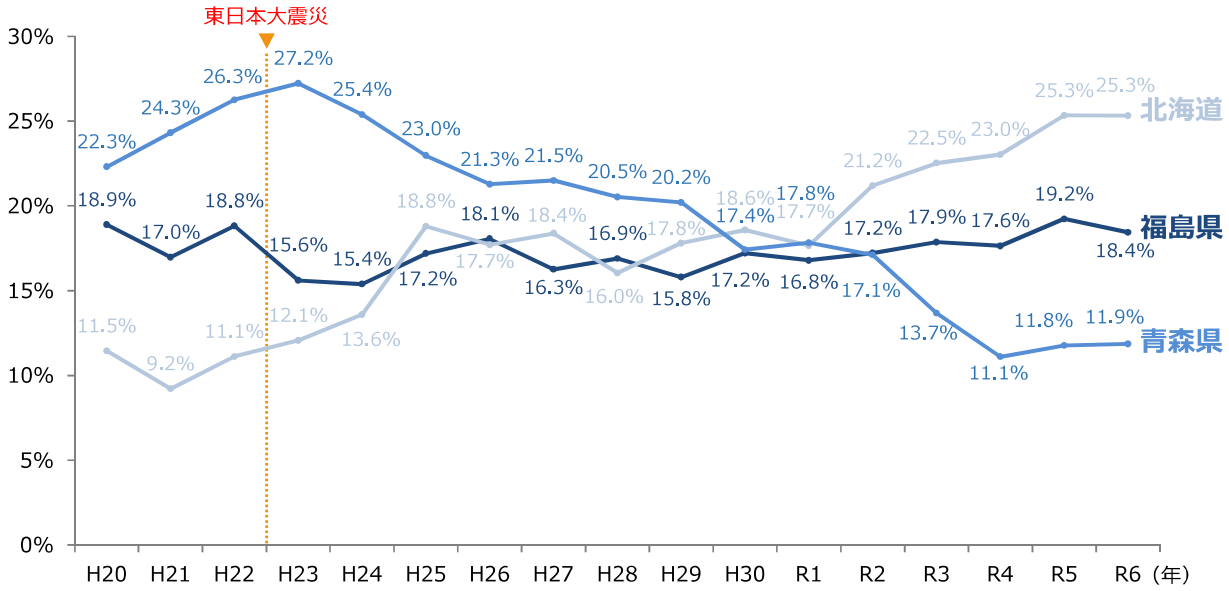
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

東京都中央卸売市場における８月の福島県産トマトのシェアは、震災後に微減したものの、近年では震災前の水準まで戻った。北海道産のシェアは震災後に拡大し、福島県産を上回っている。青森県産のシェアは令和２年以降、福島県産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(８月)

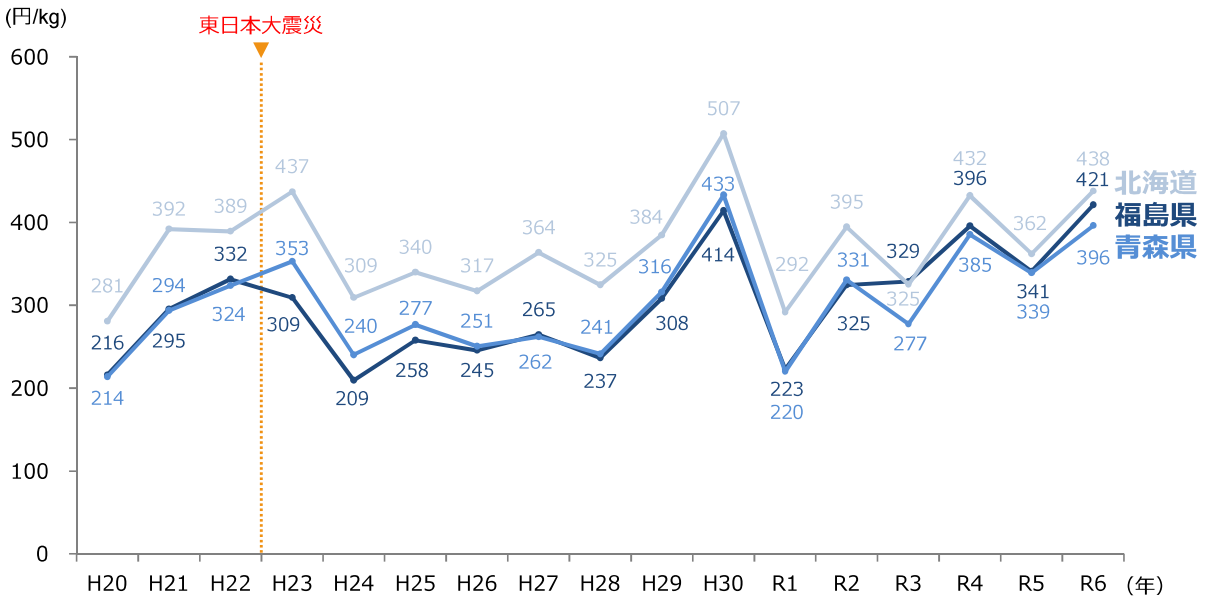


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場における８月の福島県産トマトの平均単価は、震災後に下落し、平成26年以降は青森県産と同程度の水準で推移している。近年、北海道産との価格差は縮小しつつあり、令和６年においては17円/kgの差であった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(８月)

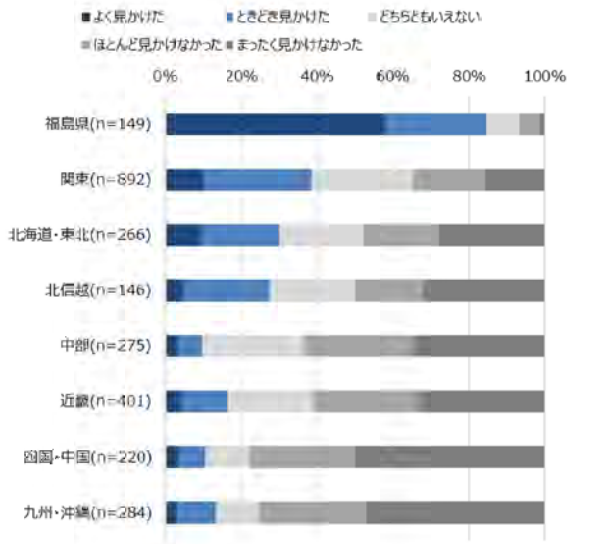


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産トマトを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

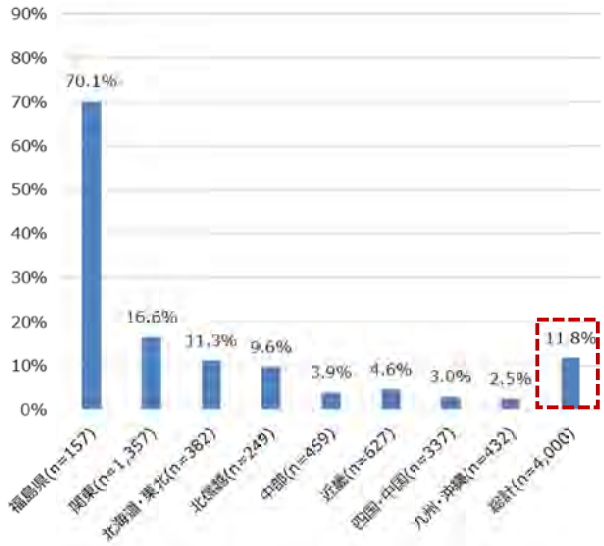
福島県産トマトを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、関東を除く他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.8%であった。

福島県産トマトを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購入経験率

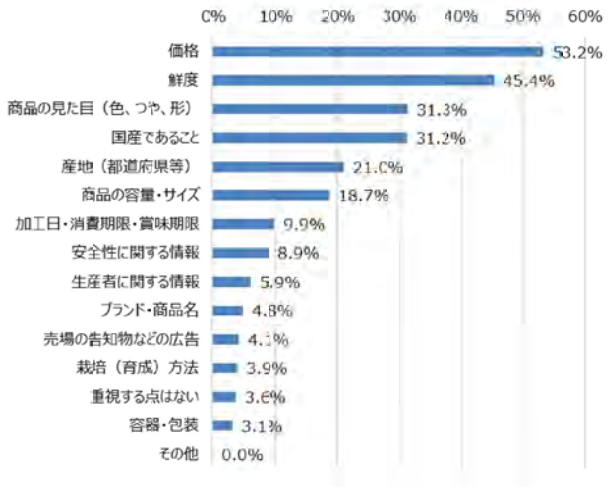


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

トマト購入時の重視点と福島県産トマトの購入者の評価（消費者アンケート）

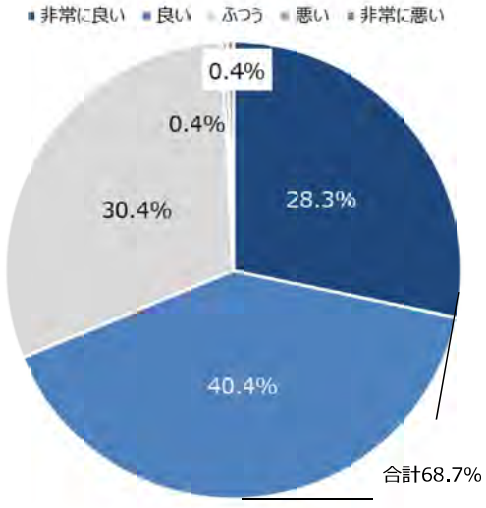
福島県産に限らずトマト購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産トマトの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が68.7%であった。

トマト購入時の重視点（n=3,320、複数回答）



※トマト購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上トマトを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトの購入者の評価（n=470）

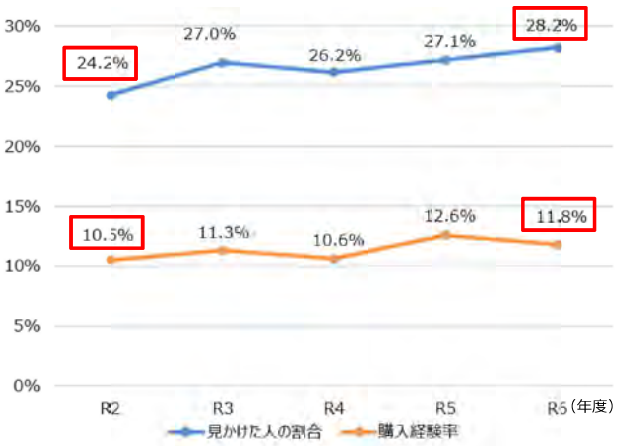


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

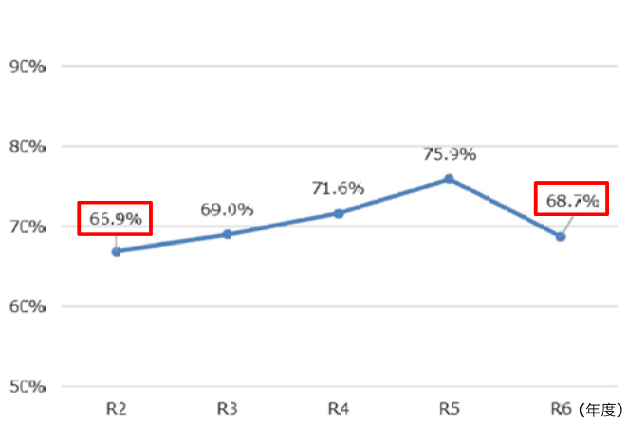
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産トマトを店頭で見かけた人の割合は4.0%ポイント、購入経験率は1.3%ポイント上昇し、福島県産トマトの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.8%ポイント上昇した。

福島県産トマトを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,240 、R3:7,865、R4:3,665、R5:2,903、R6:2,633。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000 、R6:4,000 。

福島県産トマトを高く評価している人の割合

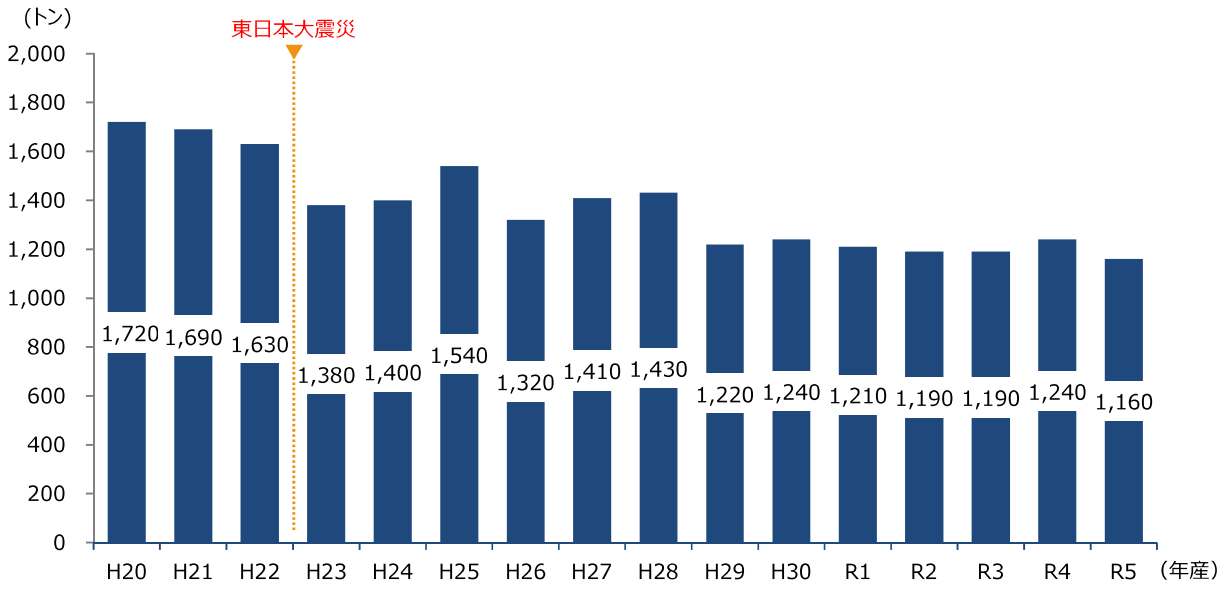


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:1,153、R3:1,248、R4:584、R5:502、R6:470。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成29年産以降、ほぼ横ばいの傾向であり、現在も震災前の水準に回復していない。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

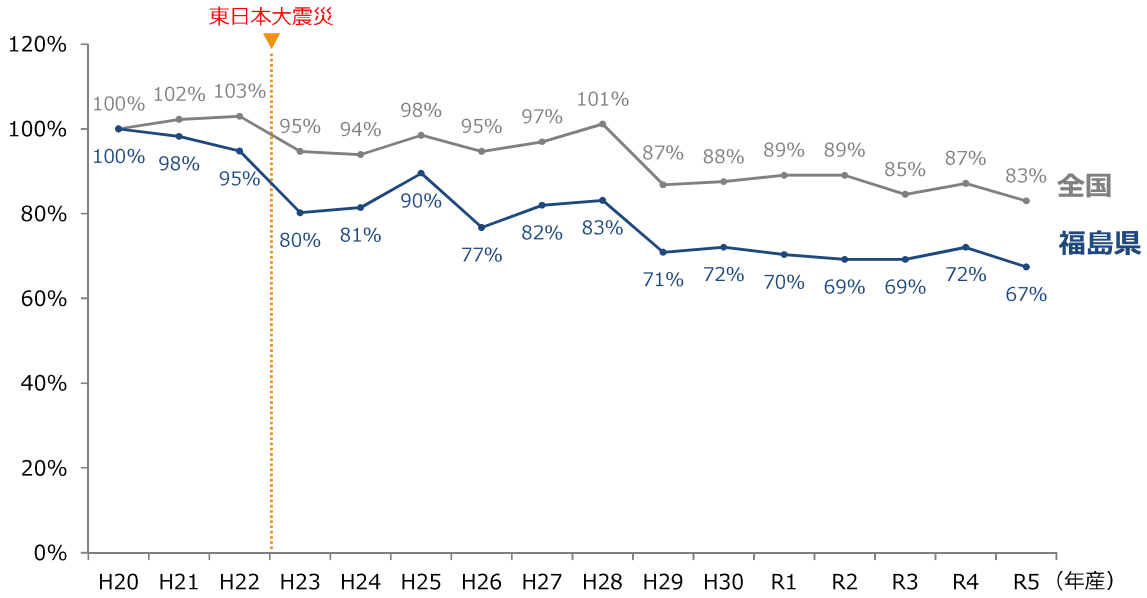


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移

全国のアスパラガスの出荷量は、近年は平成20年産より１割以上減少して推移している。福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後と平成29年産で大きく減少した。平成29年産以降は概ね横ばいだったが、令和５年産は平成20年産以降で最低の出荷量であった。

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

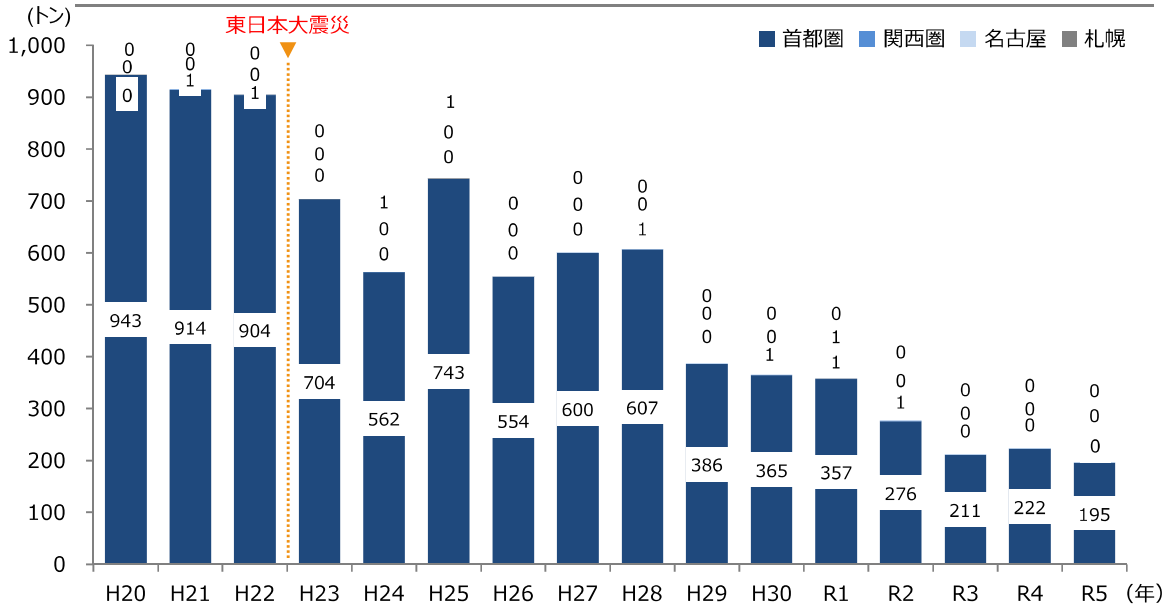


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産アスパラガスは、ほとんどが首都圏で取り扱われており、関西圏や他地域での取扱いは極めて少量である。震災以降、首都圏における市場での取扱量は段階的に減っており、令和５年の取扱量は195トンであった。

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では３月～10月にかけて福島県産アスパラガスの取扱いがある（３月は１%に満たない数量）が、いずれの月もシェアは４位以下であった。横浜市中央卸売市場では４・５月に福島県産アスパラガスのシェアが10%程度であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	6%	7%	2%	5%	7%	5%	1%	0%	0%	151
栃木	1%	6%	9%	31%	23%	10%	29%	32%	26%	9%	0%	0%	800
佐賀	3%	17%	27%	11%	6%	28%	23%	17%	17%	8%	0%	0%	702
メキシコ	76%	58%	24%	14%	8%	2%	0%	0%	4%	34%	66%	81%	626
長崎	0%	4%	23%	12%	3%	13%	17%	15%	14%	10%	0%	0%	502
福岡	0%	6%	6%	2%	1%	9%	6%	5%	3%	1%	0%	0%	178
総量	**82**	**214**	**539**	**492**	**480**	**532**	**563**	**488**	**343**	**152**	**89**	**80**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	10%	11%	3%	6%	4%	7%	0%	0%	0%	44
佐賀	7%	20%	30%	11%	5%	31%	21%	13%	17%	14%	0%	0%	158
熊本	0%	6%	23%	23%	6%	17%	21%	22%	16%	7%	0%	0%	152
メキシコ	73%	68%	34%	17%	5%	2%	1%	0%	2%	42%	83%	95%	145
栃木	0%	0%	1%	22%	19%	8%	20%	29%	19%	9%	0%	0%	137
山形	0%	0%	0%	4%	15%	13%	11%	14%	21%	10%	0%	0%	90
総量	**12**	**38**	**115**	**101**	**108**	**107**	**141**	**131**	**87**	**35**	**18**	**14**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産アスパラガスの取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。京都市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
佐賀	9%	14%	23%	13%	12%	27%	27%	27%	23%	14%	0%	0%	215
長崎	1%	7%	19%	16%	6%	18%	22%	25%	21%	14%	0%	0%	175
メキシコ	85%	58%	19%	11%	6%	2%	0%	0%	2%	31%	77%	85%	143
福岡	0%	12%	16%	9%	10%	24%	15%	12%	8%	1%	0%	0%	134
熊本	0%	1%	3%	10%	9%	7%	8%	8%	9%	3%	0%	0%	67
総量	**15**	**53**	**155**	**103**	**80**	**151**	**171**	**131**	**81**	**46**	**23**	**19**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福岡	0%	23%	50%	6%	19%	66%	10%	57%	38%	29%	0%	0%	88
佐賀	17%	29%	29%	37%	20%	4%	57%	4%	32%	45%	0%	0%	62
愛媛	0%	7%	12%	13%	9%	1%	13%	8%	7%	6%	0%	0%	21
長野	0%	0%	0%	14%	24%	8%	4%	6%	7%	3%	0%	0%	17
メキシコ	74%	33%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	95%	96%	17
総量	**3**	**12**	**53**	**26**	**27**	**33**	**26**	**29**	**25**	**7**	**4**	**4**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産アスパラガスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	6%	1%	11%	56%	63%	31%	45%	55%	56%	22%	0%	1%	290
熊本	0%	6%	35%	14%	8%	39%	36%	28%	19%	10%	0%	0%	170
メキシコ	92%	84%	26%	11%	8%	4%	1%	0%	2%	44%	91%	97%	130
愛知	0%	3%	9%	5%	4%	6%	6%	6%	7%	5%	0%	0%	41
佐賀	0%	2%	7%	3%	1%	7%	4%	3%	4%	2%	0%	0%	27
総量	**13**	**38**	**81**	**89**	**87**	**98**	**108**	**95**	**67**	**28**	**15**	**17**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	48%	7%	21%	86%	99%	99%	92%	100%	67%	1%	0%	12%	476
メキシコ	46%	65%	71%	11%	1%	1%	1%	0%	19%	84%	87%	88%	94
福岡	0%	25%	-4%	1%	0%	0%	1%	0%	4%	4%	0%	0%	8
熊本	0%	1%	4%	1%	0%	0%	5%	0%	8%	4%	0%	0%	8
佐賀	0%	1%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
総量	**4**	**27**	**42**	**111**	**153**	**116**	**43**	**45**	**23**	**15**	**8**	**7**	

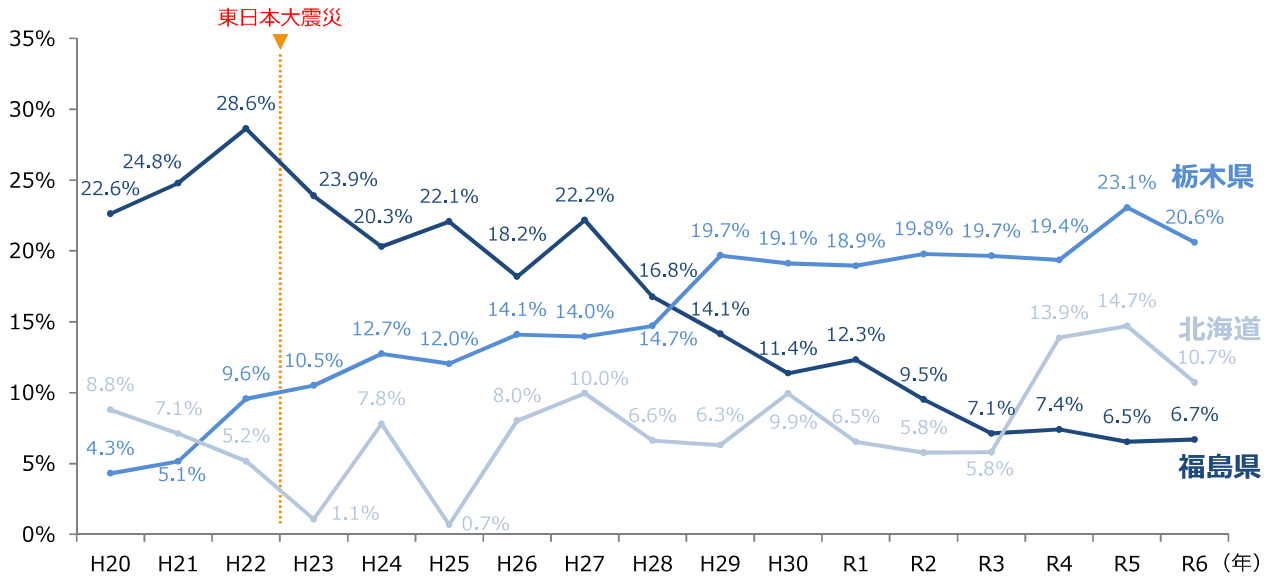
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスのシェアの推移

東京都中央卸売市場における５月の福島県産アスパラガスのシェアは、震災以降、徐々に縮小しており、平成29年以降は栃木県産、令和４年以降は北海道産を下回るようになり、その後概ね横ばいで推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(５月)

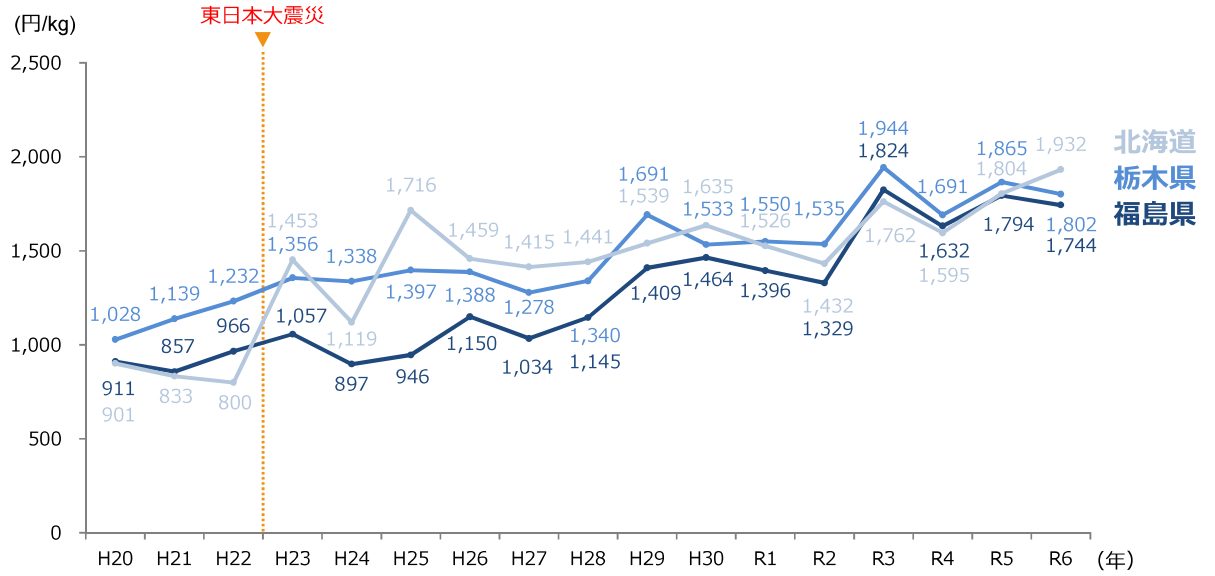


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスの単価の推移

東京都中央卸売市場における５月の福島県産アスパラガスの平均単価は、震災前から概ね継続して上昇しているものの、令和６年においては、未だ栃木県産・北海道産よりも低い水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(５月)

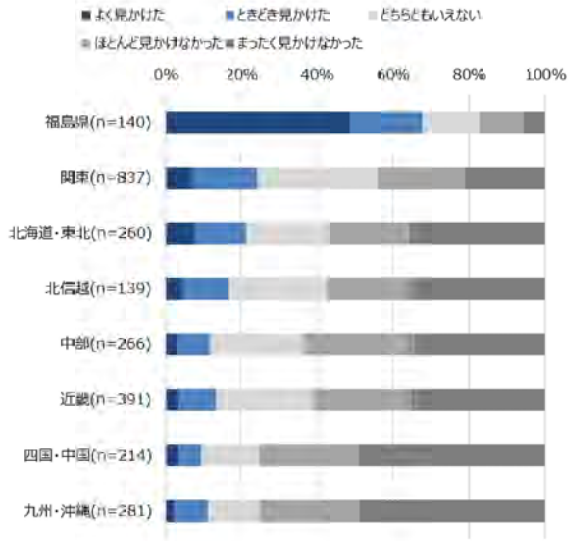


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産アスパラガスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

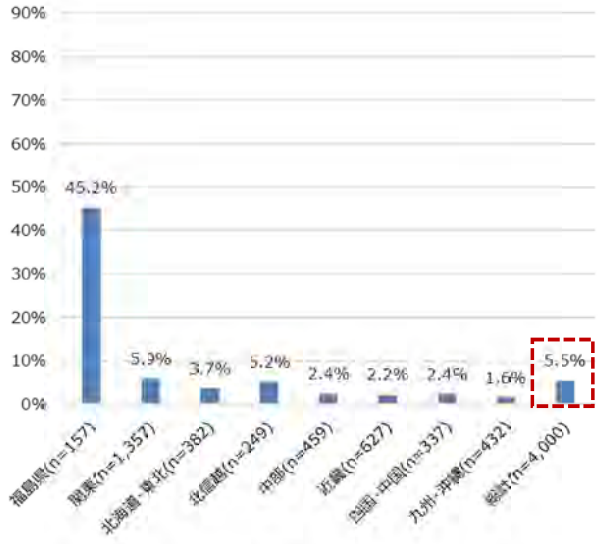
福島県産アスパラガスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産アスパラガスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.5%であった。

福島県産アスパラガスを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産アスパラガスの購入経験率



※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

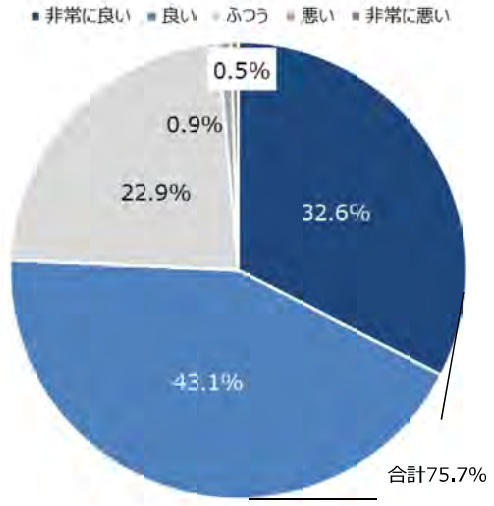
アスパラガス購入時の重視点と福島県産アスパラガスの購入者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らずアスパラガス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産アスパラガスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.7%であった。

アスパラガス購入時の重視点（n=2,056、複数回答）

※アスパラガス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上アスパラガスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガスの購入者の評価（n=218）

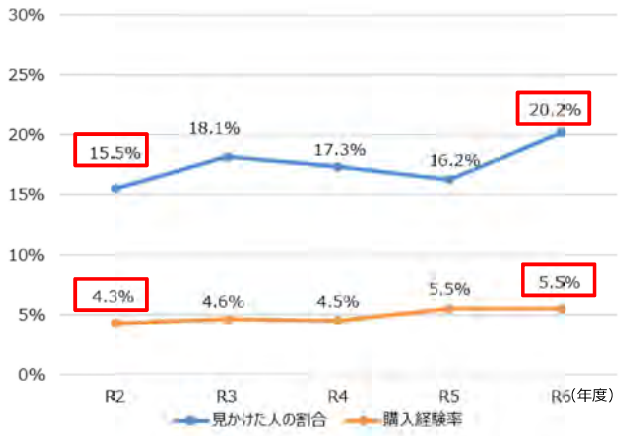


※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

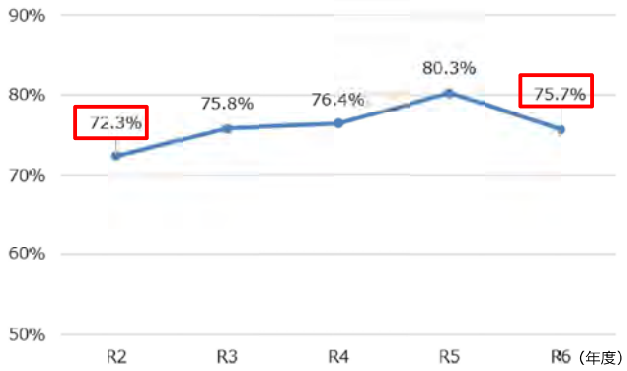
福島県産アスパラガスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産アスパラガスを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.7%ポイント、1.2%ポイント上昇し、福島県産アスパラガスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.4%ポイント上昇した。

福島県産アスパラガスを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産アスパラガスを高く評価している人の割合



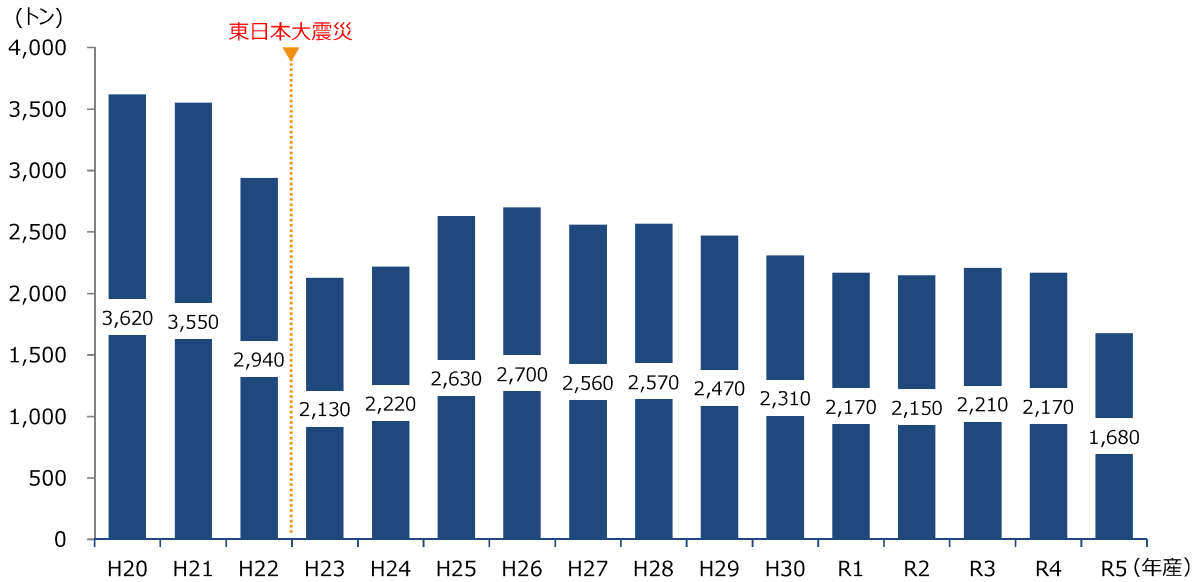
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,911、R3:7,548、R4:3,493、R5:2,752、R6:2,528。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:473、R3:507、R4:250、R5:219、R6:218。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

福島県産さやいんげんは、震災後に出荷量が減少した。平成25年産以降、出荷量は回復傾向にあったが、平成28年産以降は再び減少傾向となり、令和５年産は1,680トンとなった。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

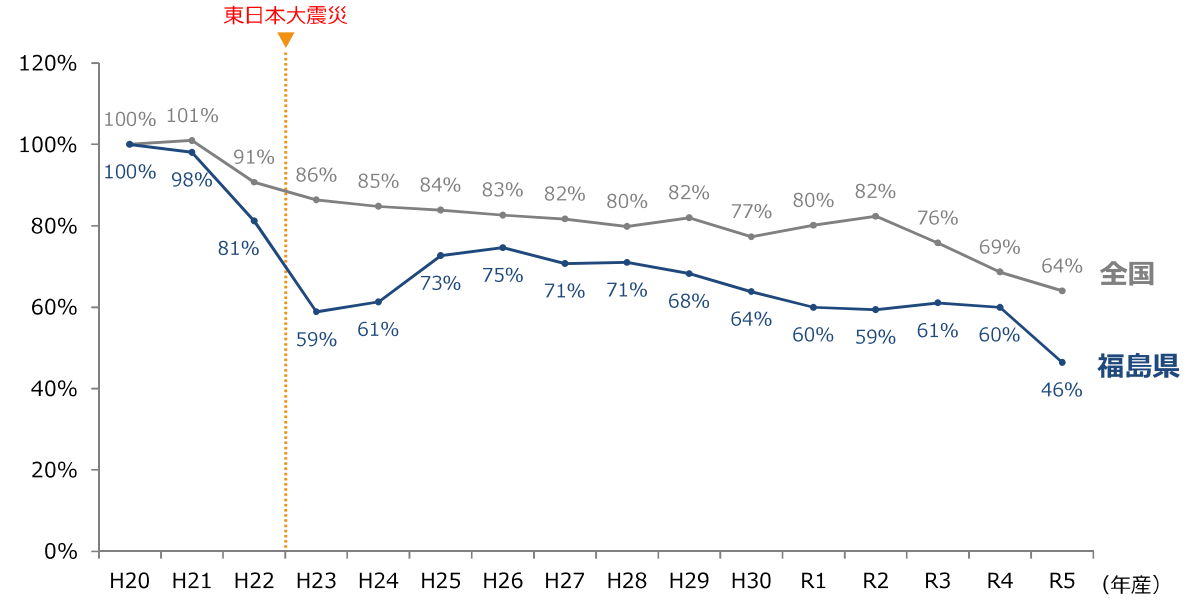


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移

全国のさやいんげんの出荷量は緩やかに減少している中で、福島県産さやいんげんは震災直後に出荷量が急減し、その後やや回復したが、平成28年産以降緩やかに減少し、令和５年産は平成20年産の46%となった。

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

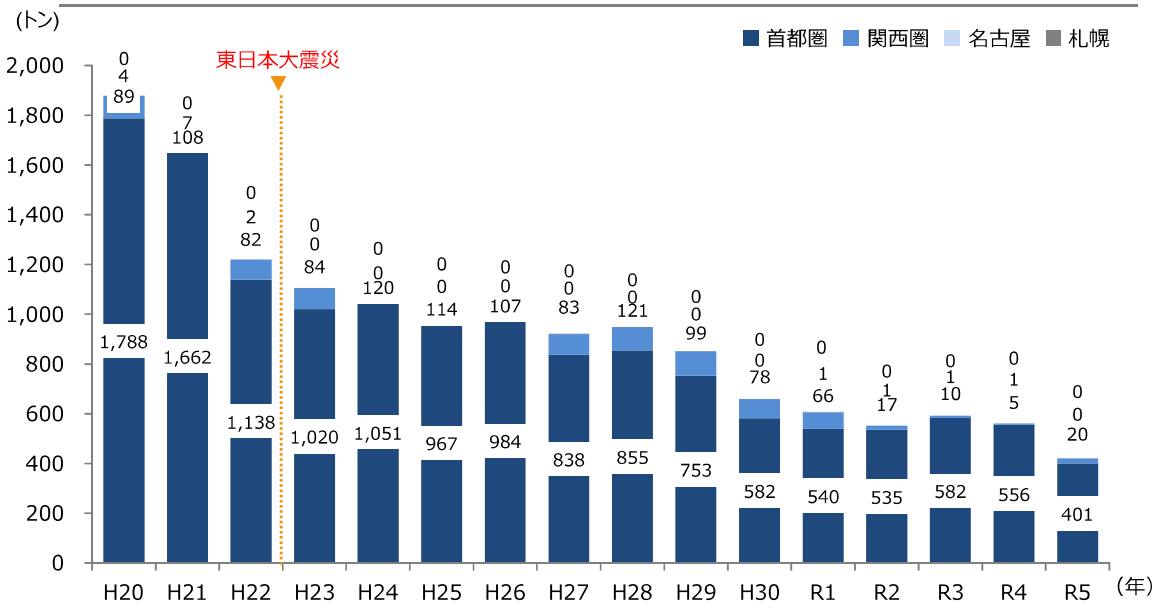


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産さやいんげんは、主に首都圏で取り扱われているが、その取扱量は震災前から徐々に減少し、令和５年の首都圏での取扱量は、401トンであった。

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場統計のデータ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産さやいんげんのシェアは、東京都中央卸売市場では７月～９月、横浜市中央卸売市場では７月～10月は１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	3%	3%	3%	3%	7%	51%	46%	39%	20%	8%	3%	332
沖縄	67%	64%	73%	61%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	38%	544
鹿児島	8%	4%	4%	16%	28%	12%	0%	0%	14%	25%	34%	31%	341
千葉	0%	0%	1%	13%	39%	33%	3%	0%	0%	5%	10%	1%	225
長崎	1%	0%	0%	4%	15%	14%	3%	0%	0%	13%	31%	14%	202
総量	**157**	**149**	**209**	**158**	**227**	**222**	**248**	**132**	**110**	**171**	**239**	**185**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	10%	46%	54%	55%	21%	5%	0%	69
沖縄	76%	68%	84%	61%	5%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	44%	117
鹿児島	4%	3%	4%	21%	46%	16%	1%	0%	11%	17%	42%	39%	80
茨城	0%	0%	0%	1%	8%	52%	31%	2%	5%	15%	12%	1%	63
千葉	0%	0%	0%	16%	34%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25
総量	**33**	**30**	**42**	**32**	**43**	**49**	**66**	**24**	**17**	**40**	**50**	**31**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和５年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、福島県産さやいんげんの市場シェアが７月に１位、８月・９月に２位であった。京都市中央卸売市場では、年間を通して福島県産さやいんげんの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	31%	26%	19%	3%	0%	0%	20
鹿児島	37%	22%	16%	49%	69%	51%	0%	0%	25%	44%	71%	51%	227
オマーン	33%	48%	39%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	73
高知	17%	15%	21%	23%	15%	15%	2%	0%	0%	5%	8%	17%	71
熊本	1%	1%	2%	11%	14%	12%	1%	0%	2%	15%	9%	6%	39
沖縄	14%	13%	21%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	37
総量	**43**	**57**	**58**	**39**	**73**	**52**	**33**	**19**	**21**	**38**	**64**	**50**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	20%	10%	15%	28%	38%	28%	0%	0%	25%	48%	21%	59%	49
沖縄	4%	34%	45%	50%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	12%	37
その他	51%	53%	29%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	30
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	30%	48%	25%	20%	0%	0%	16
高知	17%	2%	11%	14%	9%	8%	4%	0%	0%	0%	2%	9%	14
総量	**14**	**19**	**32**	**25**	**4**	**23**	**15**	**9**	**9**	**19**	**10**	**19**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産さやいんげんの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位~３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	36%	33%	44%	60%	80%	27%	2%	0%	1%	52%	82%	74%	120
沖縄	27%	24%	33%	25%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	25
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	46%	66%	48%	13%	1%	0%	24
高知	16%	17%	10%	13%	7%	12%	4%	0%	0%	2%	3%	11%	20
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	24%	23%	2%	19%	18%	6%	0%	18
総量	**19**	**17**	**26**	**17**	**30**	**23**	**17**	**11**	**13**	**21**	**37**	**19**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	26%	99%	100%	100%	99%	100%	42%	1%	38
高知	70%	71%	81%	80%	60%	1%	0%	0%	0%	0%	39%	84%	13
鹿児島	20%	8%	13%	18%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	12%	3
オマーン	10%	10%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1
沖縄	0%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**2**	**2**	**3**	**2**	**3**	**8**	**9**	**6**	**5**	**10**	**2**	**3**	

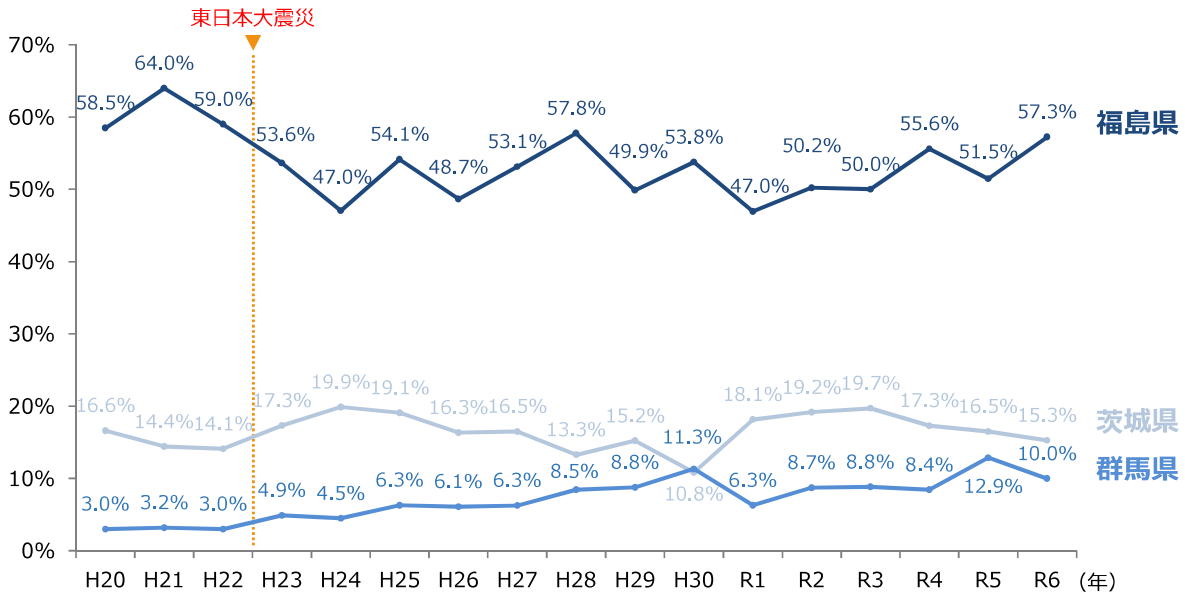
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

東京都中央卸売市場における７月の福島県産さやいんげんのシェアは、震災前から圧倒的に高く、震災後に縮小したものの、高い水準を維持しており、令和６年は57.3%となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(７月)

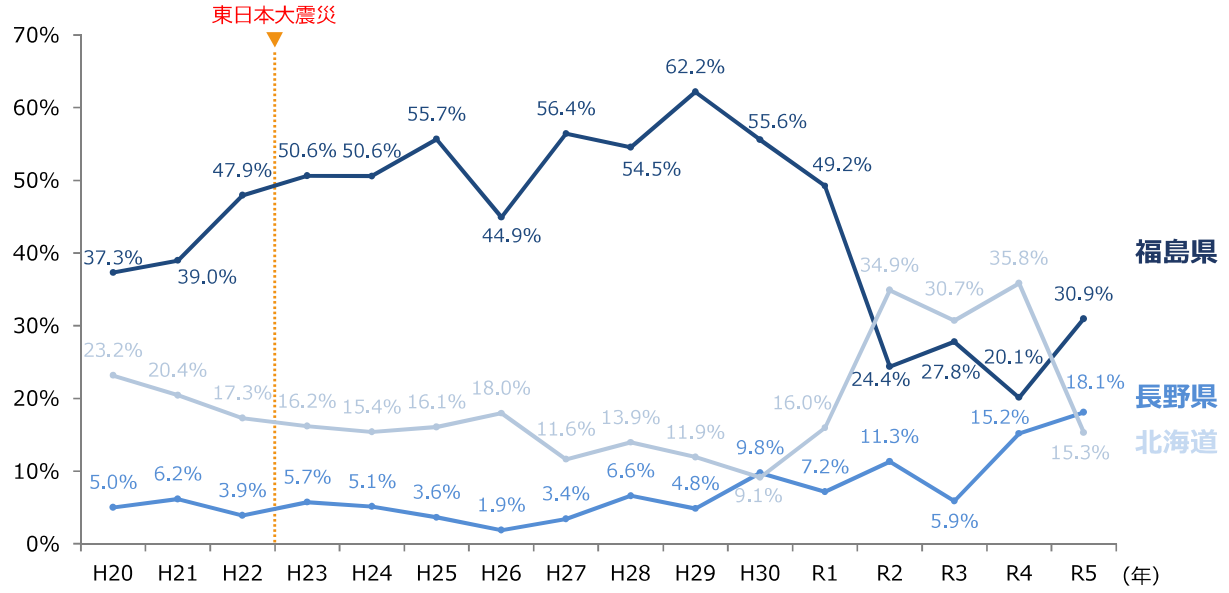


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

大阪市中央卸売市場における７月の福島県産さやいんげんのシェアは、平成23年から令和元年にかけて50%前後の高い水準であったが、令和２年に大幅に縮小し、北海道産を下回った。令和５年には30.9%に回復し、再び北海道産を上回った。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(７月)

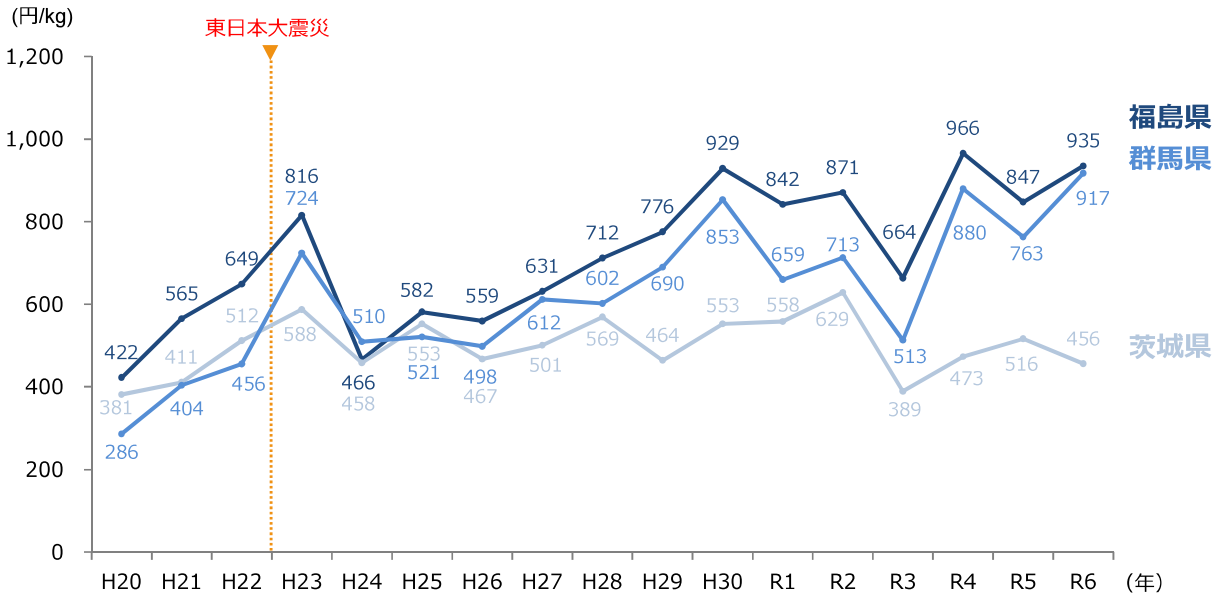


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

東京都中央卸売市場における７月の福島県産さやいんげんの平均単価は、平成24年に大幅に下落したが、以降は概ね上昇傾向で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(７月)

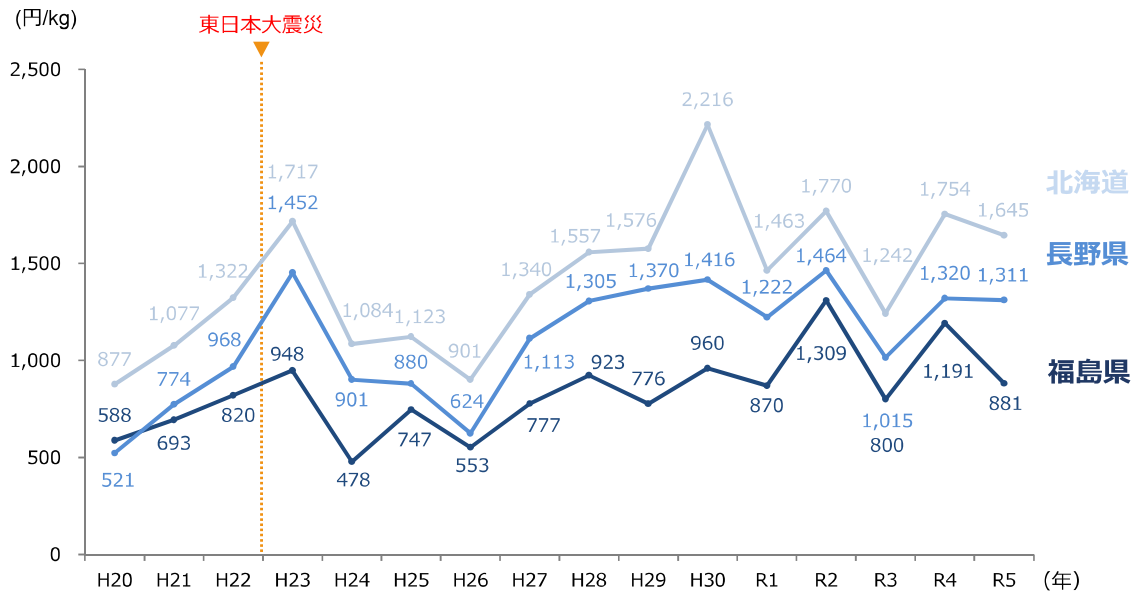


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

大阪市中央卸売市場における７月の福島県産さやいんげんの平均単価は、震災前の平成21年から北海道産や長野県産よりも安価な状態が続いている。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(７月)

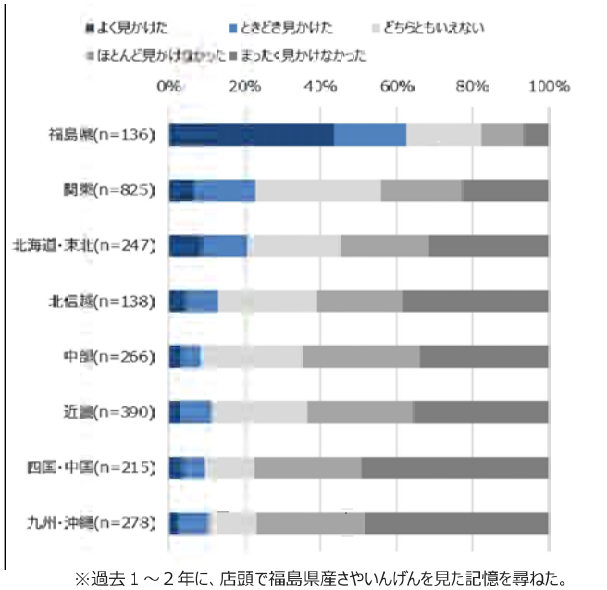


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産さやいんげんを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

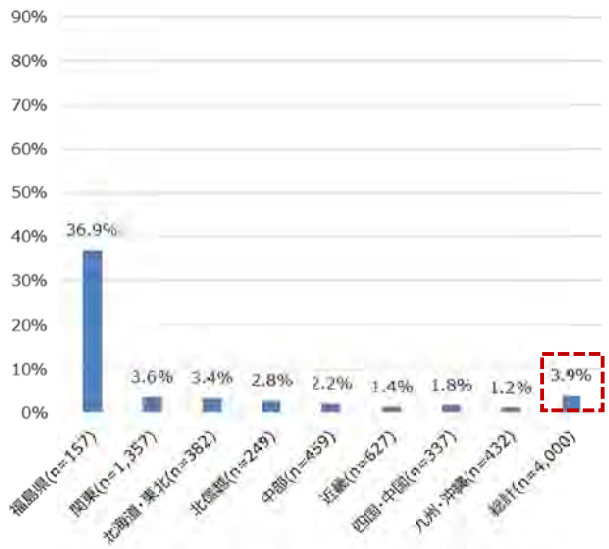
福島県産さやいんげんを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産さやいんげんを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.9%であった。

福島県産さやいんげんを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産さやいんげんの購入経験率

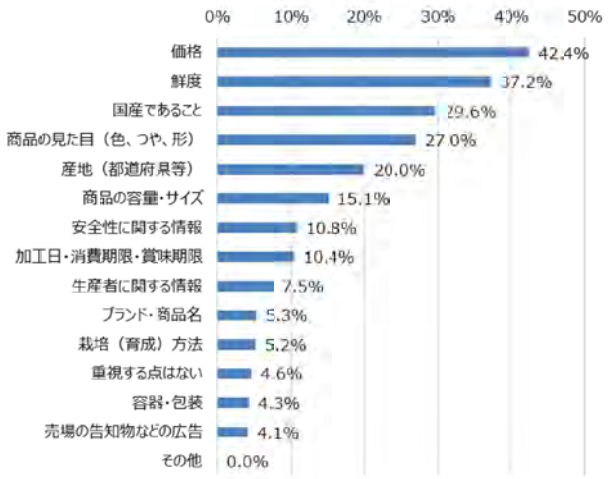


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

さやいんげん購入時の重視点と福島県産さやいんげんの購入者の評価（消費者アンケート）

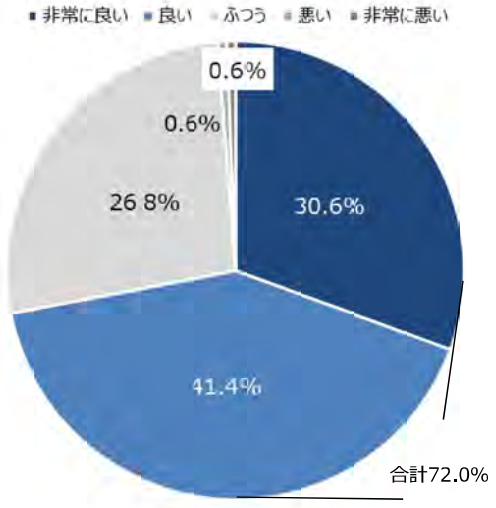
福島県産に限らずさやいんげん購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産さやいんげんの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.0%であった。

さやいんげん購入時の重視点（n=1,714、複数回答）



※さやいんげん購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上さやいんげんを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげんの購入者の評価（n=157）

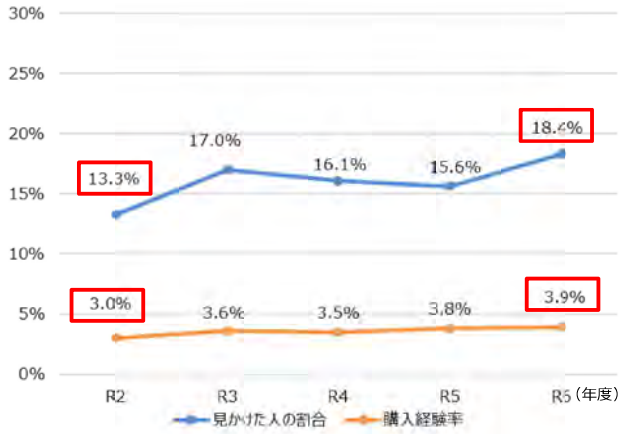


※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

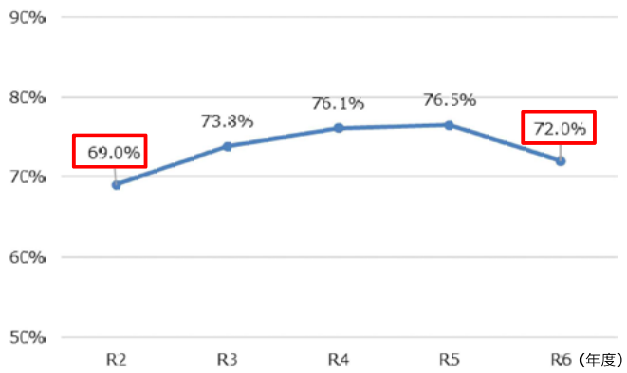
福島県産さやいんげんを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産さやいんげんを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ5.1%ポイント、0.9%ポイント上昇し、福島県産さやいんげんの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.0%ポイント上昇した。

福島県産さやいんげんを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産さやいんげんを高く評価している人の割合



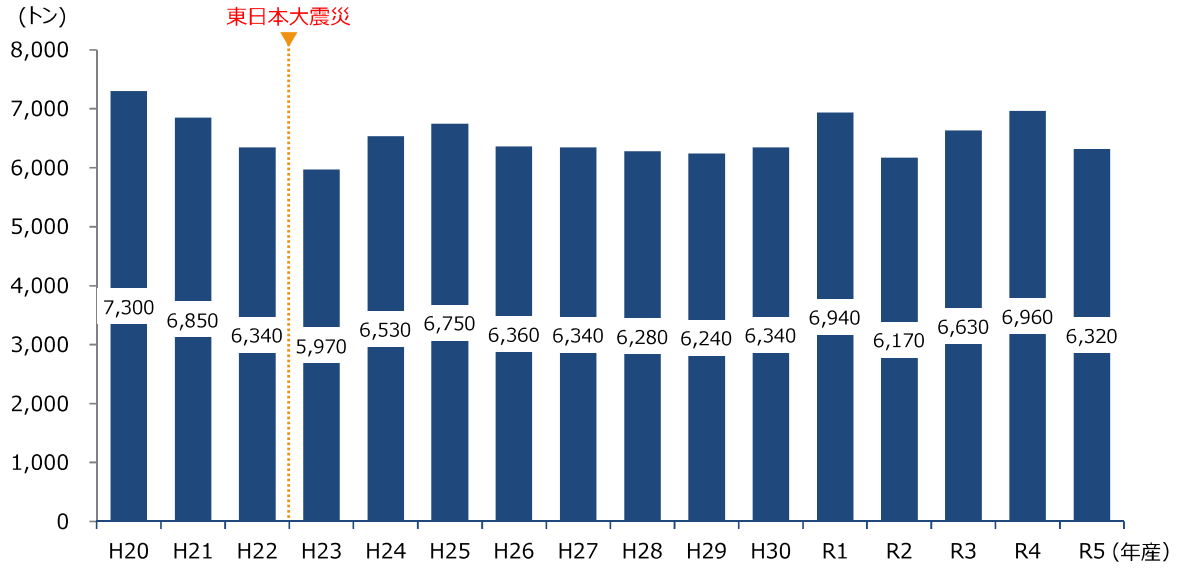
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,777、R3:7,434、R4:3,398、R5:2,726、R6:2,495。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:333、R3:400、R4:193、R5:153、R6:157。

福島県産ねぎの出荷量の推移

福島県産ねぎの出荷量は震災直後に減少したが、平成23年産から平成25年産にかけて徐々に増加し、平成30年産以降は、概ね横ばいで推移しており、令和５年産は、6,320トンとなった。

福島県産ねぎの出荷量の推移

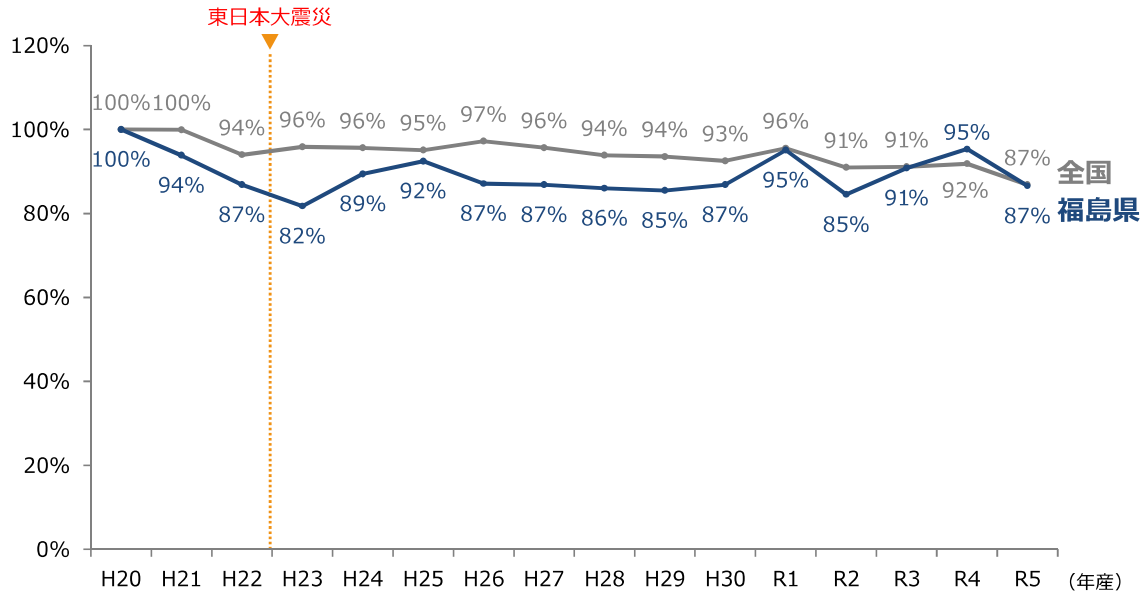


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移

全国のねぎの出荷量は、平成27年産以降、令和元年産を除いては緩やかな減少傾向にある。福島県産ねぎについては、平成27年産以降、令和元年産と令和４年産を除き、ほぼ横ばいで推移しており、令和５年産は全国の出荷量と同水準となった。

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

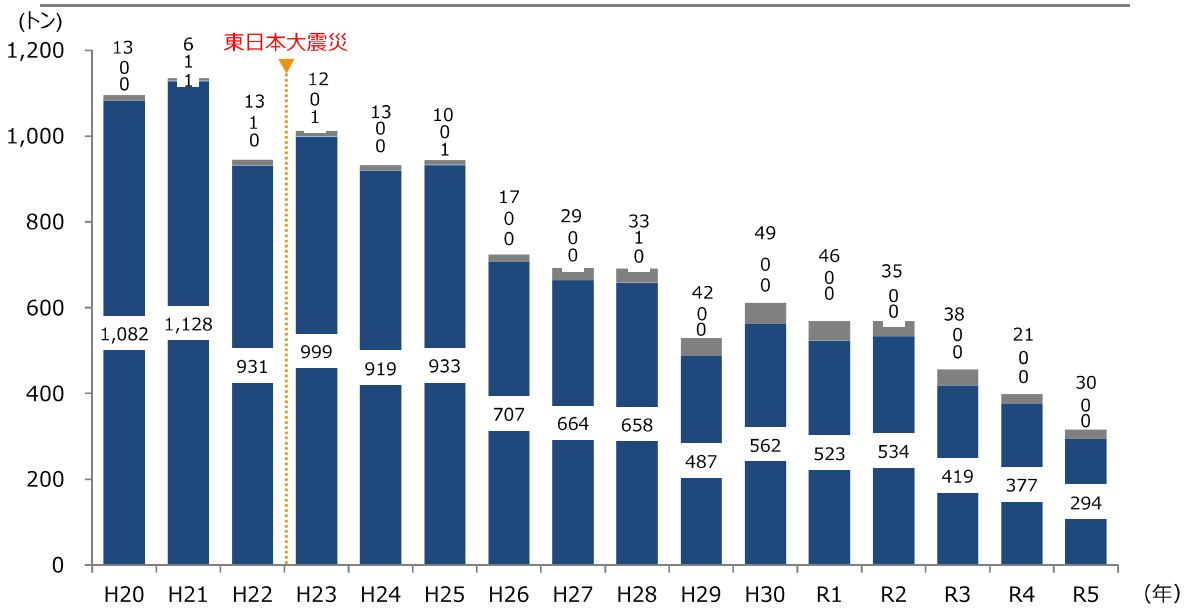


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産のねぎは、ほとんどが首都圏で取り扱われている。その取扱量は減少傾向にあり、令和５年は過去最低水準の約300トンとなった。

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるねぎの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産ねぎの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して０～３％程度であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	213
茨城	27%	22%	21%	22%	53%	65%	55%	26%	9%	8%	15%	25%	14,245
千葉	29%	35%	37%	34%	22%	19%	15%	4%	1%	1%	6%	20%	9,675
埼玉	20%	20%	21%	23%	9%	4%	4%	2%	1%	1%	5%	16%	5,556
栃木	10%	10%	12%	11%	7%	3%	5%	4%	4%	7%	11%	12%	4,216
秋田	1%	0%	0%	0%	2%	0%	5%	19%	19%	16%	15%	5%	3,389
総量	**5,539**	**4,497**	**4,162**	**3,521**	**3,701**	**3,759**	**3,532**	**3,574**	**3,703**	**4,445**	**4,626**	**5,685**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	3%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	82
千葉	43%	50%	55%	53%	30%	24%	13%	3%	2%	3%	9%	32%	1,928
茨城	17%	13%	11%	16%	37%	51%	38%	19%	4%	3%	8%	14%	1,252
秋田	1%	0%	0%	2%	8%	4%	11%	21%	22%	21%	20%	8%	663
埼玉	13%	16%	15%	18%	13%	8%	3%	2%	2%	3%	4%	12%	658
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	18%	23%	20%	10%	1%	476
総量	**742**	**652**	**616**	**515**	**498**	**446**	**487**	**485**	**519**	**608**	**627**	**814**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるねぎの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産ねぎの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取	24%	18%	29%	34%	27%	27%	22%	19%	9%	10%	16%	23%	1,776
群馬	33%	29%	18%	13%	7%	2%	1%	1%	0%	2%	12%	25%	1,194
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	33%	40%	40%	17%	0%	922
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	19%	29%	30%	22%	8%	766
大分	7%	11%	16%	20%	16%	13%	4%	0%	0%	0%	0%	6%	632
総量	**964**	**834**	**772**	**623**	**503**	**484**	**493**	**491**	**598**	**764**	**791**	**1,024**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	19%	43%	58%	29%	30%	48%	25%	1%	3%	0%	16%	23%	553
鳥取	21%	3%	4%	31%	23%	4%	33%	19%	14%	11%	20%	0%	383
京都	21%	4%	4%	20%	27%	7%	5%	19%	3%	16%	3%	25%	347
長野	9%	1%	1%	1%	0%	6%	3%	9%	21%	24%	30%	16%	273
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	25%	36%	31%	12%	0%	241
総量	**291**	**172**	**169**	**238**	**206**	**111**	**139**	**176**	**158**	**278**	**235**	**272**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるねぎの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産ねぎの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	24%	28%	32%	36%	36%	32%	19%	2%	0%	0%	3%	17%	1,636
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	1%	19%	48%	50%	45%	24%	1%	1,400
長野	10%	4%	0%	1%	0%	0%	4%	20%	28%	28%	30%	26%	1,280
茨城	7%	7%	7%	8%	15%	24%	28%	12%	7%	5%	5%	5%	872
群馬	18%	14%	9%	8%	6%	1%	4%	1%	1%	2%	3%	9%	617
総量	**966**	**834**	**782**	**639**	**556**	**558**	**568**	**630**	**724**	**887**	**890**	**1,023**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	30
北海道	1%	0%	2%	5%	9%	42%	82%	98%	99%	98%	95%	21%	3,272
茨城	21%	17%	26%	28%	59%	48%	14%	0%	0%	0%	2%	26%	1,032
埼玉	47%	51%	48%	47%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	947
群馬	12%	9%	7%	12%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	249
東京	6%	5%	8%	4%	7%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	151
総量	**409**	**394**	**399**	**378**	**404**	**470**	**521**	**550**	**675**	**790**	**538**	**487**	

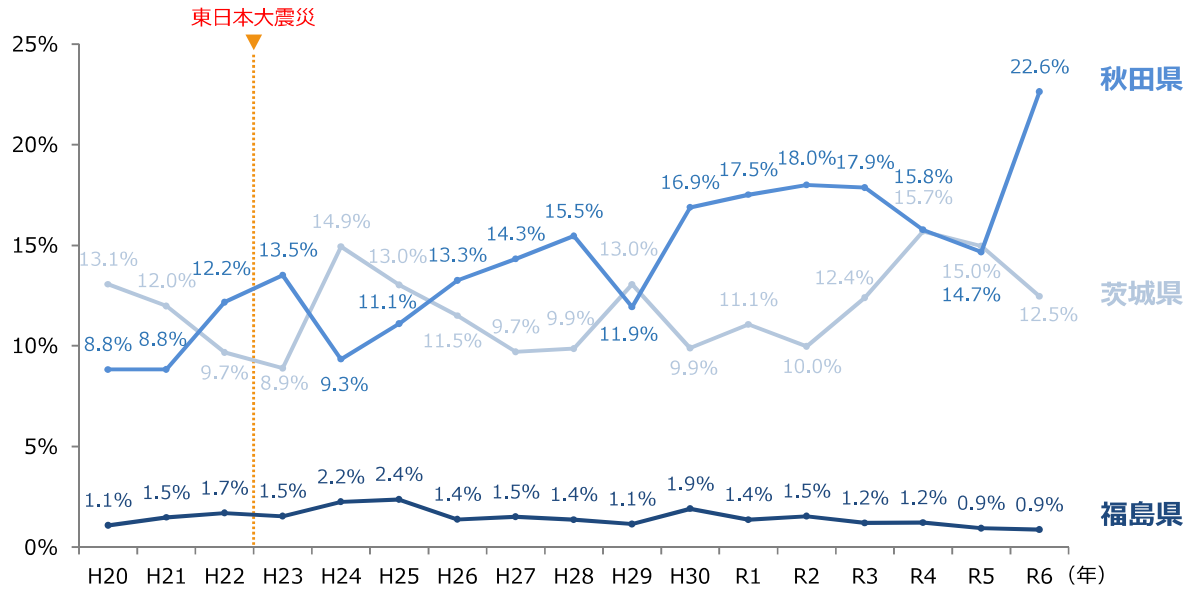
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎのシェアの推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ねぎのシェアは、震災前後で大きく変わることはなく、0.9%～2.4%の水準で概ね横ばいとなっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)

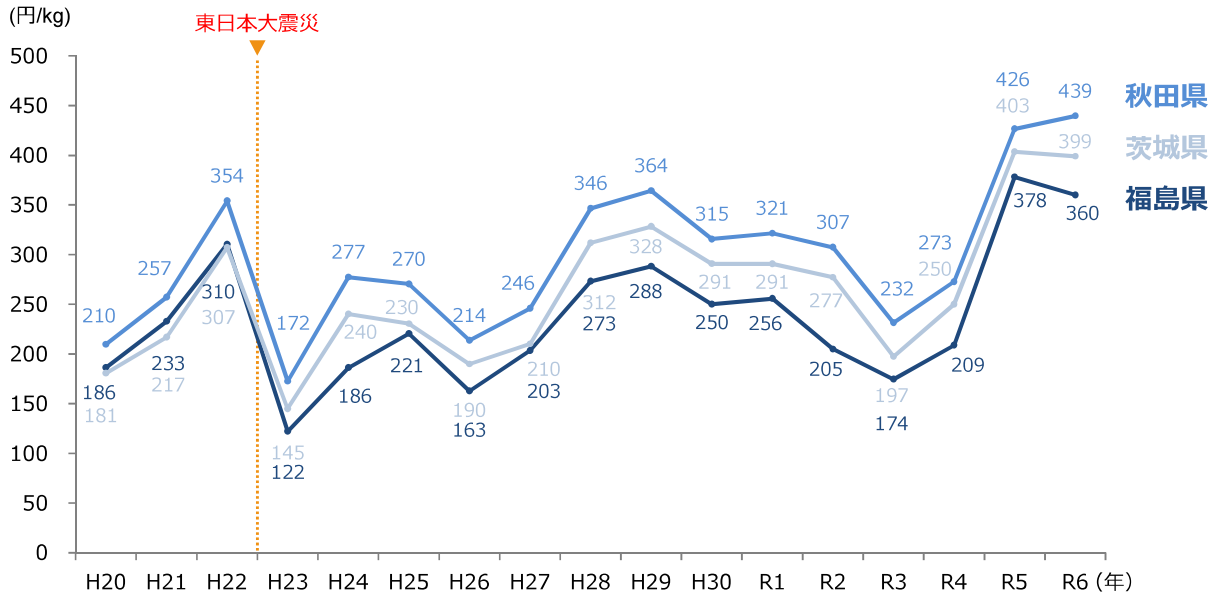


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ねぎの平均単価は、震災前は茨城県産より高く、秋田県産より低い水準だったが、震災後は茨城県産を下回るようになった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)

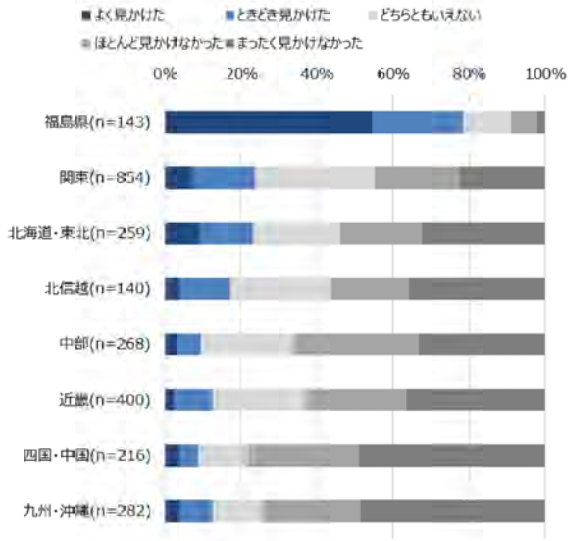


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ねぎを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

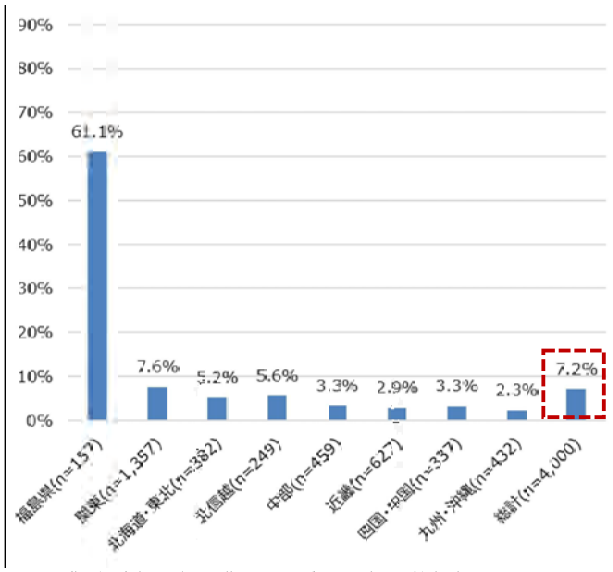
福島県産ねぎを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ねぎを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.2%であった。

福島県産ねぎを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ねぎの購入経験率

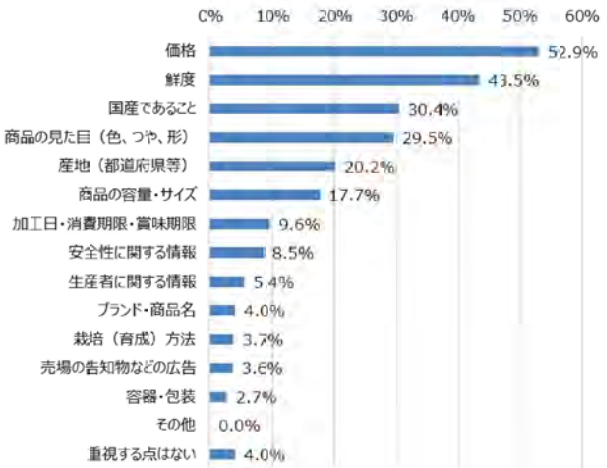


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

ねぎ購入時の重視点と福島県産ねぎの購入者の評価（消費者アンケート）

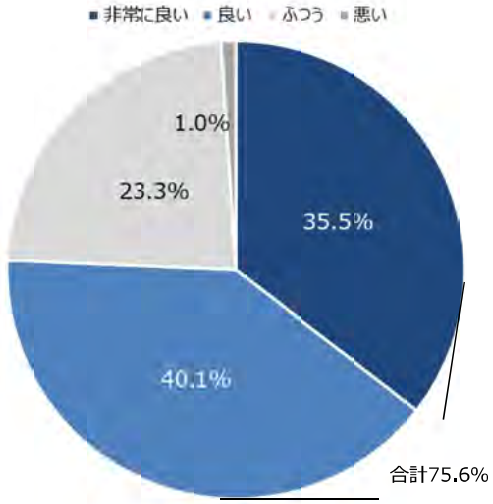
福島県産に限らずねぎ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ねぎの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.6%であった。

ねぎ購入時の重視点（n=3,315、複数回答）



※ねぎ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上ねぎを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ねぎの購入者の評価（n=287）

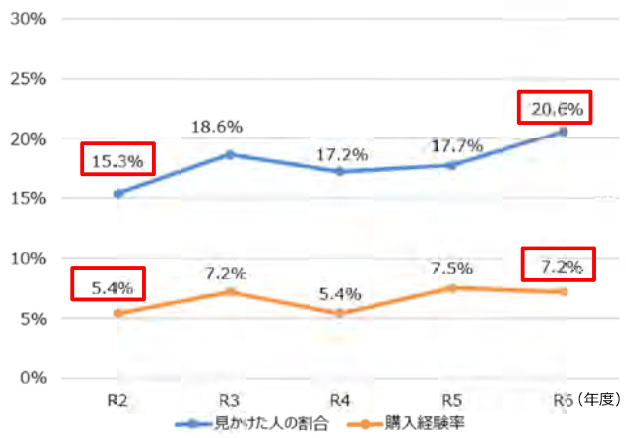


※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産ねぎを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

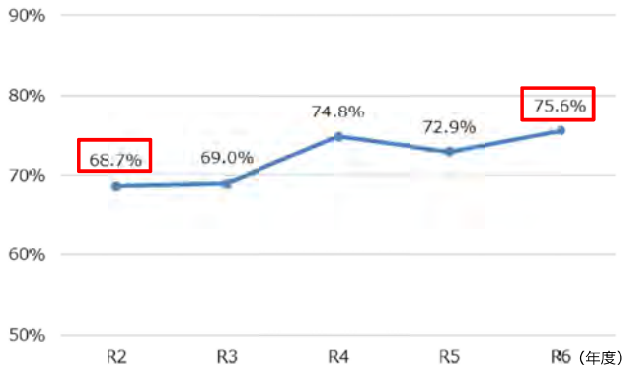
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産ねぎを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ5.3%ポイント、1.8%ポイント上昇し、福島県産ねぎの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は6.9%ポイント上昇した。

福島県産ねぎを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,037、R3:7,653、R4:3,537、R5:2,813、R6:2,562。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000 。

福島県産ねぎを高く評価している人の割合

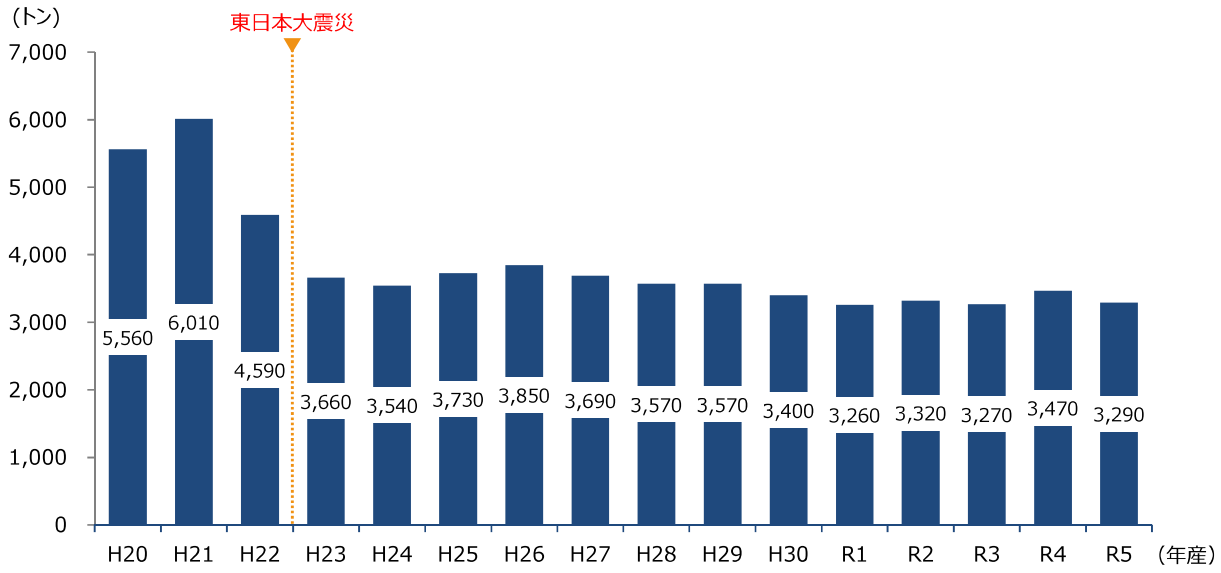


※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:590、R3:795、R4:297、R5:298、R6:287。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

福島県産ブロッコリーの出荷量は、平成22年産・平成23年産が大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、令和５年産は3,290トンとなった。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

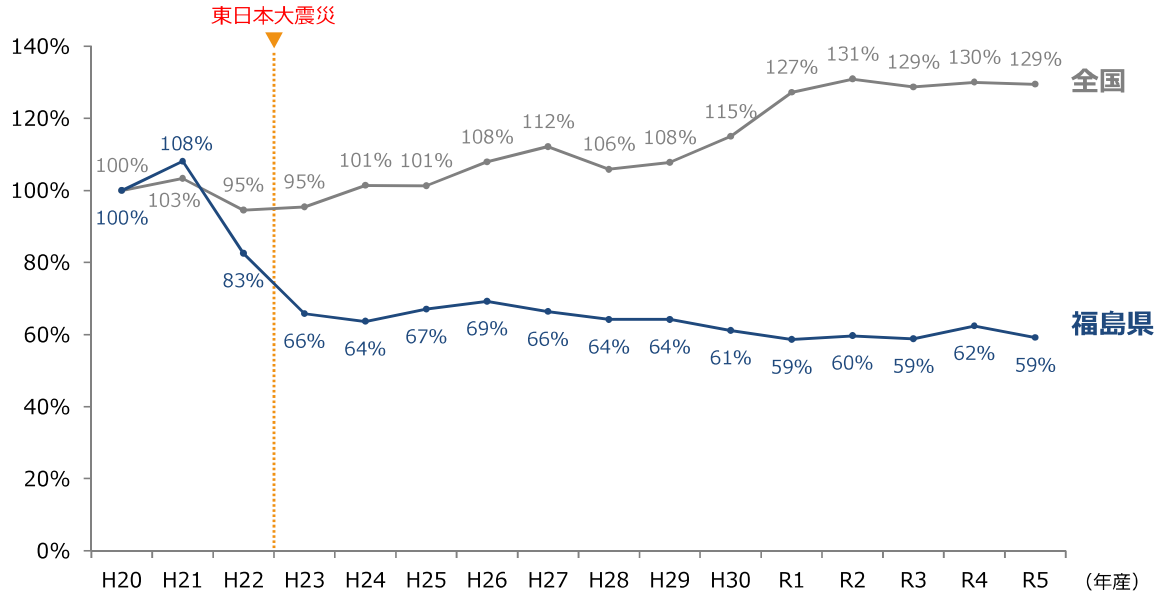


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

全国のブロッコリーの出荷量は、平成23年産から増加傾向になっている。一方、福島県産ブロッコリーの出荷量は、平成21年産をピークに平成22年産・平成23年産が大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、全国との出荷量の差が開いている。

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

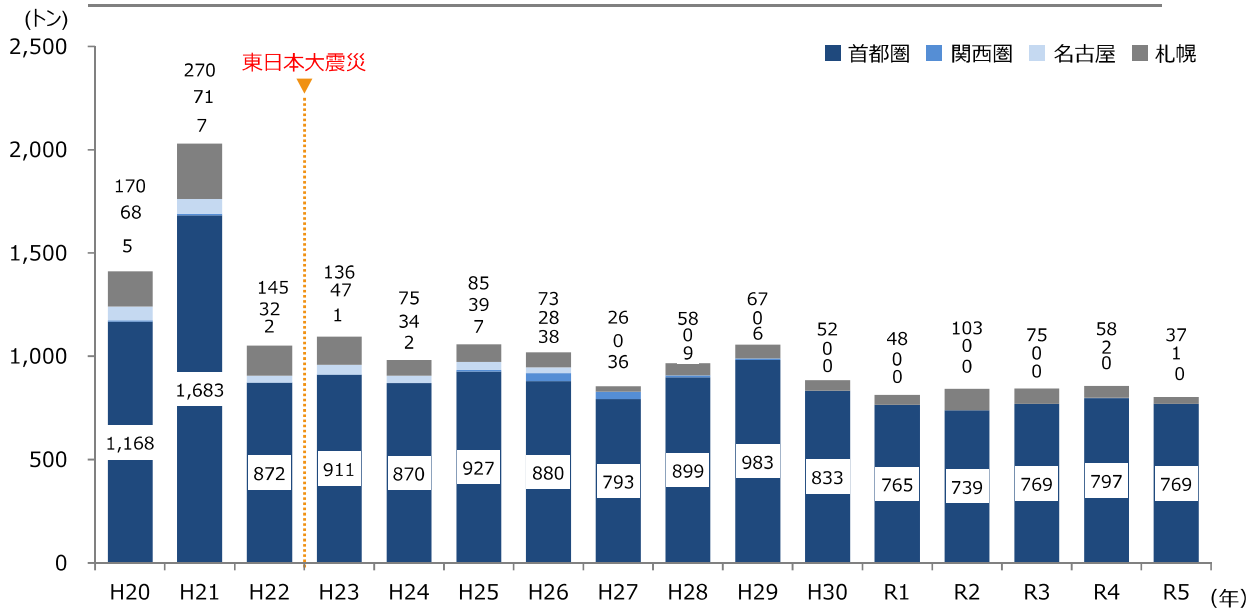


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ブロッコリーは、主に首都圏で取り扱われている。取扱量は、震災直前の平成22年以降ほぼ横ばいとなっており、令和５年の取扱量は807トンとなった。

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産ブロッコリーのシェアは、東京都中央卸売市場では６月に３位となったが、それ以外の月は５％以下であった。横浜市中央卸売市場では５月～６月に２位となった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	5%	10%	0%	0%	0%	3%	1%	1%	558
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	26%	74%	75%	57%	36%	5%	0%	6,133
香川	19%	21%	31%	29%	25%	1%	0%	0%	0%	0%	11%	19%	5,181
熊本	19%	22%	22%	22%	17%	2%	0%	0%	0%	4%	20%	21%	4,967
愛知	28%	25%	18%	6%	6%	0%	0%	0%	0%	2%	11%	18%	3,861
長野	2%	2%	3%	3%	5%	31%	20%	19%	34%	20%	4%	3%	3,393
総量	**3,337**	**3,034**	**3,599**	**2,659**	**3,403**	**2,463**	**2,842**	**2,090**	**1,533**	**2,022**	**3,890**	**3,911**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	17%	26%	0%	0%	0%	8%	5%	1%	211
香川	41%	41%	52%	50%	47%	1%	0%	0%	0%	0%	30%	39%	1,296
長野	0%	0%	0%	0%	1%	52%	37%	36%	62%	49%	3%	0%	671
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	15%	62%	64%	38%	20%	0%	0%	573
愛知	32%	27%	22%	10%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	17%	567
熊本	13%	18%	17%	22%	13%	0%	0%	0%	0%	8%	15%	16%	505
総量	**426**	**379**	**508**	**328**	**470**	**334**	**368**	**257**	**214**	**239**	**445**	**474**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産ブロッコリーの取扱いは、大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場において年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	44%	49%	63%	57%	64%	32%	13%	7%	11%	33%	44%	45%	2,532
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	7%	58%	67%	43%	22%	3%	0%	859
長野	0%	0%	0%	0%	1%	35%	28%	26%	45%	25%	4%	0%	674
鳥取	9%	7%	8%	5%	13%	14%	0%	0%	0%	14%	21%	14%	593
香川	10%	11%	11%	15%	11%	1%	0%	0%	0%	2%	6%	9%	426
総量	**544**	**540**	**657**	**396**	**646**	**467**	**580**	**415**	**261**	**348**	**655**	**665**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	99%	91%	23%	11%	10%	0%	491
徳島	8%	11%	19%	49%	55%	19%	0%	0%	0%	6%	9%	42%	418
鳥取	21%	25%	28%	4%	24%	34%	0%	0%	0%	25%	29%	19%	314
長野	0%	0%	0%	0%	2%	24%	1%	9%	77%	22%	3%	0%	117
長崎	1%	16%	8%	15%	7%	4%	0%	0%	0%	3%	17%	1%	109
総量	**130**	**91**	**101**	**172**	**294**	**171**	**274**	**203**	**35**	**75**	**149**	**194**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産ブロッコリーの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県産ブロッコリーのシェアが12月に３位だったが、２月～10月は取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
愛知	48%	47%	28%	21%	16%	1%	0%	0%	0%	8%	29%	37%	1,863
香川	22%	21%	36%	42%	29%	1%	0%	0%	0%	7%	24%	27%	1,641
長野	0%	0%	0%	0%	5%	53%	36%	39%	53%	30%	8%	1%	1,067
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	9%	60%	61%	46%	23%	1%	0%	925
鳥取	12%	13%	10%	0%	18%	19%	0%	0%	0%	13%	16%	15%	867
総量	**824**	**733**	**1,029**	**554**	**820**	**518**	**645**	**400**	**293**	**436**	**854**	**832**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	14%	37
北海道	0%	0%	0%	0%	26%	99%	100%	100%	100%	99%	83%	0%	3,257
熊本	23%	34%	39%	33%	23%	0%	0%	0%	0%	1%	7%	30%	369
長崎	15%	12%	15%	41%	35%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	11%	235
愛知	41%	32%	11%	6%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	21%	232
徳島	4%	7%	4%	6%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	69
総量	**175**	**166**	**230**	**143**	**170**	**438**	**1,251**	**607**	**310**	**302**	**374**	**219**	

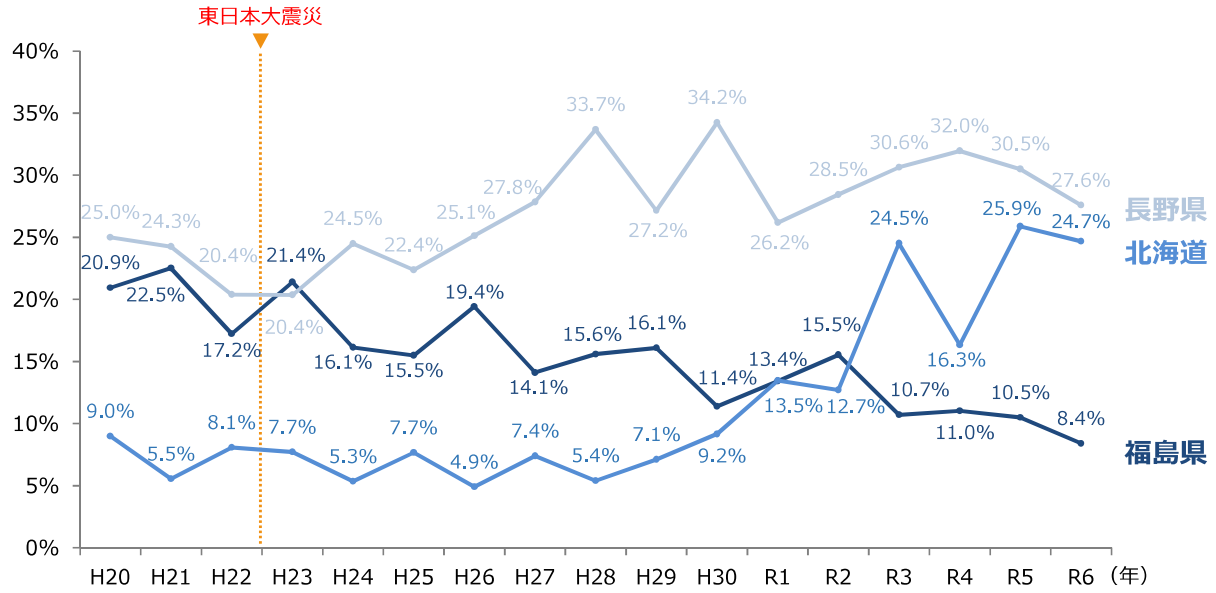
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーのシェアの推移

東京都中央卸売市場における６月の福島県産ブロッコリーのシェアは、震災以前に比べて縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(６月)

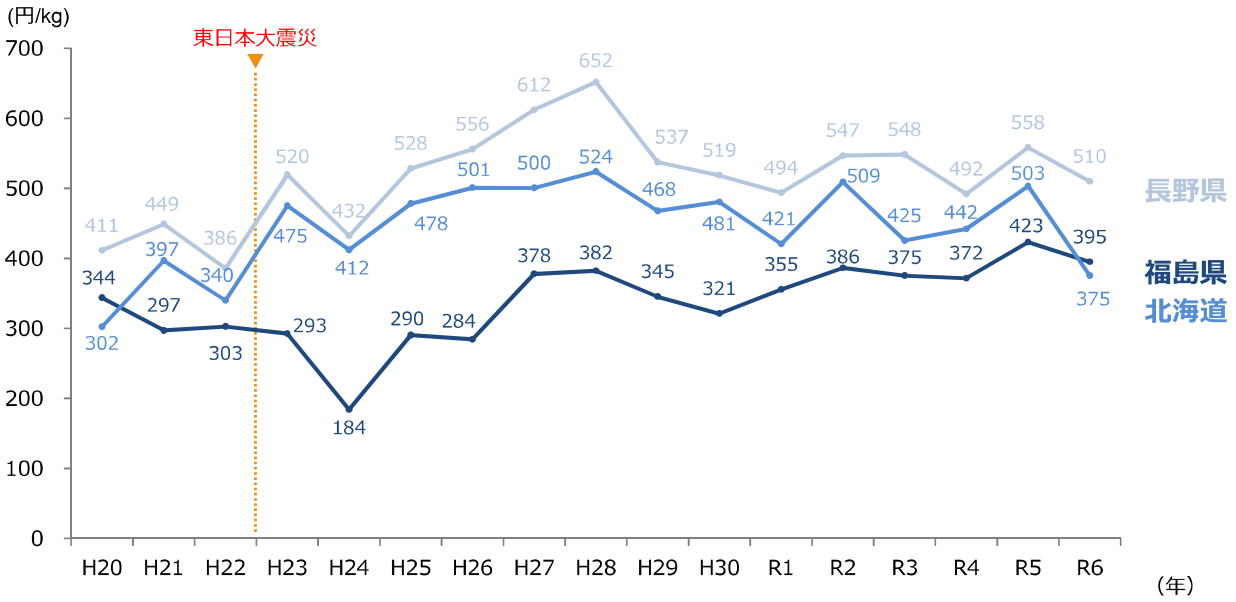


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーの単価の推移

東京都中央卸売市場における６月の福島県産ブロッコリーの平均単価は、震災前から北海道産や長野県産よりも低く、かつ平成24年には大幅に平均単価が下がった。その後、徐々に平均単価が回復し、令和６年には北海道産の平均単価を上回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(６月)

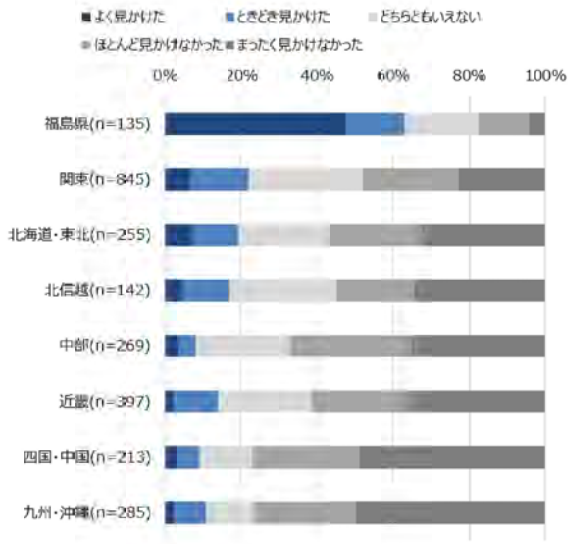


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ブロッコリーを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

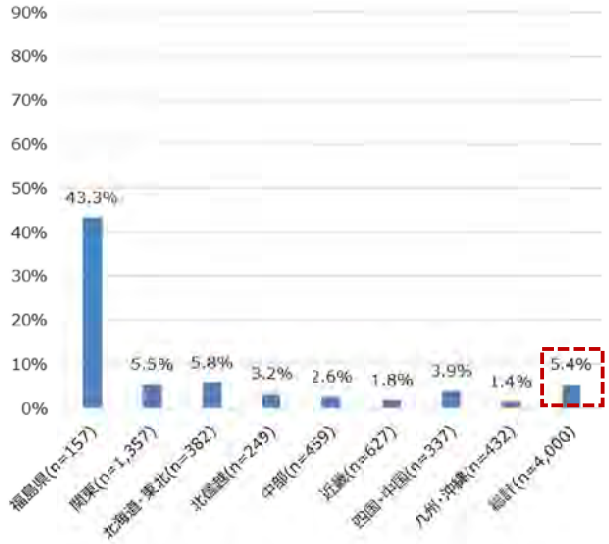
福島県産ブロッコリーを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ブロッコリーを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.4%であった。

福島県産ブロッコリーを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ブロッコリーの購入経験率

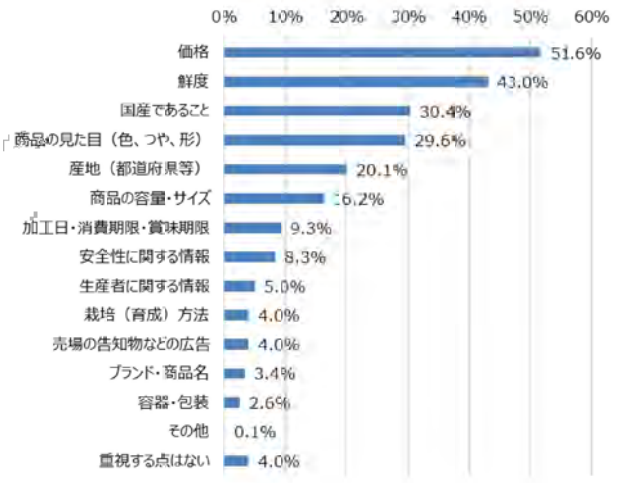


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

ブロッコリー購入時の重視点と福島県産ブロッコリーの購入者の評価（消費者アンケート）

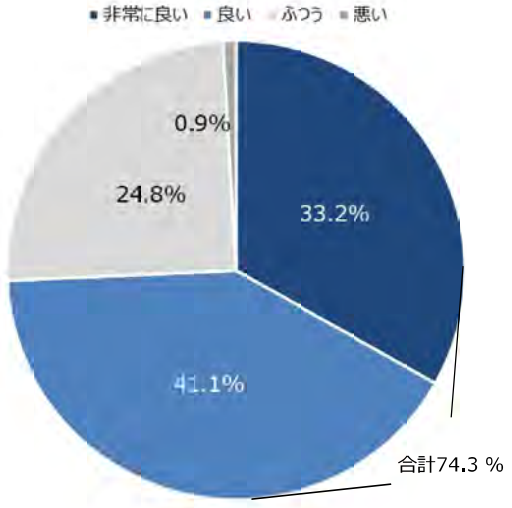
福島県産に限らずブロッコリー購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ブロッコリーの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.3%であった。

ブロッコリー購入時の重視点（n=2,973、複数回答）



※ブロッコリー購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上ブロッコリーを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリーの購入者の評価（n=214）

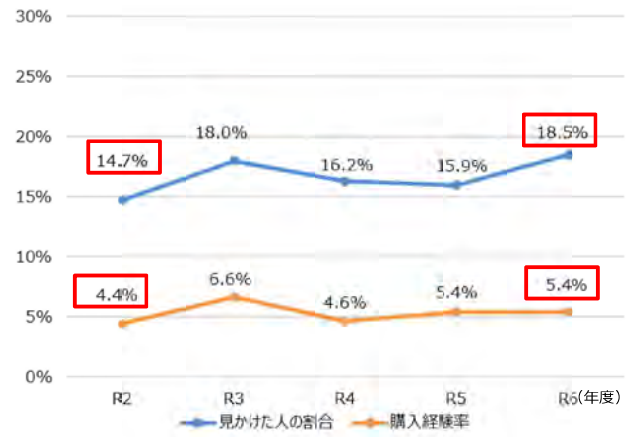


※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産ブロッコリーを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

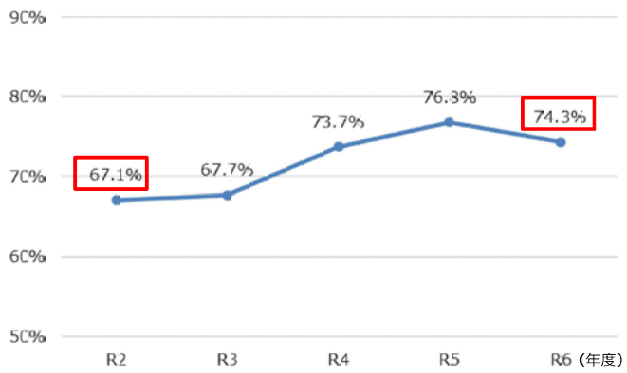
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産ブロッコリーを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ3.8%ポイント、1.0%ポイント上昇し、福島県産ブロッコリーの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は7.2%ポイント上昇した。

福島県産ブロッコリーを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,971、R3:7,618、R4:3,508、R5:2,784、R6:2,541。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000 。

福島県産ブロッコリーを高く評価している人の割合



※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:486、R3:727、R4:251、R5:215、R6:214。

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産グリーンピースは東京都中央卸売市場では主に５月・６月に流通しており、特に６月は高いシェアを占めている。横浜市中央卸売市場では主に３月～６月に流通しており、５月は市場シェア１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	1%	4%	19%	62%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	25
鹿児島	78%	58%	57%	54%	16%	6%	9%	11%	6%	6%	61%	87%	169
長崎	11%	15%	17%	14%	1%	0%	0%	0%	0%	55%	36%	8%	37
和歌山	6%	22%	20%	16%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	32
茨城	0%	0%	1%	4%	19%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14
総量	**41**	**24**	**49**	**58**	**53**	**19**	**4**	**1**	**1**	**2**	**19**	**48**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	1%	8%	31%	16%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12
鹿児島	77%	56%	48%	22%	3%	0%	0%	0%	0%	7%	47%	75%	101
熊本	9%	19%	24%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	46%	29%	17%	33
愛知	11%	22%	22%	24%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	23
秋田	0%	0%	0%	0%	7%	42%	39%	0%	0%	5%	1%	0%	15
総量	**31**	**20**	**35**	**19**	**20**	**25**	**6**	**1**	**0**	**1**	**20**	**47**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和５年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産グリーンピースは５月～６月にのみ流通している。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
鹿児島	77%	57%	59%	31%	14%	0%	0%	0%	0%	4%	91%	86%	133
熊本	16%	28%	25%	40%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	11%	40
和歌山	7%	14%	13%	21%	19%	2%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	21
岐阜	0%	0%	0%	0%	5%	74%	15%	0%	17%	72%	5%	0%	10
徳島	0%	0%	0%	2%	37%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8
総量	**38**	**26**	**46**	**20**	**17**	**9**	**4**	**1**	**1**	**1**	**13**	**48**	

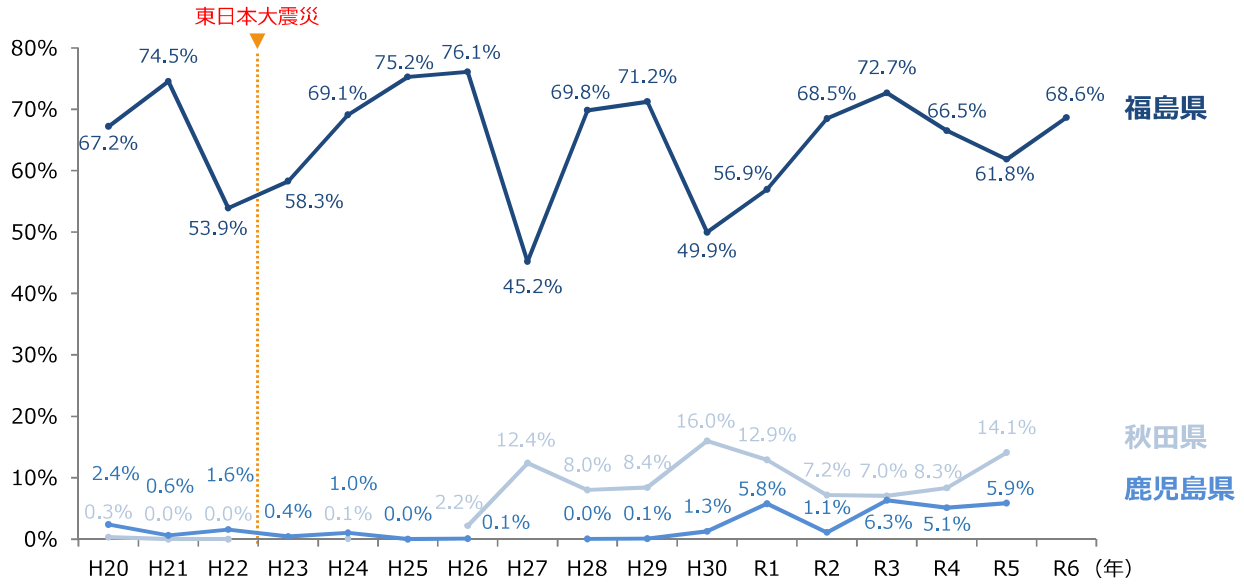
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ
※大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場・札幌市中央卸売市場は該当データが存在しない。

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースのシェアの推移

東京都中央卸売市場における６月の福島県産グリーンピースのシェアは、平成27年と平成30年で一時的に低くなっているものの、震災以降も概ね６割を超える高い水準となっている。競合産地である秋田県や鹿児島県を大幅に上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(６月)

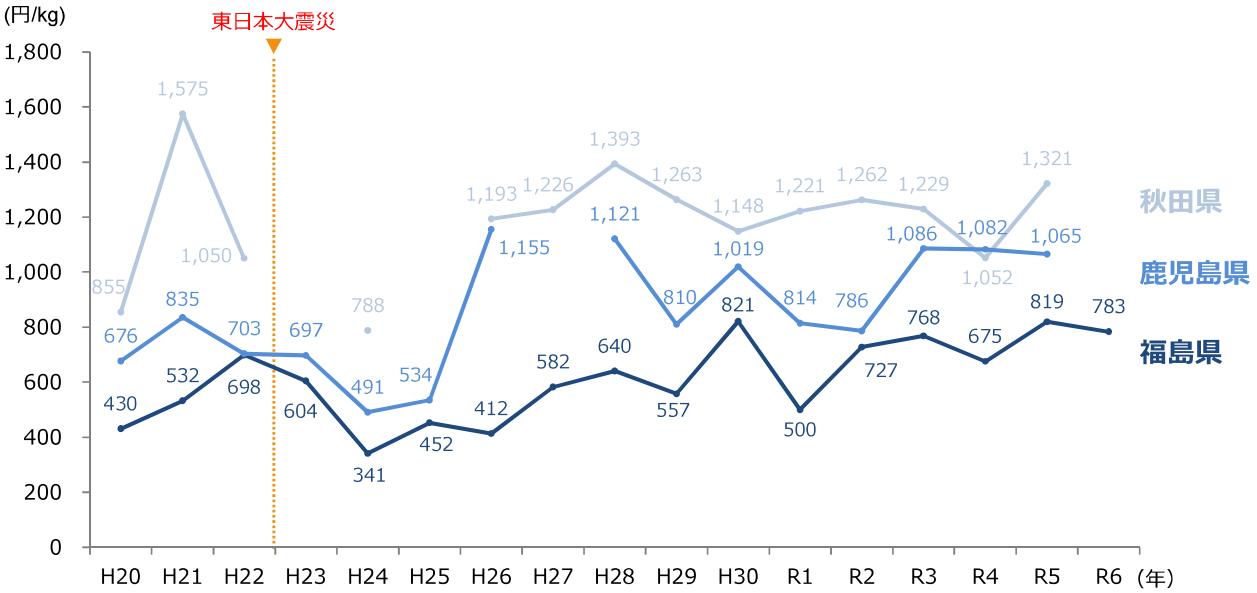


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし。

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースの単価の推移

東京都中央卸売市場における６月の福島県産グリーンピースの平均単価は、震災後に一時下落したが、その後回復傾向にあり、令和６年は783円/kgになった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(６月)

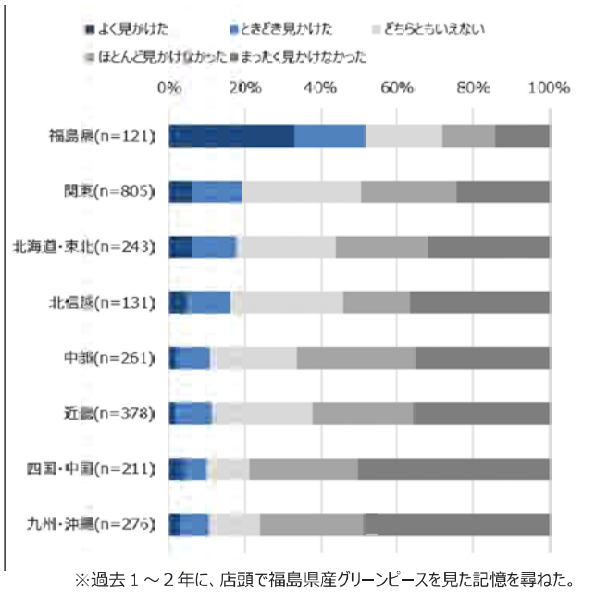


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし。

福島県産グリーンピースを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

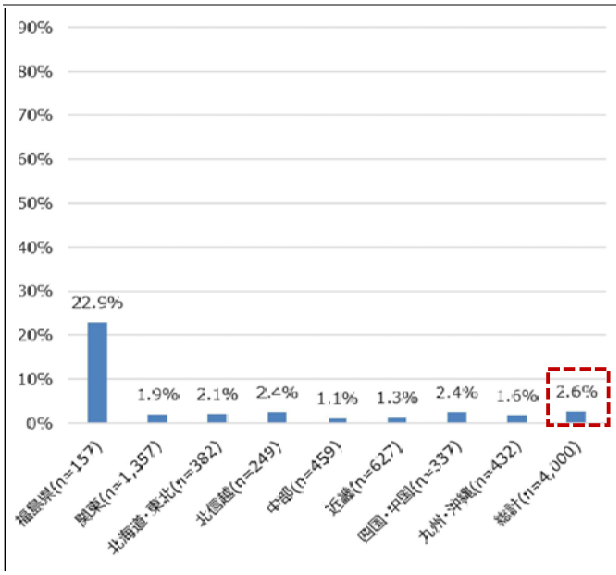
福島県産グリーンピースを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産グリーンピースを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.6%であった。

福島県産グリーンピースを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産グリーンピースを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産グリーンピースの購入経験率

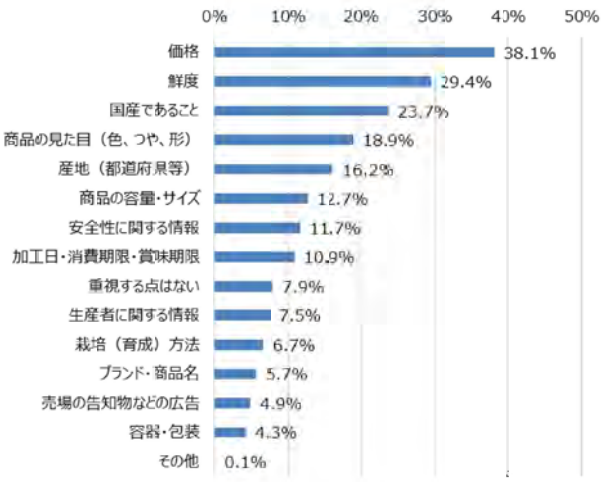


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

グリーンピース購入時の重視点と福島県産グリーンピースの購入者の評価（消費者アンケート）

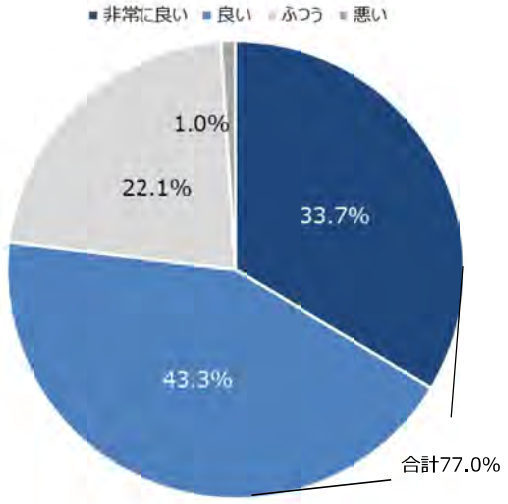
福島県産に限らずグリーンピース購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産グリーンピースの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.0%であった。

グリーンピース購入時の重視点（n=1,206、複数回答）



※グリーンピース購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上グリーンピースを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産グリーンピースの購入者の評価（n=104）

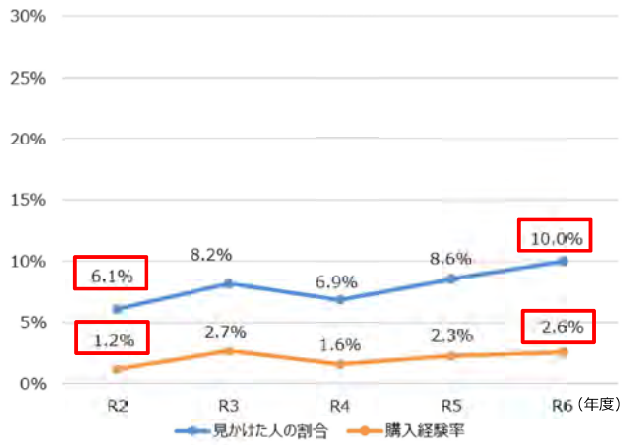


※福島県産グリーンピースを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産グリーンピースを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

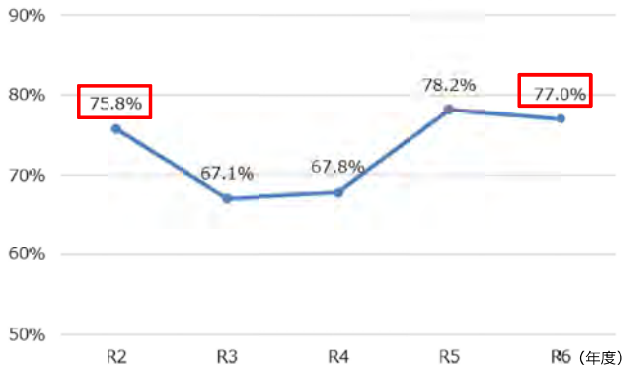
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産グリーンピースを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ3.9%ポイント、1.4%ポイント上昇し、福島県産グリーンピースの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.2%ポイント上昇した。

福島県産グリーンピースを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産グリーンピースを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,563、R3:6,990、R4:3,124、R5:2,661、R6:2,426。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000 、R6:4,000。

福島県産グリーンピースを高く評価している人の割合

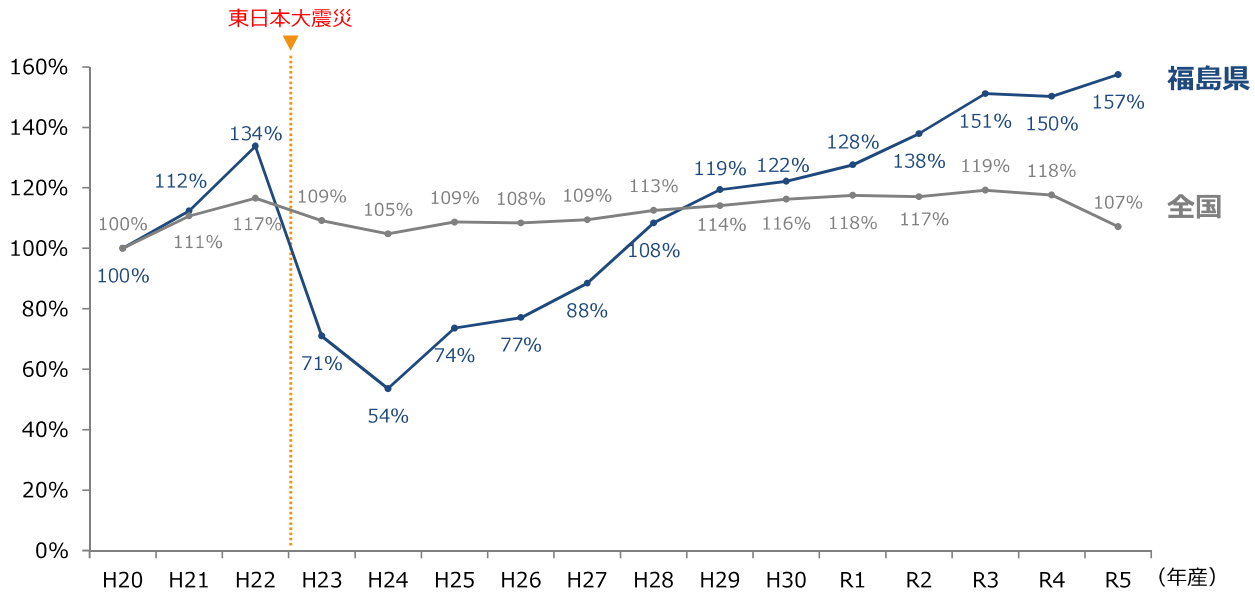


※福島県産グリーンピースを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:128、R3:292、R4:87、R5:92、R6:104。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年産では平成20年産の生産量を上回った。その後も増加傾向が続き、令和５年産では157%と高い水準になった。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

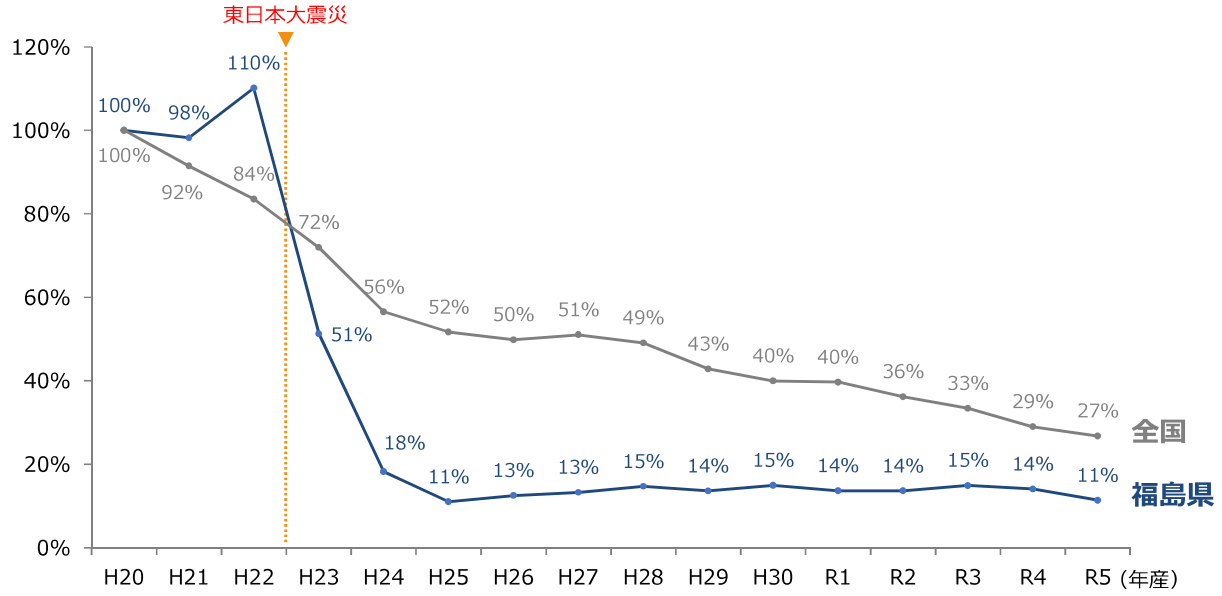


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移

福島県産原木しいたけの生産量は、平成23年産と、平成24年産において大幅に減少した。その後、横ばい傾向が続き、現在は平成20年産の11%程度となっている。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

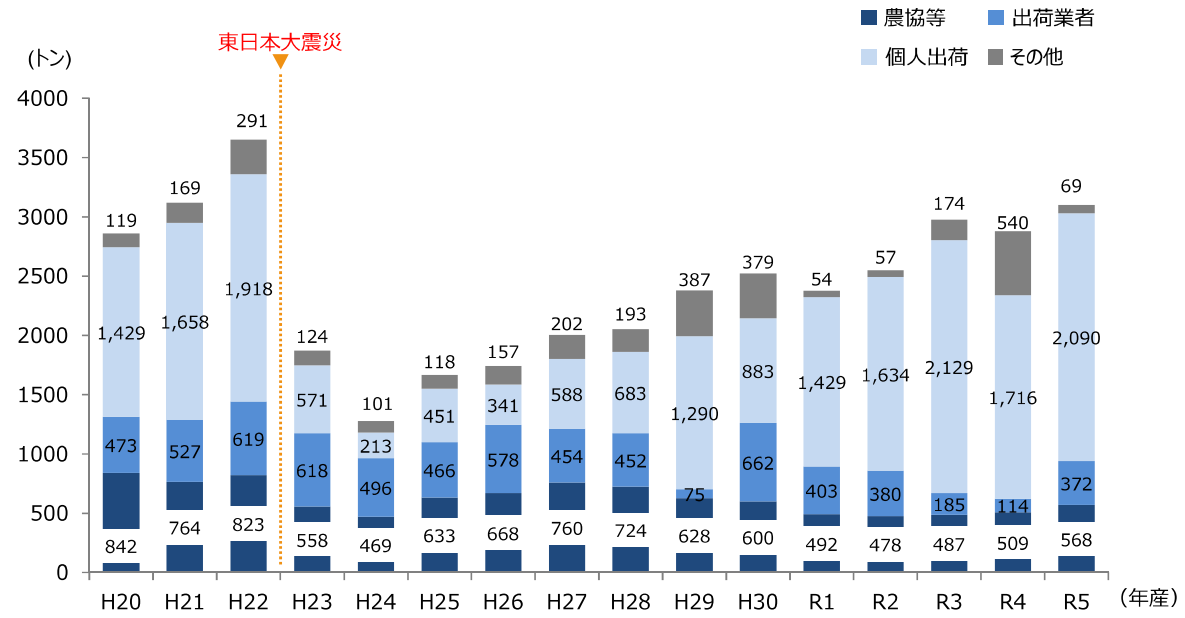


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

福島県産生しいたけの出荷主体別出荷量の推移

福島県産生しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であった。その後再び増加し、令和５年産は平成22年産の約109%まで回復しつつある。

福島県産生しいたけの出荷主体別出荷量の推移

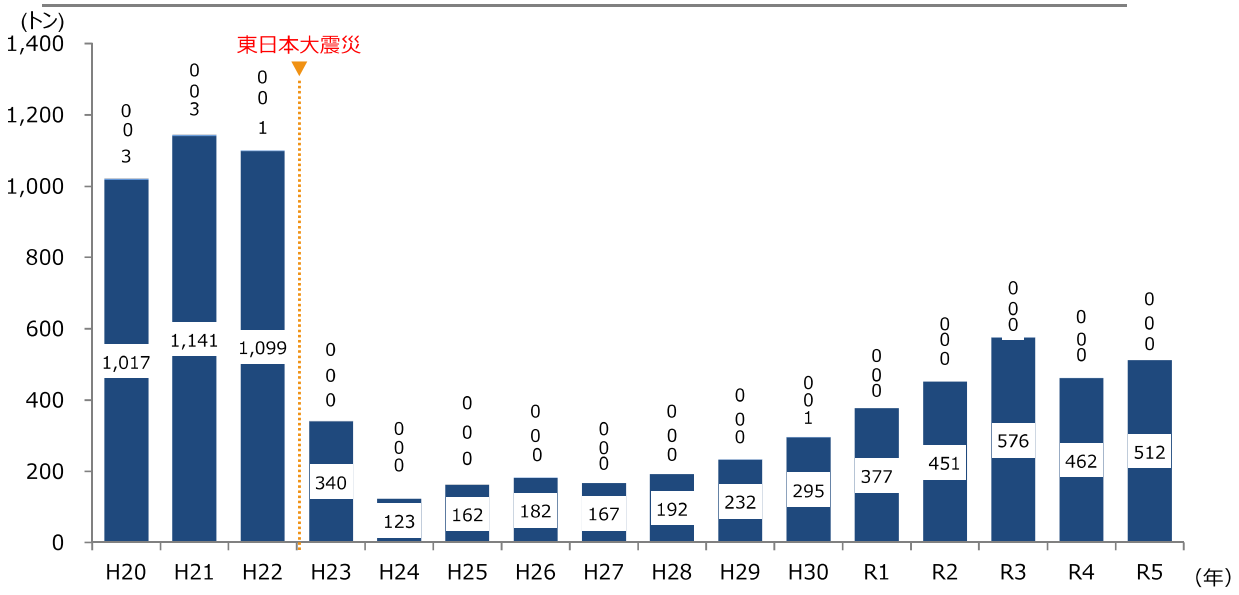


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われている。震災後に取扱量が大きく減少し、平成25年以降は少しずつ回復傾向にあり、令和５年には512トンの取扱量となった。

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産しいたけの市場シェアは、東京都中央卸売市場では７月は２位、８月は３位であった。横浜市中央卸売市場では年間を通して３位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	5%	6%	7%	7%	8%	13%	10%	5%	5%	5%	5%	375
秋田	25%	24%	26%	26%	26%	28%	26%	27%	27%	22%	23%	22%	1,483
岩手	20%	19%	18%	18%	15%	12%	12%	10%	10%	17%	18%	15%	956
栃木	8%	8%	10%	10%	8%	8%	8%	7%	6%	12%	10%	10%	536
群馬	7%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	8%	7%	8%	9%	10%	455
中国	11%	10%	7%	9%	8%	6%	6%	6%	6%	4%	4%	6%	412
総量	**601**	**504**	**524**	**446**	**421**	**390**	**354**	**341**	**400**	**657**	**671**	**711**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	7%	9%	8%	8%	5%	6%	8%	7%	7%	14%	9%	9%	136
秋田	60%	57%	60%	59%	63%	62%	61%	64%	61%	51%	55%	51%	961
岩手	22%	22%	21%	22%	23%	22%	21%	20%	21%	21%	24%	25%	365
山形	7%	6%	6%	6%	5%	4%	4%	3%	4%	10%	8%	9%	94
群馬	2%	3%	2%	2%	2%	2%	3%	3%	3%	2%	2%	2%	35
中国	1%	2%	2%	1%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	2%	25
総量	**143**	**125**	**137**	**117**	**125**	**123**	**104**	**95**	**105**	**144**	**152**	**143**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産しいたけの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	55%	81%	82%	85%	85%	84%	83%	86%	81%	79%	83%	81%	2,166
岐阜	34%	5%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	5%	152
兵庫	3%	4%	4%	4%	6%	5%	5%	4%	6%	6%	3%	3%	117
岡山	2%	2%	2%	4%	4%	5%	5%	4%	4%	3%	2%	3%	83
秋田	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	7%	4%	4%	53
総量	**291**	**205**	**227**	**202**	**187**	**194**	**177**	**171**	**189**	**245**	**285**	**348**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	64%	61%	49%	7%	51%	51%	45%	9%	44%	45%	45%	50%	492
和歌山	3%	3%	25%	38%	3%	31%	23%	32%	19%	15%	16%	19%	192
三重	7%	2%	8%	15%	15%	2%	11%	24%	15%	16%	12%	13%	123
大分	1%	11%	1%	13%	7%	1%	9%	11%	4%	6%	6%	6%	64
広島	11%	2%	1%	9%	8%	1%	7%	2%	5%	1%	5%	4%	48
総量	**80**	**77**	**104**	**67**	**88**	**70**	**80**	**42**	**95**	**117**	**118**	**140**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産しいたけの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	44%	43%	42%	35%	36%	35%	37%	35%	42%	46%	41%	43%	978
広島	12%	12%	13%	14%	17%	16%	16%	23%	15%	12%	12%	10%	333
和歌山	6%	8%	9%	11%	11%	11%	11%	8%	9%	7%	7%	6%	202
岐阜	11%	11%	9%	7%	4%	5%	5%	4%	4%	3%	8%	10%	172
北海道	3%	5%	7%	9%	8%	9%	9%	6%	6%	6%	7%	5%	158
総量	**231**	**206**	**200**	**175**	**176**	**164**	**152**	**153**	**191**	**243**	**241**	**285**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99%	100%	100%	100%	272
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0
栃木	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**26**	**23**	**20**	**20**	**23**	**23**	**19**	**19**	**21**	**25**	**23**	**30**	

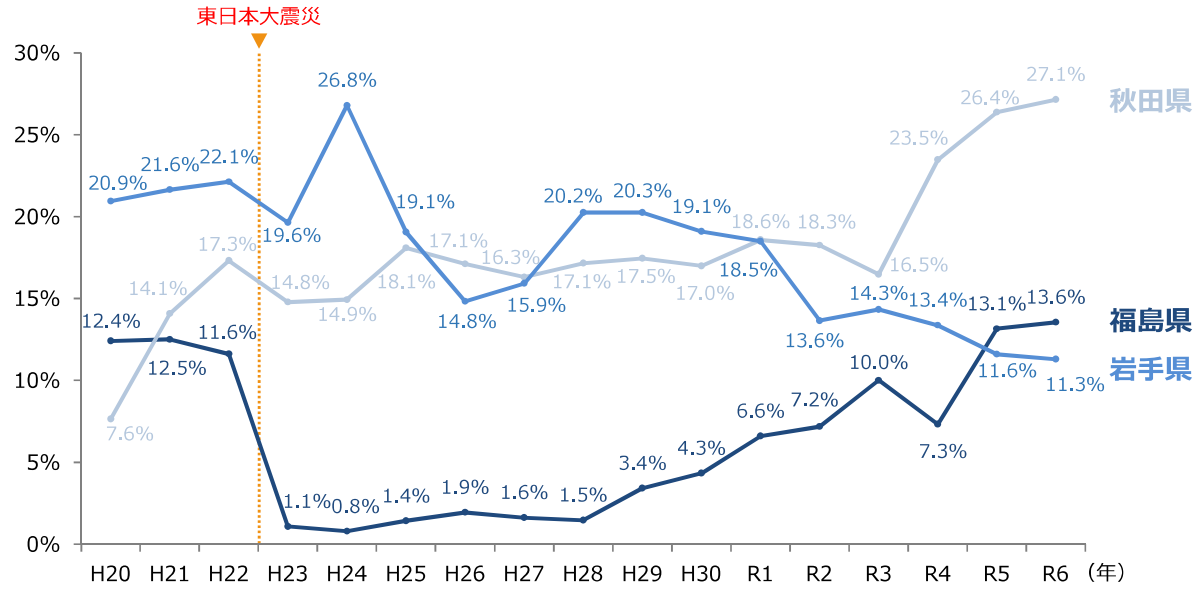
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけのシェアの推移

東京都中央卸売市場における７月の福島県産しいたけのシェアは、震災後の平成23年に大きく縮小した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和６年は13.6%まで回復した。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(７月)

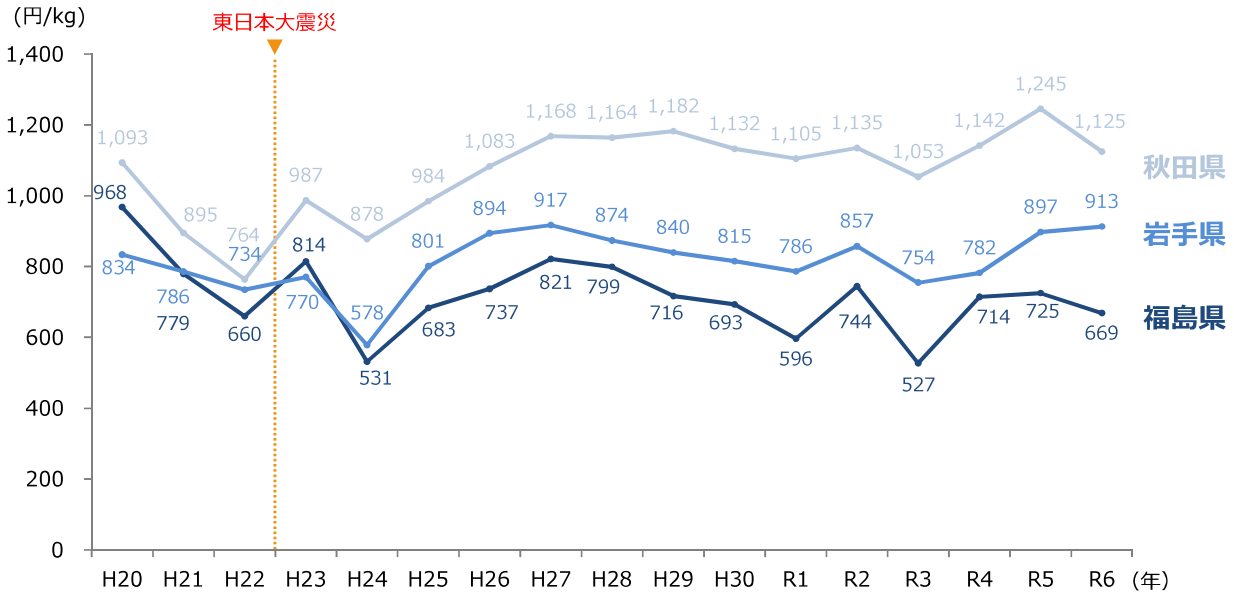


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけの単価の推移

東京都中央卸売市場における７月の福島県産しいたけの平均単価は、震災後の平成24年以降は岩手県産、秋田県産を下回っている。令和６年では、岩手県産との差が広がり、平均単価が244円/kgほど開いた。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)

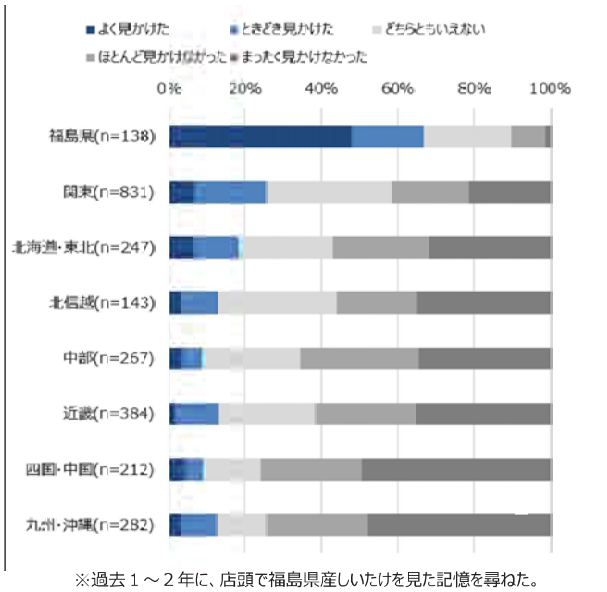


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産しいたけを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

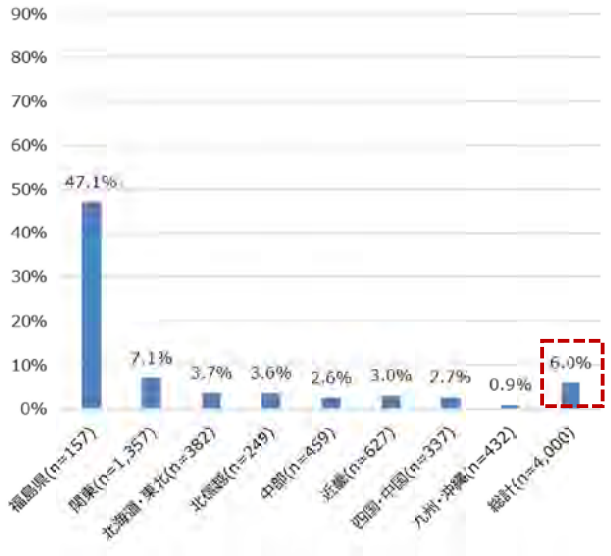
福島県産しいたけを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.0%であった。

福島県産しいたけを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産しいたけの購入経験率



※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

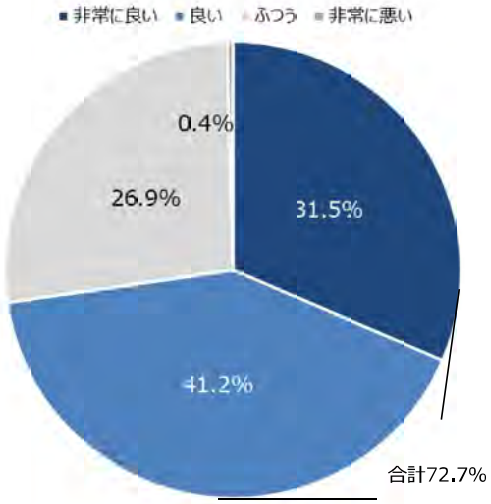
しいたけ購入時の重視点と福島県産しいたけの購入者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らずしいたけ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産しいたけの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

しいたけ購入時の重視点（n=2,714、複数回答）

※しいたけ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上しいたけを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産しいたけの購入者の評価（n=238）

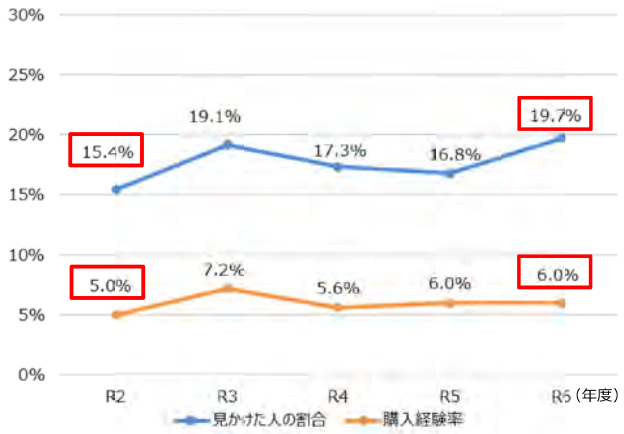


※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産しいたけを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

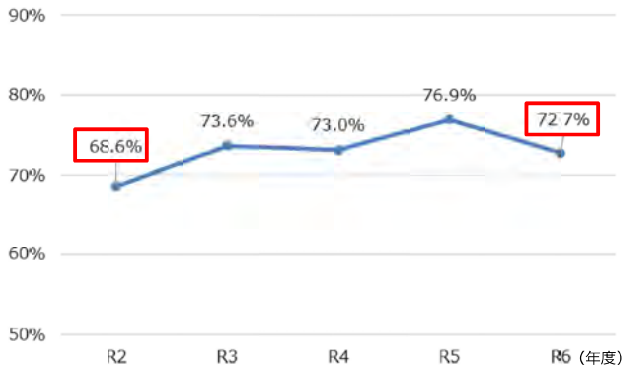
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産しいたけを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.3%ポイント、1.0%ポイント上昇し、福島県産しいたけの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.1%ポイント上昇した。

福島県産しいたけを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,813、R3:7,494、R4:3,392、R5:2,764、R6:2,504。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産しいたけを高く評価している人の割合

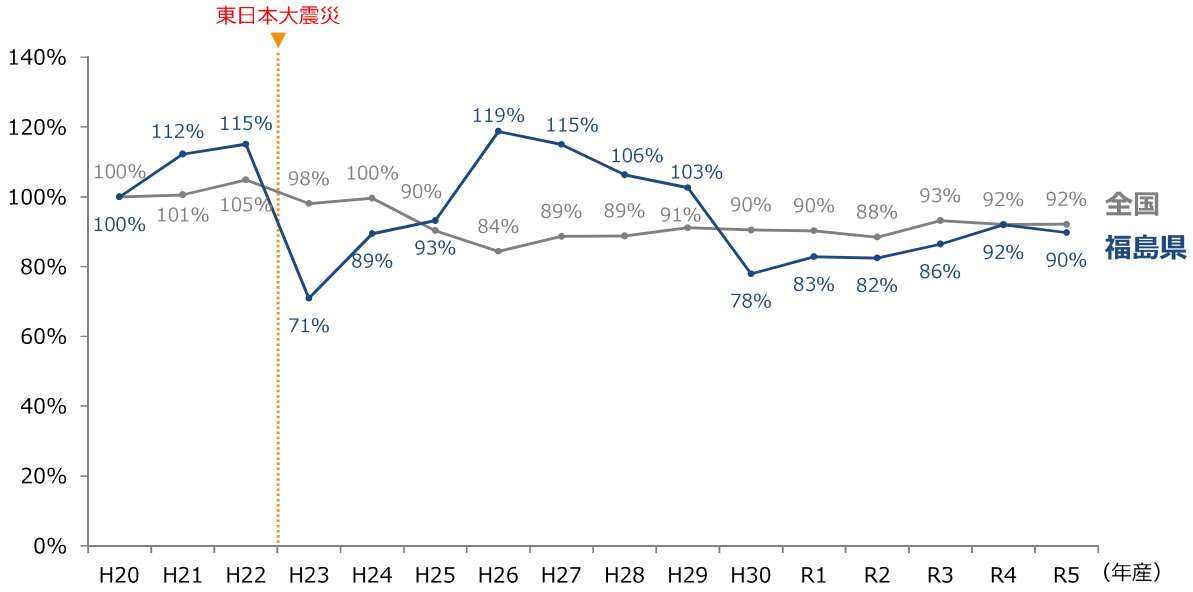


※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:551、R3:790、R4:308、R5:239、R6:238。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

震災後なめこの生産量が全国的に減少している中、福島県産なめこの生産量は震災直後の急減から回復したが、平成30年産で大きく減少。その後は概ね回復傾向にある。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

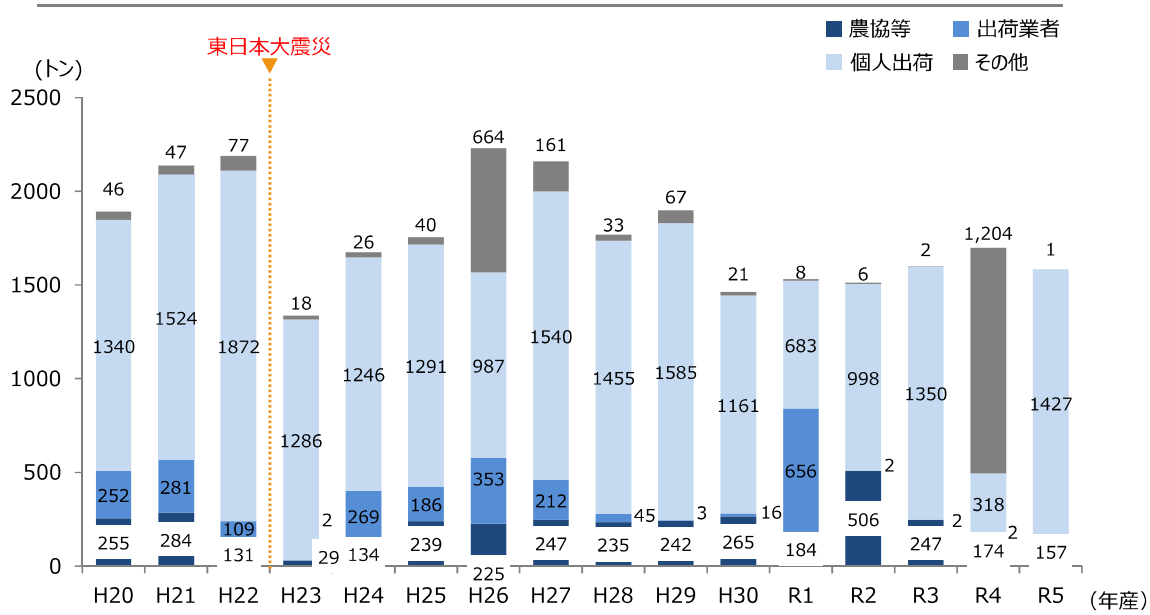


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

福島県産なめこの出荷量は震災直後に減少し、平成26年産・平成27年産では一時的に震災前の水準に戻ったが、平成28年産以降は再び減少した。令和4年産では個人出荷の割合が大きく減少したが、令和５年産は再び増加した。

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

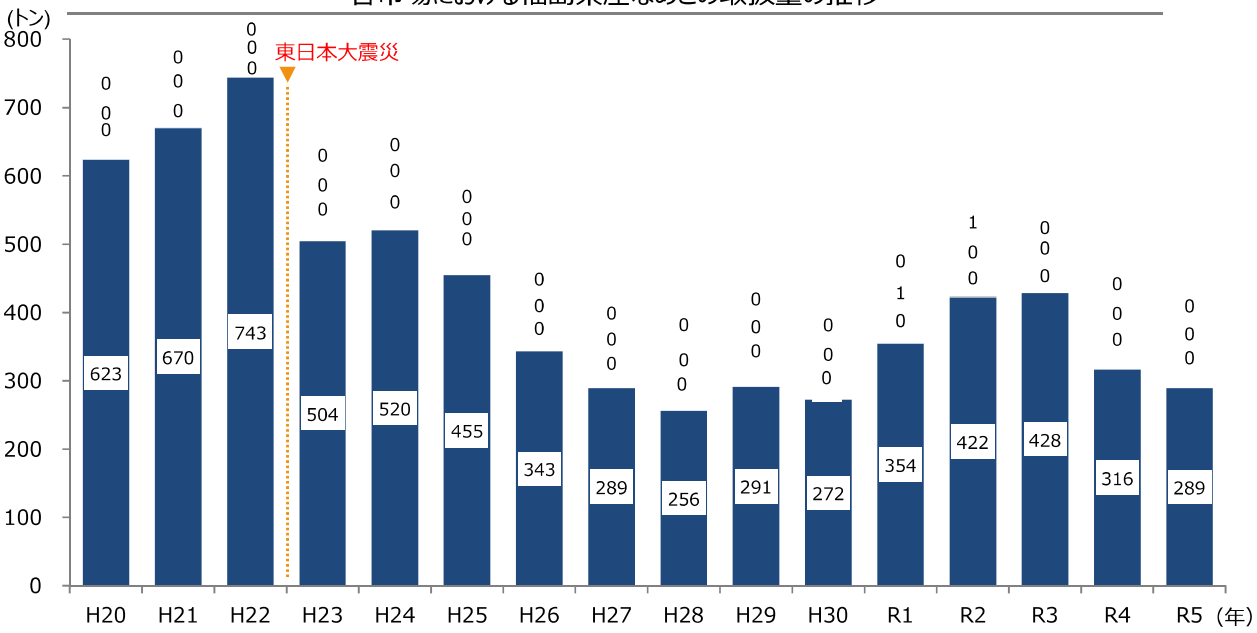


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産なめこは、令和元年の名古屋、令和２年の札幌を除き首都圏のみで取り扱われている。震災後、取扱量が減少し、その後回復傾向にあったものの、令和４年・５年と取扱量が再び減少している。

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるなめこの産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して福島県産なめこの取扱いがあり、市場シェアはそれぞれ10%、５%程度であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	10%	10%	10%	9%	11%	9%	9%	9%	7%	7%	8%	9%	255
山形	29%	30%	30%	30%	31%	33%	29%	28%	28%	31%	28%	26%	829
長野	29%	30%	29%	32%	27%	26%	26%	27%	26%	28%	22%	27%	773
新潟	13%	9%	10%	9%	10%	10%	13%	12%	18%	12%	22%	18%	377
群馬	11%	12%	12%	13%	12%	13%	11%	11%	11%	14%	11%	9%	329
総量	**224**	**211**	**240**	**218**	**207**	**231**	**240**	**229**	**250**	**240**	**272**	**266**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	5%	4%	4%	4%	4%	4%	4%	4%	5%	5%	5%	34
長野	56%	54%	55%	57%	54%	50%	50%	49%	51%	52%	53%	51%	410
山形	23%	24%	22%	23%	25%	22%	22%	21%	21%	21%	21%	20%	174
群馬	12%	12%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	11%	97
新潟	3%	3%	4%	3%	3%	9%	9%	11%	9%	8%	5%	11%	52
総量	**67**	**66**	**67**	**60**	**64**	**65**	**61**	**61**	**69**	**71**	**65**	**66**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるなめこの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産なめこの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	55%	56%	52%	53%	51%	52%	63%	52%	51%	53%	50%	48%	236
長野	38%	38%	45%	43%	45%	43%	33%	43%	44%	26%	45%	46%	182
和歌山	7%	6%	3%	4%	4%	3%	4%	5%	5%	4%	5%	6%	21
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	7
愛知	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**34**	**34**	**41**	**37**	**35**	**38**	**32**	**37**	**39**	**41**	**39**	**39**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	95%	92%	73%	73%	83%	96%	97%	97%	87%	78%	95%	72%	68
和歌山	5%	8%	26%	27%	5%	4%	3%	3%	13%	22%	4%	24%	5
三重	0%	0%	1%	1%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0
京都	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0
総量	**9**	**8**	**2**	**2**	**1**	**12**	**12**	**12**	**2**	**2**	**10**	**2**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるなめこの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産なめこの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	63%	62%	61%	60%	61%	63%	61%	64%	67%	59%	64%	63%	423
長野	36%	37%	38%	39%	38%	36%	38%	35%	32%	40%	35%	36%	248
新潟	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	6
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**52**	**53**	**56**	**57**	**55**	**54**	**52**	**49**	**75**	**61**	**56**	**58**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99%	99%	99%	99%	99%	100%	281
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	1
千葉	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**24**	**23**	**25**	**25**	**25**	**23**	**22**	**20**	**23**	**25**	**23**	**24**	

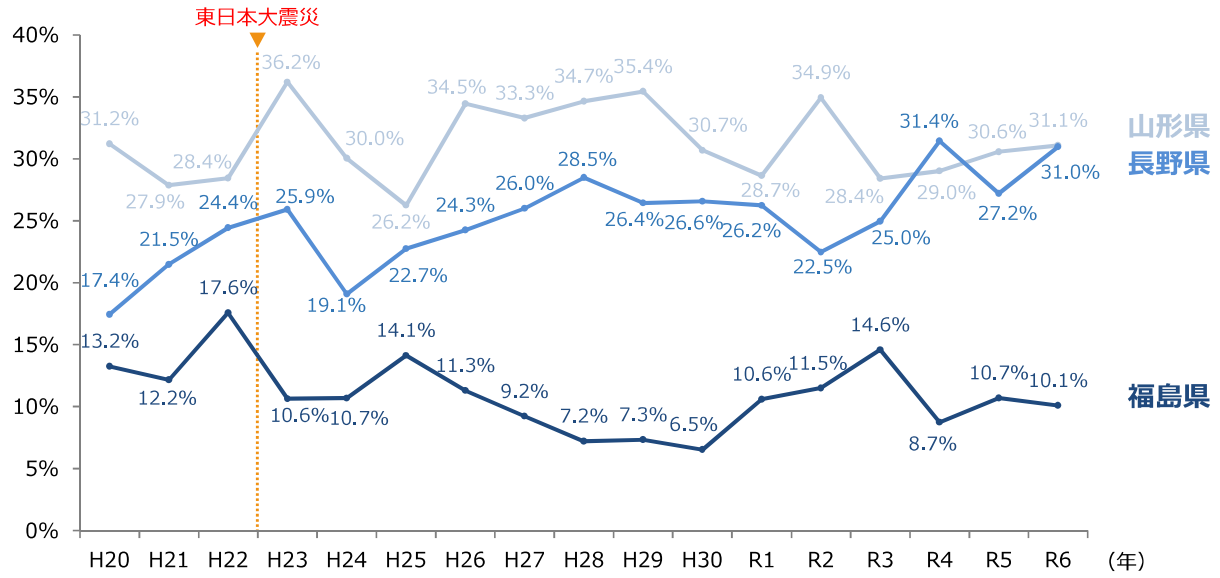
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン(札幌のみキログラム)。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産なめこのシェアの推移

東京都中央卸売市場における５月の福島県産なめこのシェアは、震災後に縮小し、平成30年まで縮小傾向が続いたが、令和元年以降に増加し、近年は10%前後で推移している。

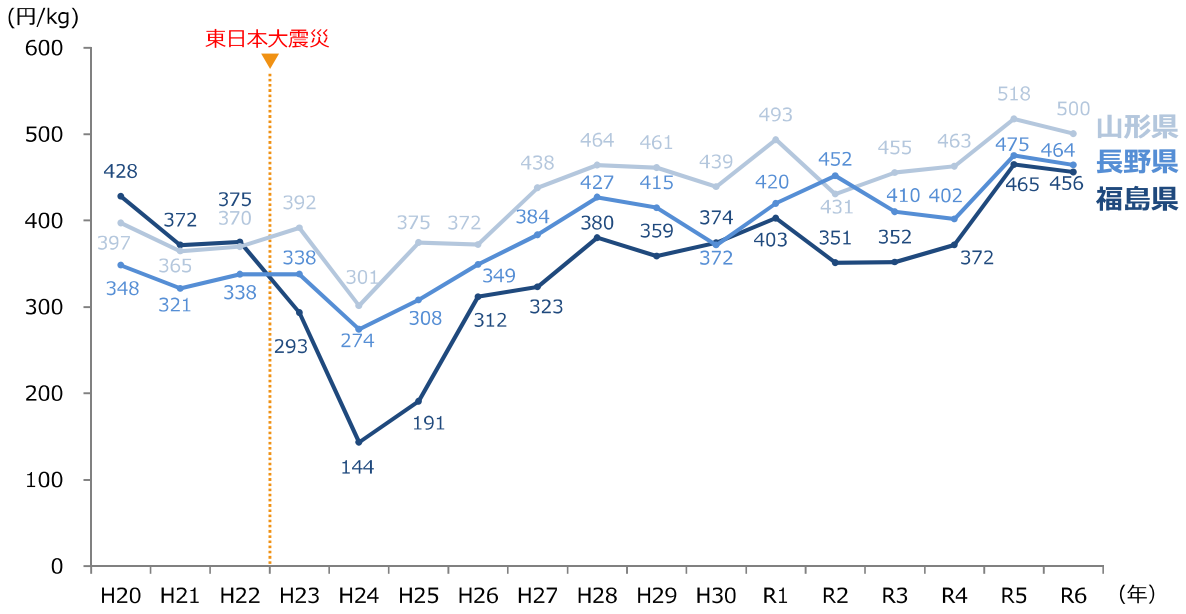
東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(５月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産なめこの単価の推移

東京都中央卸売市場における５月の福島県産なめこの平均単価は、震災後大きく下落し、山形県産や長野県産を下回った。その後回復傾向で推移し、令和５年・６年は長野県産と同程度の水準まで回復した。

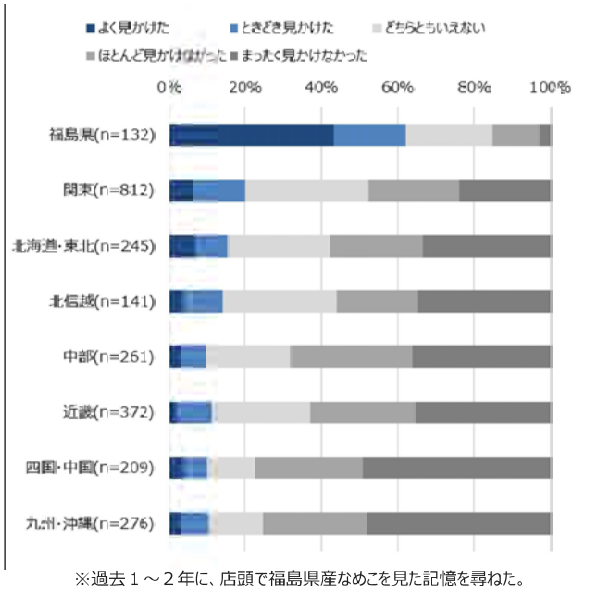


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産なめこを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

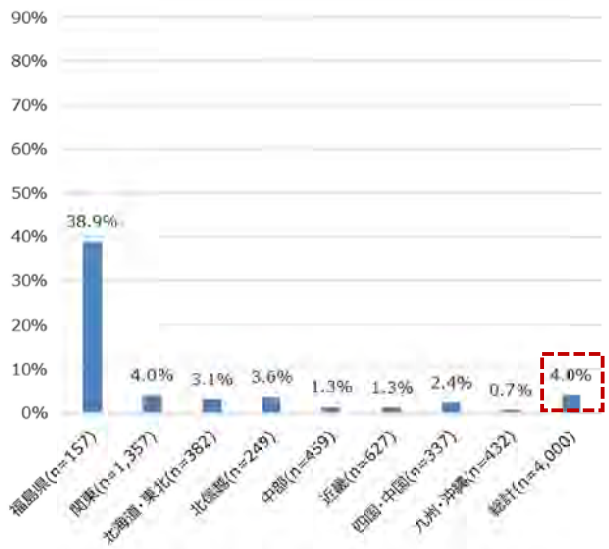
福島県産なめこを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産なめこを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.0%であった。

福島県産なめこを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産なめこの購入経験率

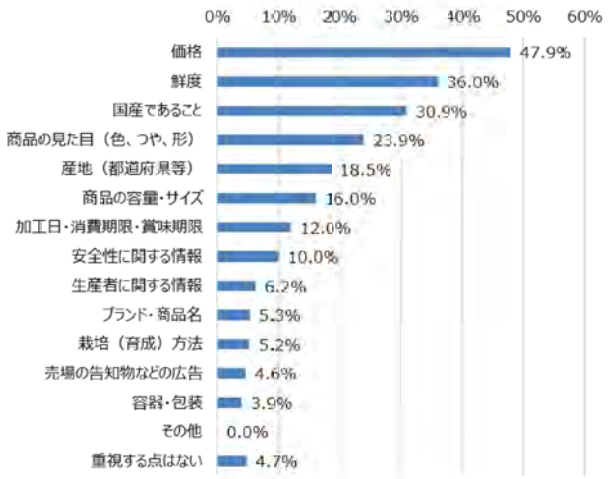


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

なめこ購入時の重視点と福島県産なめこの購入者の評価（消費者アンケート）

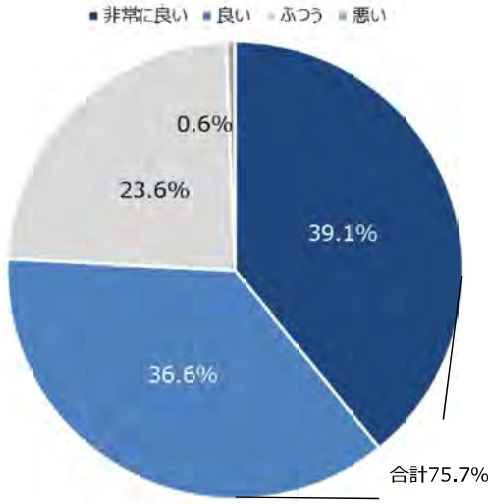
福島県産に限らずなめこ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産なめこの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.7%であった。

なめこ購入時の重視点（n=2,094、複数回答）



※なめこ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上なめこを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産なめこの購入者の評価（n=161）

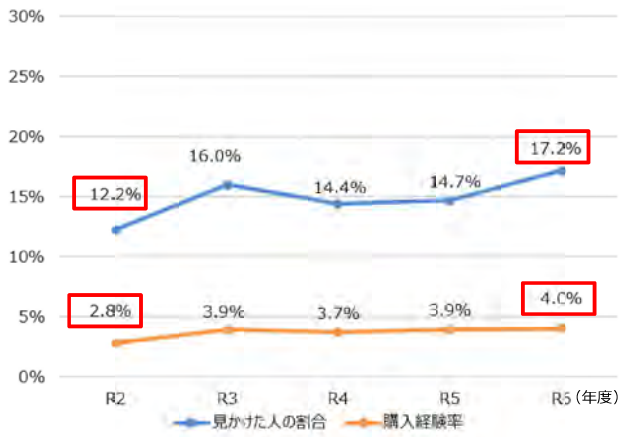


※福島県産なめこを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産なめこを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

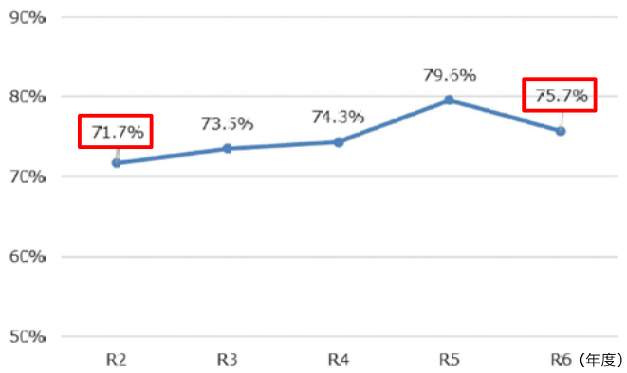
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産なめこを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ5.0%ポイント、1.2%ポイント上昇した。福島県産なめこの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.0%ポイント上昇した。

福島県産なめこを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,622、R3:7,217、R4:3,274、R5:2,689、R6:2,448。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産なめこを高く評価している人の割合

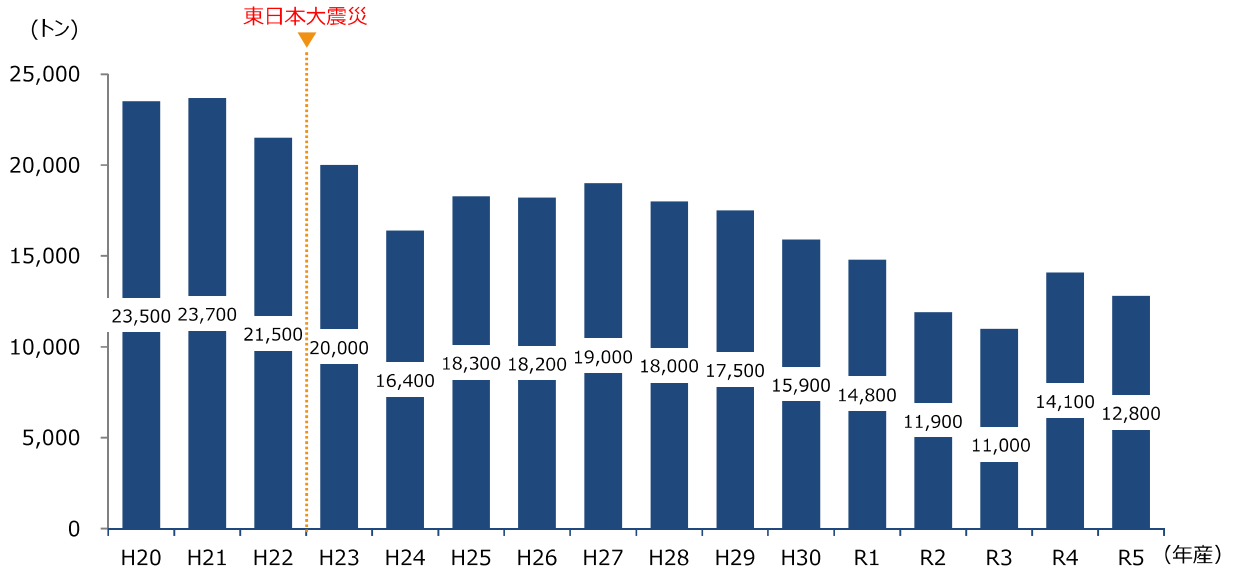


※福島県産なめこを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:311、R3:434、R4:206、R5:157、R6:161。

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、震災後に減少傾向で推移しており、令和５年産においても震災前の水準を下回っている。

福島県産日本梨の出荷量の推移

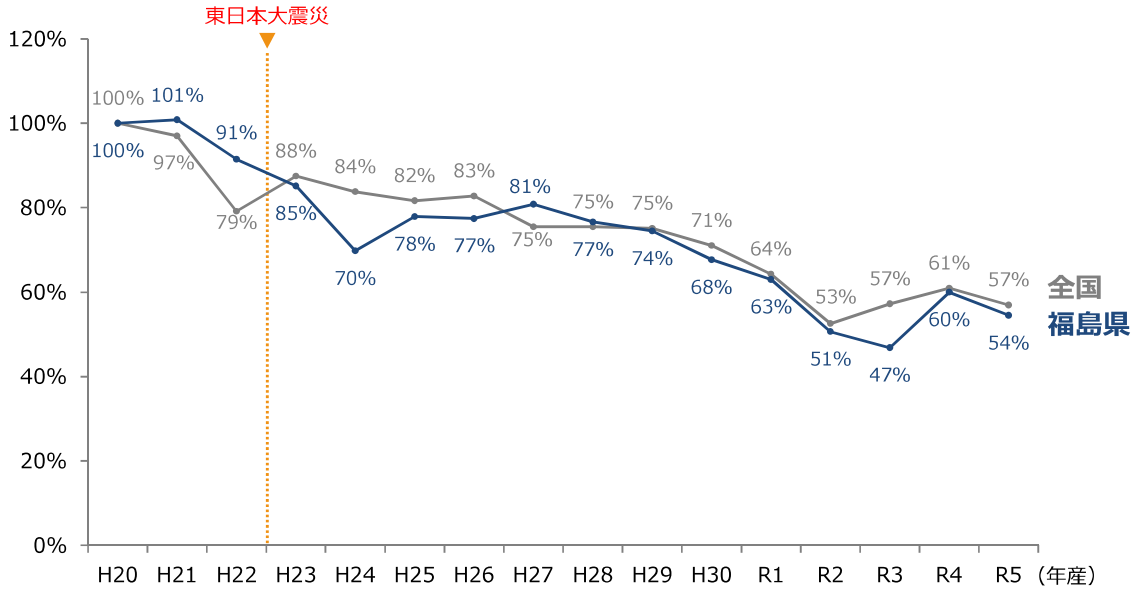


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量は、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しており、令和５年産の出荷量は、平成20年産の約54%であった。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

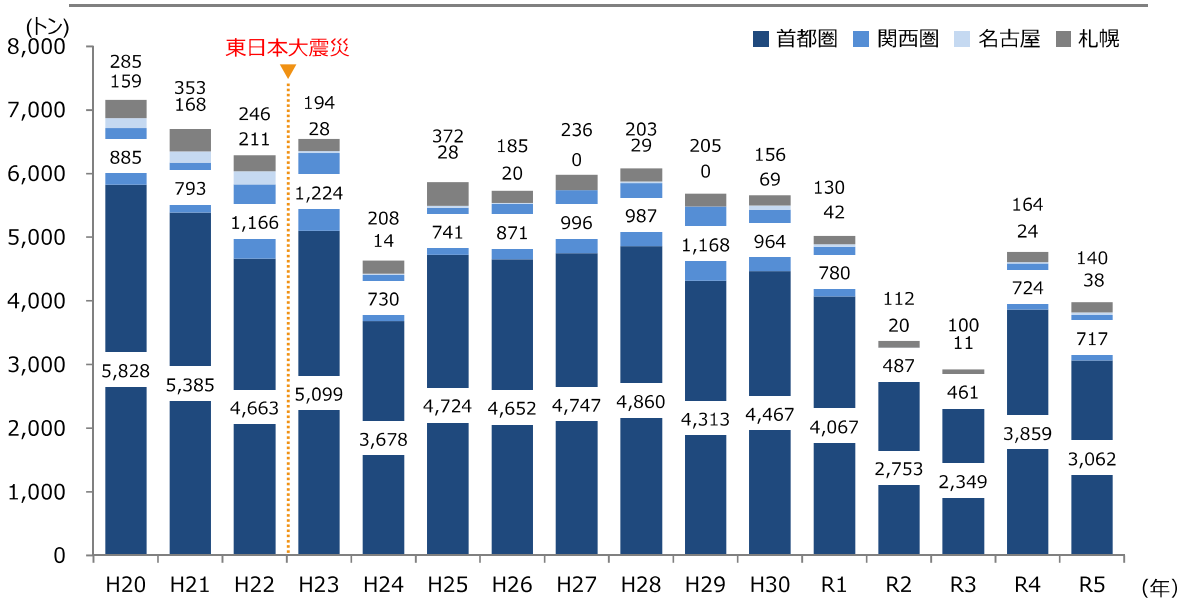


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、いずれの市場においても減少傾向で推移している。令和２年と令和３年は、気象条件や病害の影響もあり少なくなっている。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産梨は９月～10月・12月にシェアが２位であった。１月～３月にはシェア１位であるが、取扱量は僅かである。横浜市中央卸売市場においては福島県産梨は９月にシェアが２位、10月にシェアが１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	95%	42%	89%	-	-	0%	0%	11%	19%	20%	13%	15%	2,736
栃木	2%	1%	0%	-	-	9%	2%	28%	35%	48%	30%	43%	5,833
茨城	0%	0%	0%	-	-	0%	30%	23%	17%	5%	2%	5%	3,537
千葉	0%	9%	0%	-	-	0%	27%	23%	14%	2%	2%	2%	3,274
新潟	2%	23%	0%	-	-	0%	0%	3%	3%	10%	35%	6%	764
総量	**12**	**3**	**6**	**0**	**0**	**11**	**1,487**	**7,423**	**7,752**	**1,985**	**197**	**69**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	-	0%	15%	20%	30%	11%	0%	326
茨城	-	-	-	-	-	-	75%	42%	38%	6%	0%	0%	720
栃木	-	-	-	-	-	-	0%	16%	16%	29%	37%	0%	301
千葉	-	-	-	-	-	-	2%	14%	10%	0%	0%	0%	192
新潟	-	-	-	-	-	-	0%	5%	4%	13%	42%	0%	100
総量	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**134**	**717**	**820**	**182**	**9**	**11**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和５年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、福島県産梨は１月・10月にシェア１位、９月・11月にシェア２位であった。京都市中央卸売市場においては、１月にシェアが３位であったが、年間を通して福島県産梨の取扱いは少量である。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	66%	-	0%	-	-	0%	0%	8%	22%	34%	35%	0%	715
徳島	0%	-	0%	-	-	0%	46%	43%	2%	0%	0%	0%	1,154
鳥取	9%	-	0%	-	-	0%	0%	18%	24%	0%	0%	0%	848
長野	0%	-	0%	-	-	0%	0%	5%	18%	20%	5%	8%	521
大分	22%	-	0%	-	-	0%	8%	7%	4%	17%	18%	92%	327
総量	**14**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**346**	**2,238**	**1,893**	**293**	**22**	**9**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	17%	0%	-	-	-	-	0%	0%	0%	1%	0%	0%	2
鳥取	4%	0%	-	-	-	-	3%	27%	38%	41%	6%	61%	259
徳島	0%	0%	-	-	-	-	92%	41%	1%	0%	0%	0%	165
富山	0%	0%	-	-	-	-	0%	18%	20%	19%	0%	0%	140
京都	35%	100%	-	-	-	-	0%	2%	18%	10%	64%	1%	96
長野	0%	0%	-	-	-	-	0%	4%	19%	24%	0%	0%	93
総量	**3**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**30**	**323**	**371**	**44**	**24**	**19**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場における梨の産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産梨の取扱いは、名古屋市中央卸売市場ではほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県は８月～10月に主力産地の一つとなっており、また、取扱量は少ないものの12月～２月の福島県産梨のシェアは１位であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%-	-	-	-	-		0%	1%	1%	3%	4%	7%	38
長野	100%-	-	-	-	-		0%	49%	61%	45%	19%	7%	1,619
佐賀	0%-	-	-	-	-		81%	16%	0%	0%	0%	0%	462
愛知	0%-	-	-	-	-		17%	11%	9%	3%	30%	36%	360
新潟	0%-	-	-	-	-		0%	8%	9%	27%	23%	0%	322
富山	0%-	-	-	-	-		0%	9%	10%	8%	0%	0%	280
総量	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**300**	**1,386**	**1,280**	**332**	**46**	**12**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	99%	100%	-	-	-	0%	0%	15%	14%	9%	0%	95%	140
新潟	0%	0%	-	-	-	0%	0%	46%	40%	72%	91%	0%	380
茨城	1%	0%	-	-	-	0%	59%	29%	23%	2%	1%	0%	164
栃木	0%	0%	--		-	0%	0%	2%	6%	9%	1%	0%	41
長野	0%	0%	-	-	-	0%	0%	2%	10%	1%	0%	0%	41
総量	**24**	**5**	**0**	**0**	**0**	**0**	**12**	**244**	**366**	**147**	**17**	**10**	

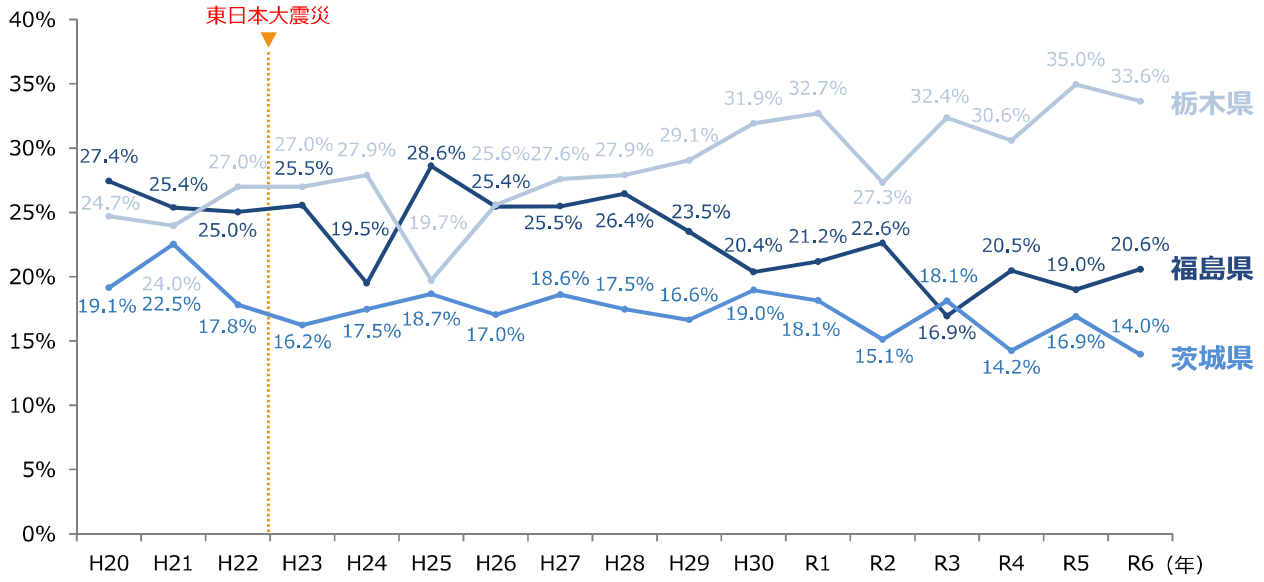
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における９月の福島県産梨のシェアは、平成25年度に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は概ね縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(９月)

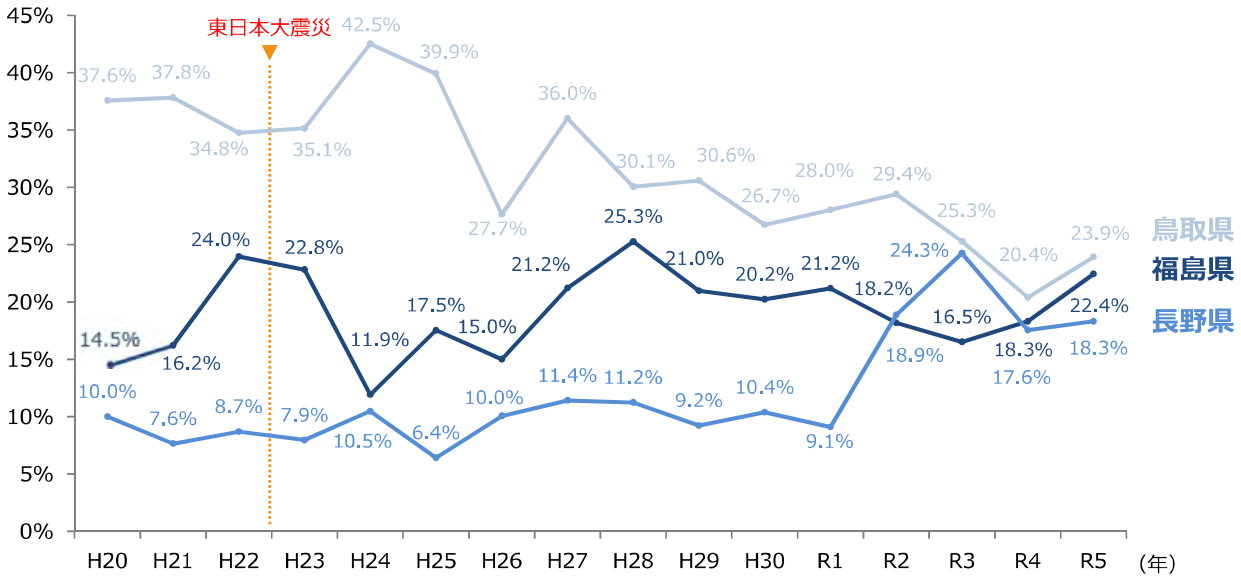


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場における９月の福島県産梨のシェアは、平成24年に大きく縮小した。その後回復傾向にあったものの、平成28年をピークに再び縮小した。一方、令和３年以降は再び回復傾向にあり、令和５年のシェアは22.4%であった。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(９月)

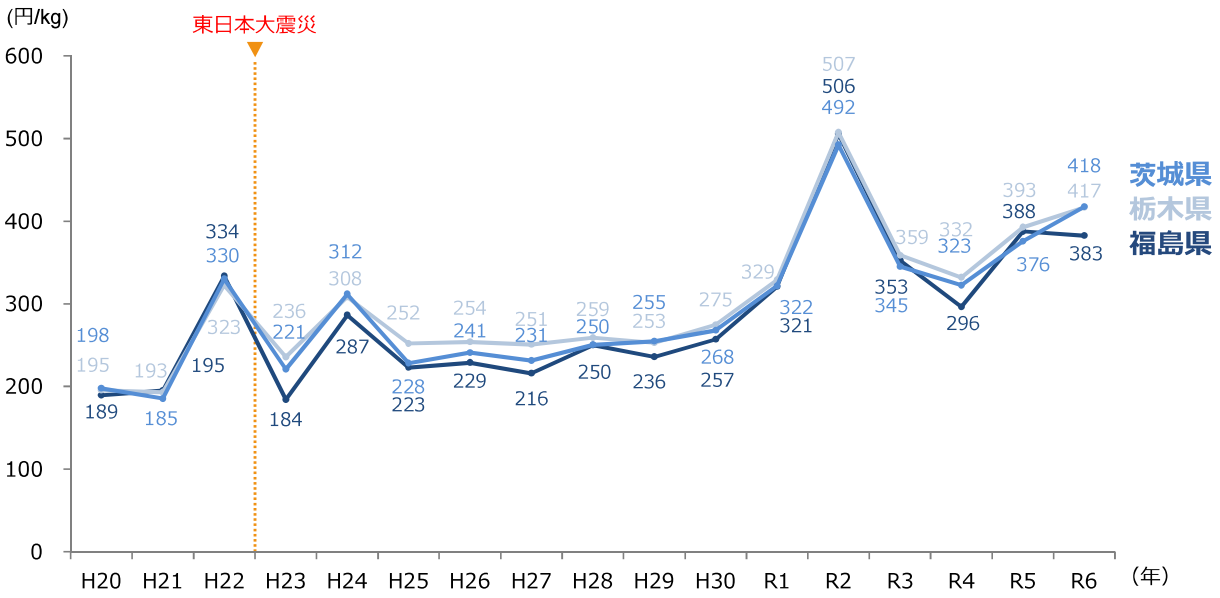


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場における９月の福島県産梨の平均単価は、震災後、茨城県産や栃木県産よりも低い水準で推移していたものの、令和元年以降はほぼ同水準となっている。ただし、令和４年、令和６年は茨城県産や栃木県産よりも低い水準となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(９月)

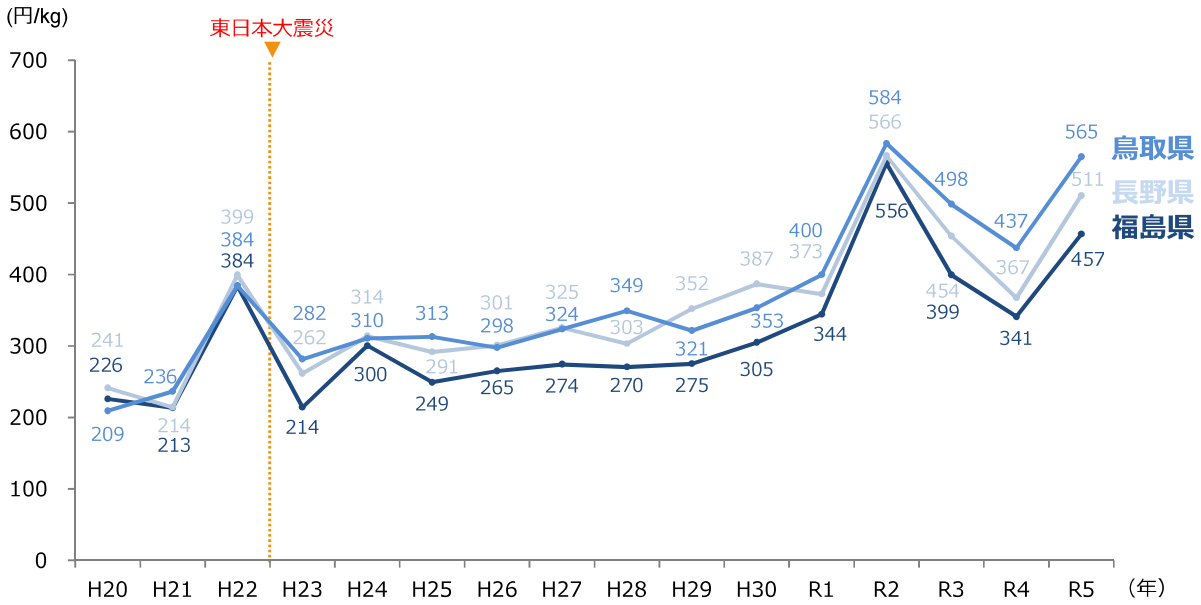


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場における９月の福島県産梨の平均単価は、震災後、鳥取県産や長野県産との差が拡大していたが、令和２年はその差が縮小した。令和３年以降は再びその差が拡大傾向にある。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(９月)

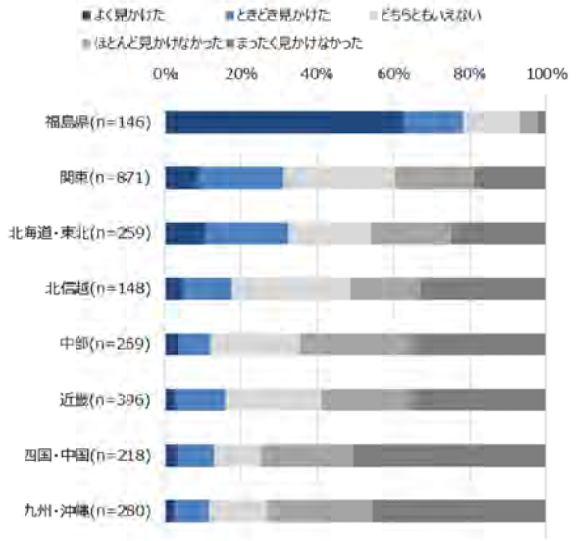


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産梨を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

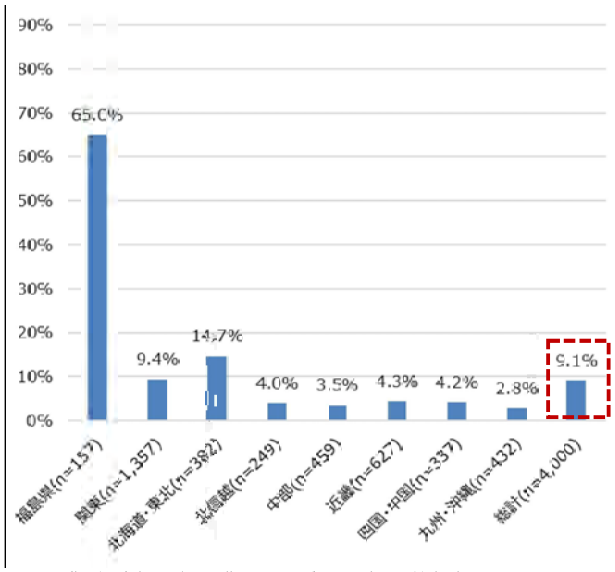
福島県産梨を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、北海道・東北を除く他の地域では10%に満たない。福島県産梨を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.1%であった。

福島県産梨を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購入経験率



※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

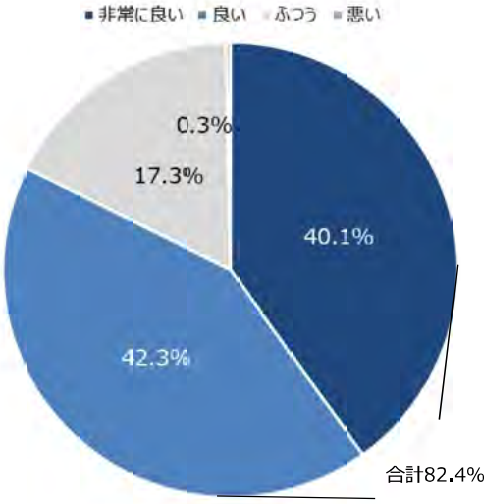
梨購入時の重視点と福島県産梨の購入者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず梨購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産梨の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.4%であった。

梨購入時の重視点（n=2,441、複数回答）

※梨購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上梨を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨の購入者の評価（n=364）

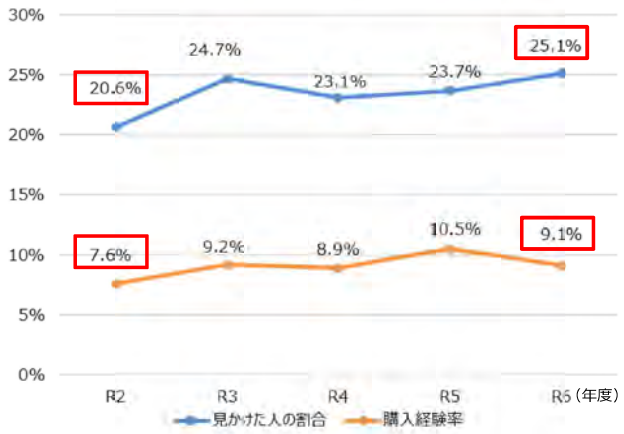


※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産梨を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

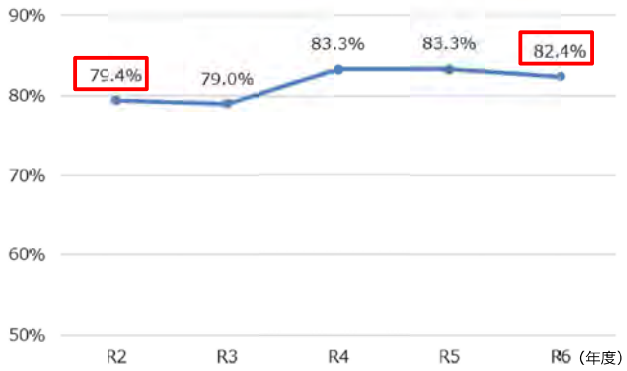
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産梨を店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.5%ポイント、1.5%ポイント上昇し、福島県産梨の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.0%ポイント上昇した。

福島県産梨を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,101、R3:7,711、R4:3,569、R5:2,840、R6:2,587。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000 。

福島県産梨を高く評価している人の割合

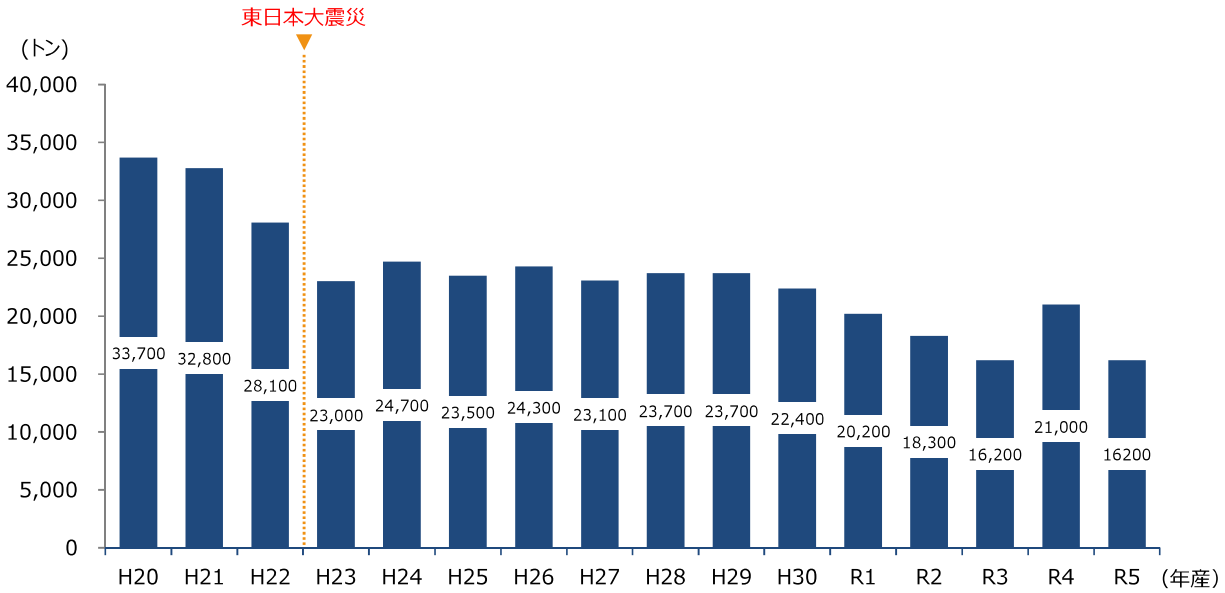


※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:835、R3:1,008、R4:491、R5:418、R6:364。

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産に減少し、その後は概ね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向で令和３年産は凍霜害の影響もあり、特に少ない出荷量となった。令和４年産は一時的に回復したが、令和５年産は再び減少した。

福島県産りんごの出荷量の推移

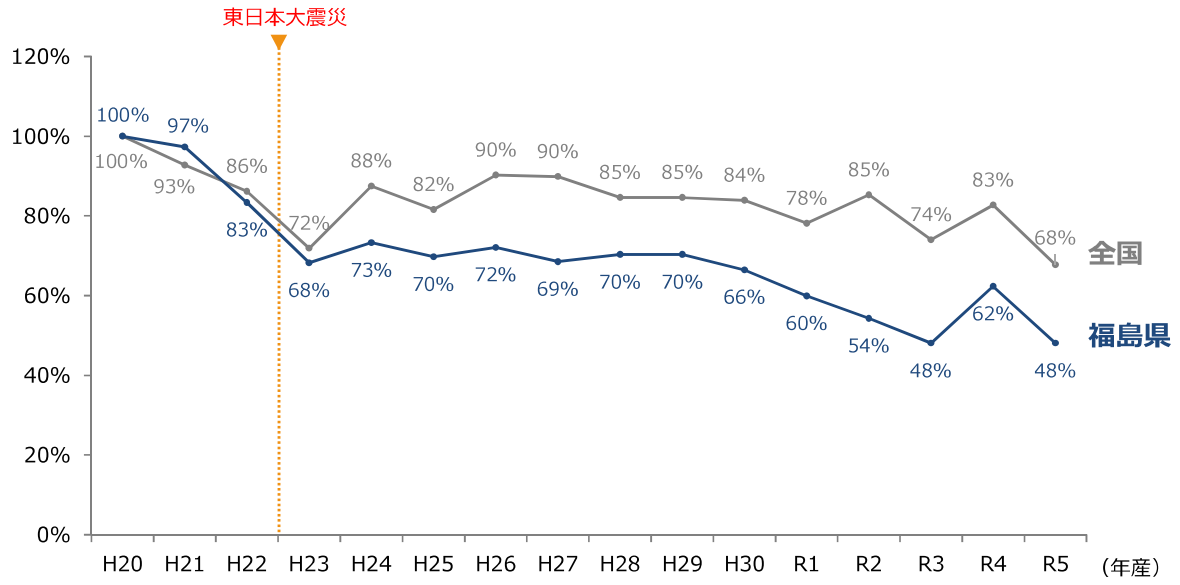


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成26年産以降横ばいもしくは微減で推移する一方で、福島県産は平成30年産以降、令和４年産を除いて減少傾向にある。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

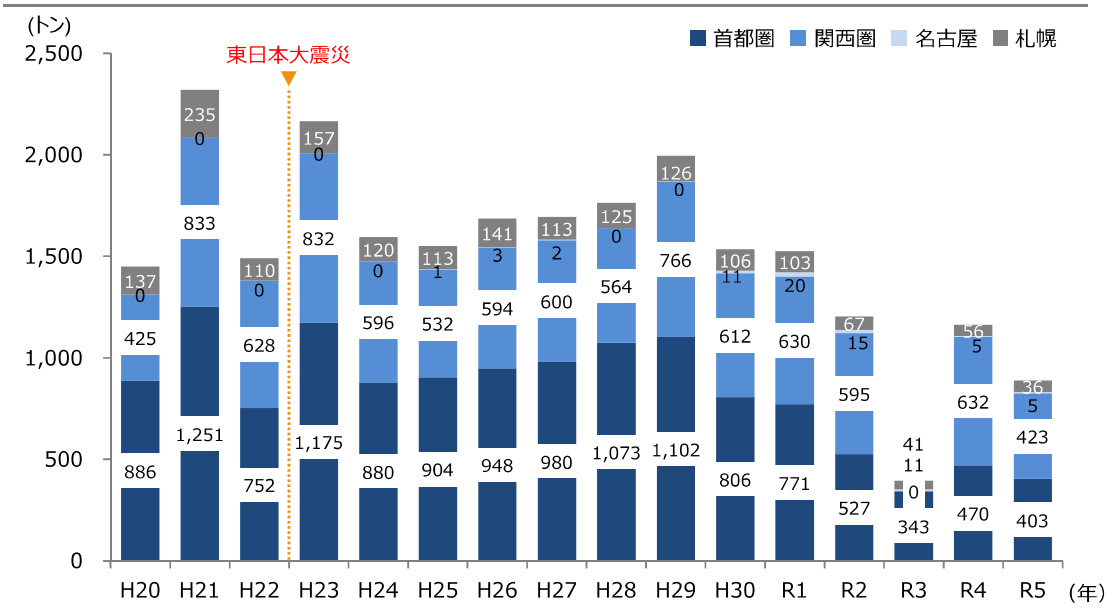


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われているが、首都圏の取扱量は、平成30年以降減少傾向にある。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、１月、８月、10月～12月に福島県産りんごのシェアが全体の１％～２％程度を占めていた。横浜市中央卸売市場では、福島県産りんごの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	2%	397
青森	82%	94%	98%	99%	98%	98%	97%	50%	69%	59%	55%	70%	45,018
長野	2%	1%	1%	0%	0%	0%	1%	36%	15%	24%	19%	8%	4,608
山形	3%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	8%	8%	10%	17%	7%	2,829
岩手	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	5%	7%	11%	2,192
秋田	4%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	622
総量	**5,929**	**6,456**	**6,505**	**5,255**	**3,601**	**2,753**	**1,887**	**1,956**	**4,439**	**5,918**	**6,055**	**5,093**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	6
青森	57%	77%	98%	100%	98%	97%	93%	73%	71%	54%	31%	44%	4,420
秋田	30%	18%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	17%	20%	24%	736
山形	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	15%	15%	29%	12%	439
岩手	12%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	9%	5%	13%	16%	356
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	7%	4%	131
総量	**698**	**704**	**673**	**568**	**438**	**324**	**257**	**183**	**440**	**760**	**550**	**530**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和５年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、11月・12月に福島県産りんごのシェアが全体の５％程度を占めていた。京都市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	6%	423
青森	86%	96%	99%	100%	99%	98%	98%	52%	73%	62%	56%	63%	26,882
長野	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	42%	17%	27%	26%	18%	3,357
岩手	5%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	9%	6%	7%	8%	1,160
秋田	7%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	3%	4%	644
総量	**3,454**	**3,206**	**3,628**	**2,989**	**2,379**	**1,917**	**1,624**	**1,159**	**2,394**	**3,401**	**3,133**	**3,472**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	88%	98%	100%	100%	100%	100%	97%	15%	69%	49%	68%	55%	3,443
長野	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	84%	28%	47%	21%	32%	718
岩手	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	1%	4%	12%	97
秋田	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	7%	2%	71
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	7
総量	**424**	**449**	**673**	**232**	**398**	**167**	**129**	**163**	**518**	**485**	**254**	**444**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和５年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、７月に福島県産りんごがシェア２位、８月・12月にシェア３位であったが、量は僅かである。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
青森	91%	97%	98%	100%	100%	97%	99%	22%	52%	40%	31%	40%	10,385
長野	5%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	78%	46%	57%	63%	48%	3,180
岩手	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	6%	11%	314
秋田	1%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	106
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	16
総量	**1,669**	**1,799**	**1,840**	**1,486**	**868**	**498**	**359**	**512**	**1,061**	**1,566**	**1,182**	**1,174**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	1%	7%	36
青森	79%	87%	91%	98%	98%	97%	98%	90%	49%	32%	39%	59%	3,704
北海道	18%	12%	9%	2%	0%	0%	0%	8%	48%	65%	58%	30%	1,192
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	2%	30
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	1%	1%	20
総量	**501**	**597**	**634**	**488**	**432**	**226**	**160**	**188**	**347**	**632**	**451**	**365**	

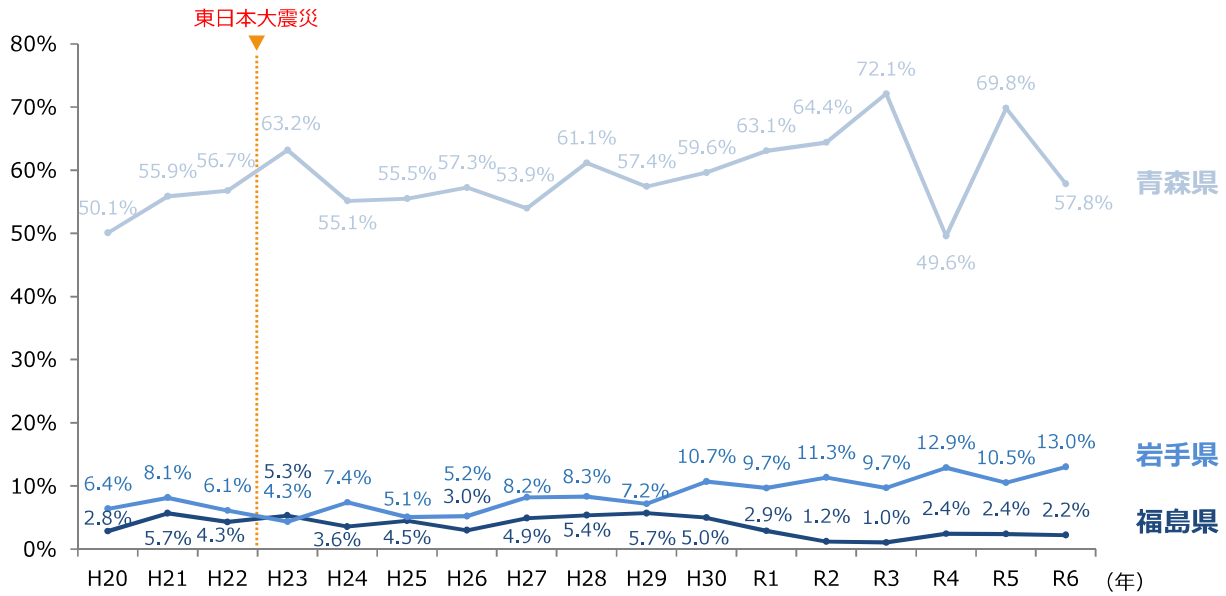
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産りんごのシェアの推移

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごのシェアは、平成21年～平成30年まで５％程度を維持していたが、近年は縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)

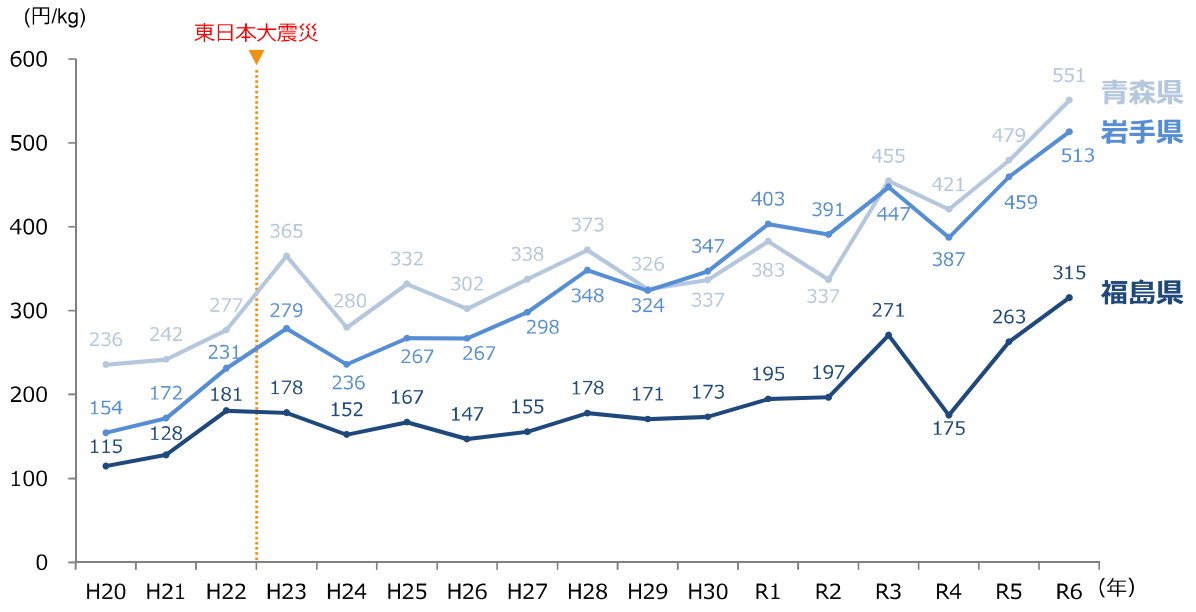


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産りんごの単価の推移

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごの平均単価は、平成28年から上昇傾向にあり、令和６年は315円/kgであった。ただし、青森県産や岩手県産との価格差は震災前より拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

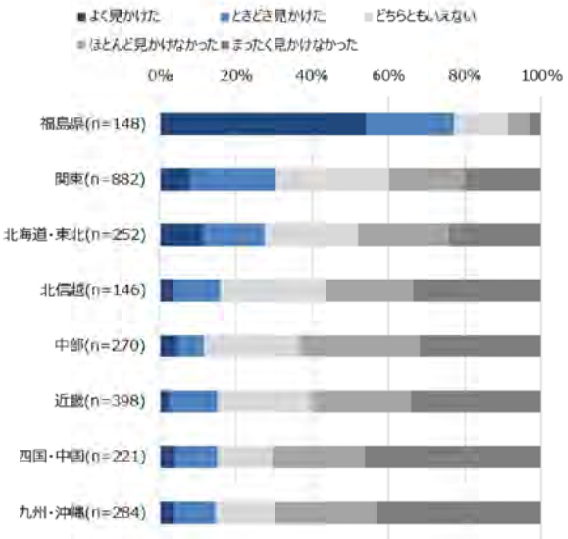


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産りんごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

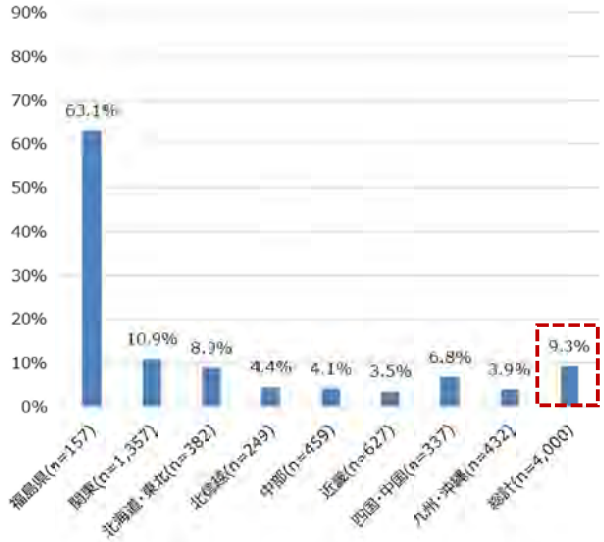
福島県産りんごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、北海道・東北を除く他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.3%であった。

福島県産りんごを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購入経験率



※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

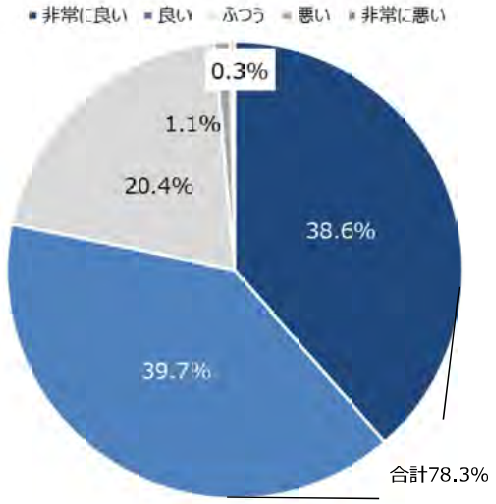
りんご購入時の重視点と福島県産りんごの購入者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らずりんご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産りんごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が78.3%であった。

りんご購入時の重視点（n=3,132、複数回答）

※りんご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上りんごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごの購入者の評価（n=373）

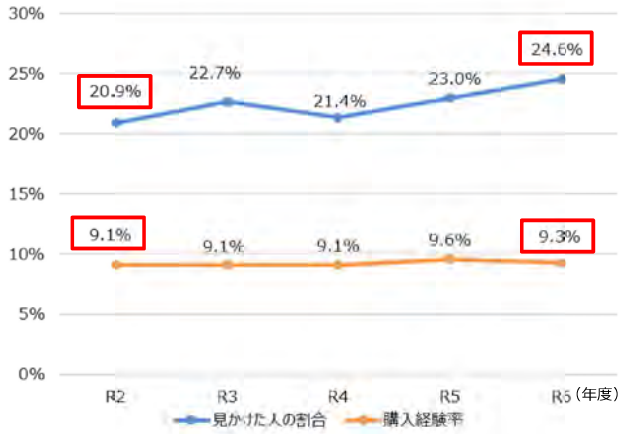


※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

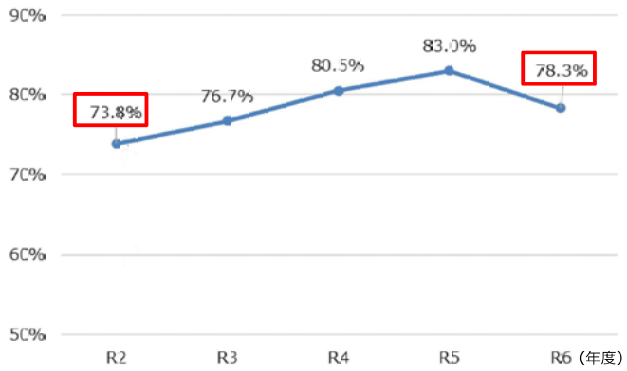
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産りんごを店頭で見かけた人の割合は3.7%ポイント、購入経験率は0.2%ポイント上昇し、福島県産りんごの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.5%ポイント上昇した。

福島県産りんごを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,172、R3:7,774、R4:3,579、R5:2,877、R6:2,601。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000 。

福島県産りんごを高く評価している人の割合

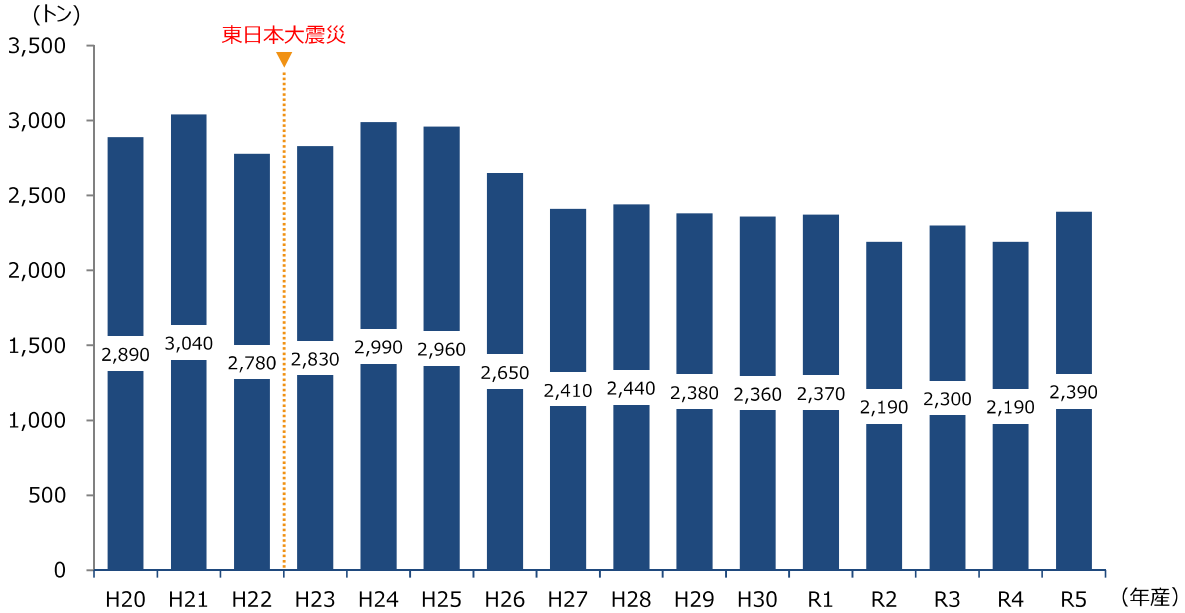


※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:997、R3:1,005、R4:498、R5:383、R6:373。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から減少した後、近年は概ね横ばいで推移している。令和５年産の出荷量は約2,390トンであった。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

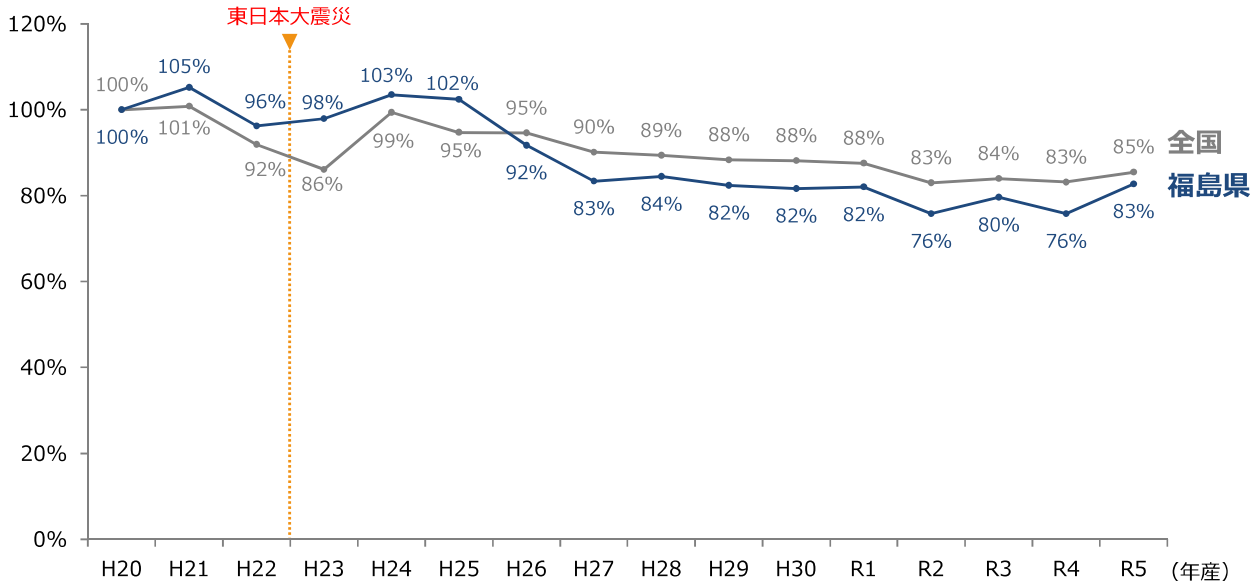


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年産に増加した以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産で大幅に減少した後、横ばいで推移しており、令和５年産は平成20年産の83%となっている。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

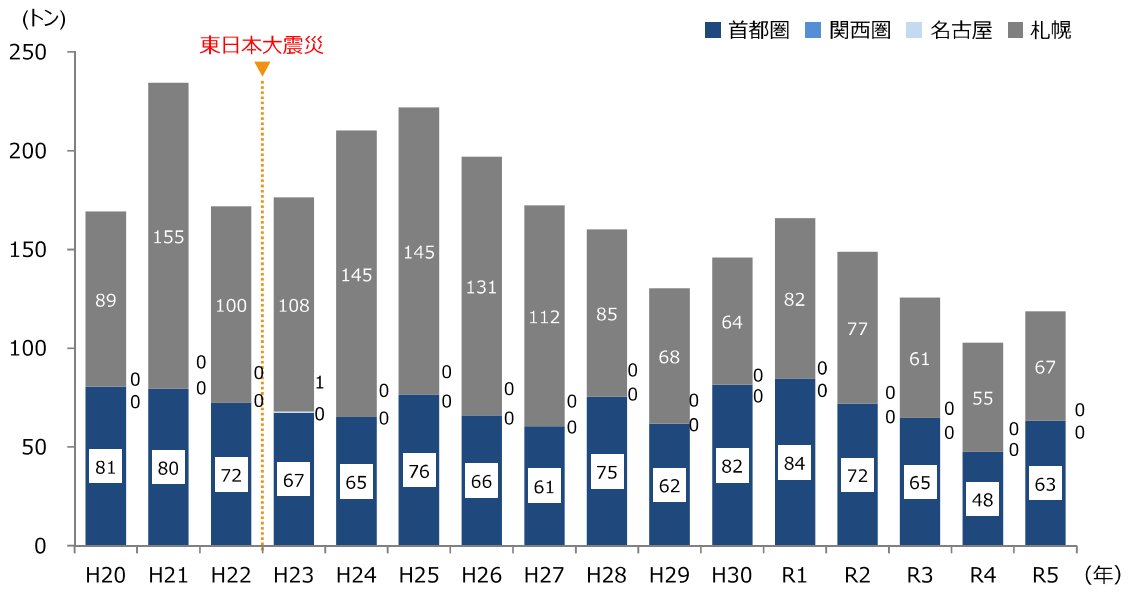


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されているが、平成25年以降は概ね減少傾向である。関西圏、名古屋においては平成23年を除き、取り扱っていない。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産ぶどうの取扱いは、東京都中央卸売市場では年間を通して少量であり、横浜市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	1%	63
山梨	3%	0%	0%	1%	14%	15%	36%	66%	56%	24%	4%	2%	6,197
長野	61%	5%	0%	0%	5%	3%	6%	9%	28%	50%	75%	74%	3,927
山形	2%	0%	0%	0%	0%	4%	36%	18%	5%	4%	3%	4%	1,481
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	4%	7%	4%	9%	18%	6%	2%	1,208
チリ	0%	80%	94%	94%	48%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	534
総量	**113**	**134**	**131**	**158**	**185**	**499**	**1,219**	**3,539**	**4,734**	**2,594**	**666**	**428**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	2%	11%	31%	65%	59%	30%	1%	0%	575
長野	42%	2%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	24%	53%	64%	63%	342
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	39%	22%	2%	0%	0%	0%	124
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	6%	10%	11%	9%	5%	105
他外国	1%	82%	100%	49%	37%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	86
総量	**11**	**9**	**36**	**30**	**47**	**65**	**128**	**307**	**440**	**226**	**94**	**52**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産ぶどうの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	45%	6%	0%	0%	3%	3%	5%	9%	30%	44%	37%	42%	1,998
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	5%	16%	16%	33%	43%	23%	5%	1,989
山梨	0%	0%	0%	0%	6%	10%	37%	53%	29%	5%	0%	0%	1,915
チリ	0%	93%	100%	99%	76%	34%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	924
アメリカ	54%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	3%	7%	39%	36%	567
総量	**74**	**109**	**228**	**221**	**279**	**413**	**665**	**1,565**	**2,378**	**1,610**	**523**	**365**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
チリ	0%	93%	100%	97%	90%	45%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	85
山梨	0%	0%	0%	0%	0%	1%	24%	36%	71%	4%	0%	0%	81
岡山	28%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	10%	13%	78%	6%	0%	60
福岡	0%	0%	0%	0%	4%	38%	29%	28%	5%	0%	0%	0%	54
米国	55%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	3%	17%	73%	72%	29
総量	**2**	**8**	**14**	**23**	**32**	**26**	**51**	**92**	**48**	**51**	**8**	**11**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産ぶどうの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、10月の福島県産ぶどうのシェアは２位、９月・12月は３位であった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	63%	0%	0%	0%	2%	2%	5%	10%	46%	81%	71%	69%	959
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	7%	25%	54%	49%	11%	1%	0%	846
山形	0%	0%	0%	0%	0%	1%	43%	26%	2%	0%	0%	0%	287
チリ	0%	88%	99%	68%	31%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	162
島根	0%	0%	0%	1%	26%	52%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	141
総量	**18**	**28**	**55**	**54**	**95**	**173**	**251**	**622**	**792**	**428**	**124**	**100**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	7%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	4%	8%	13%	11%	22%	67
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	25%	43%	53%	41%	2%	262
チリ	8%	74%	98%	98%	97%	51%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	173
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	8%	20%	41%	33%	9%	0%	0%	171
長野	24%	6%	1%	0%	0%	2%	2%	7%	7%	13%	20%	23%	81
総量	**25**	**23**	**38**	**56**	**45**	**33**	**45**	**142**	**266**	**156**	**67**	**38**	

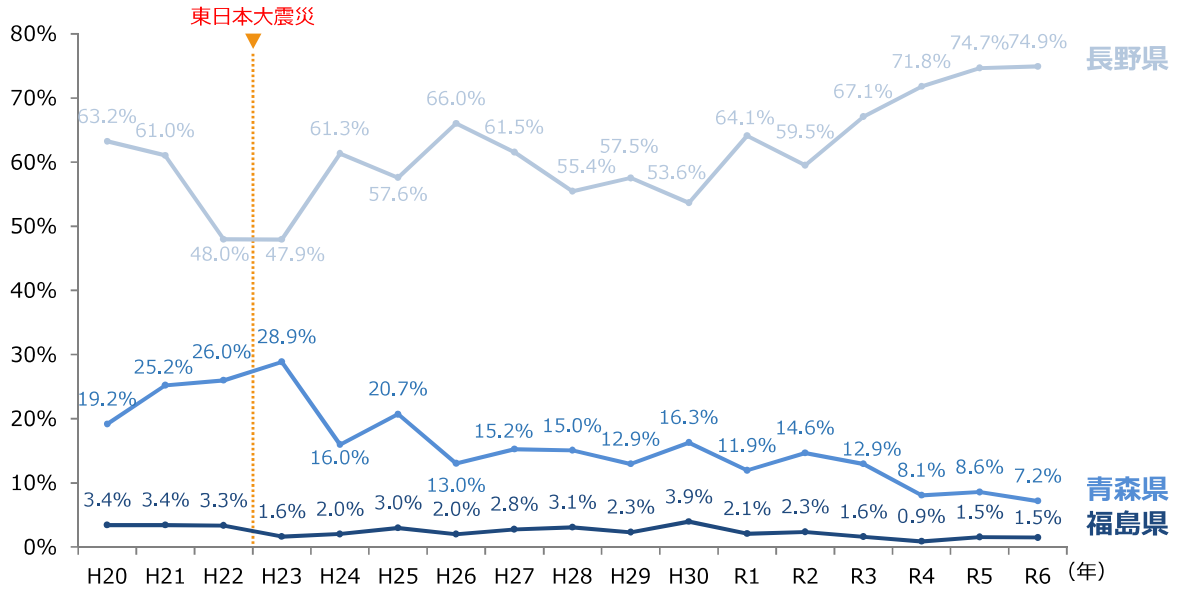
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうのシェアは、震災前は３％程度で推移していたが、震災後に減少し、以降は横ばいで推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)

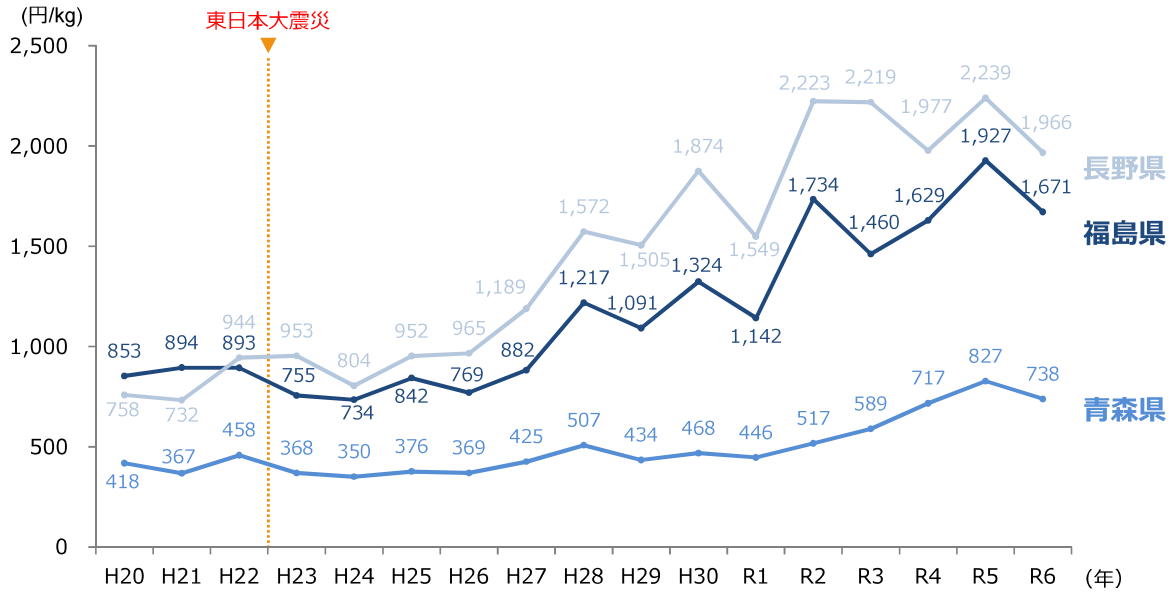


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災直後に微減したが、平成25年から徐々に上がり、平成28年以降は震災前の水準を超えている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)

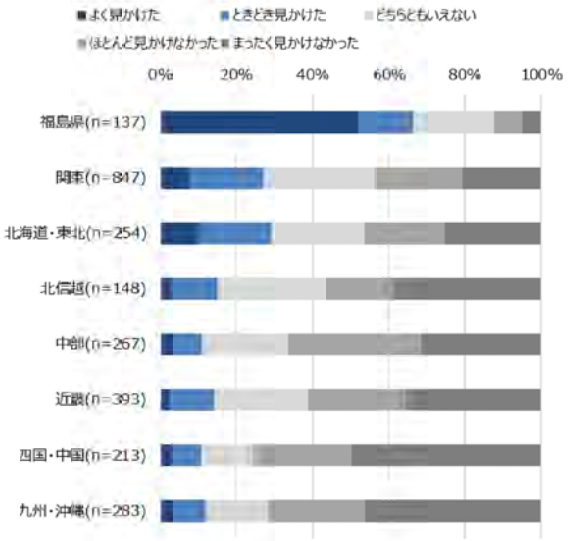


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ぶどうを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

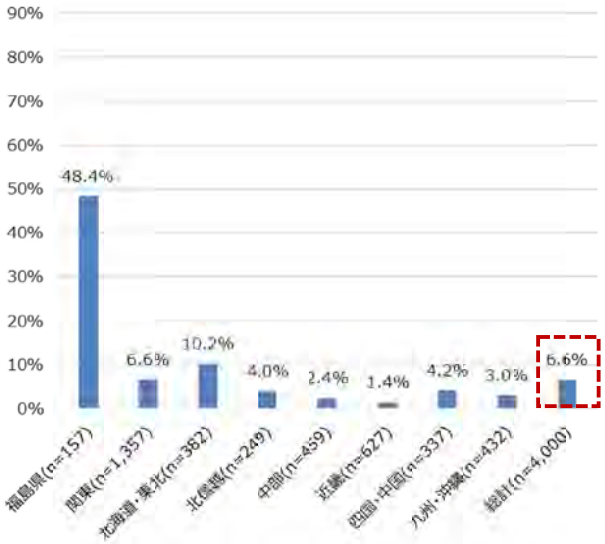
福島県産ぶどうを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.6%であった。

福島県産ぶどうを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購入経験率

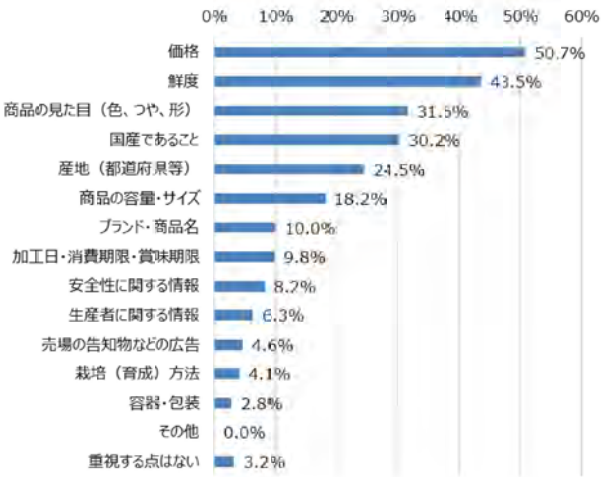


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

ぶどう購入時の重視点と福島県産ぶどうの購入者の評価（消費者アンケート）

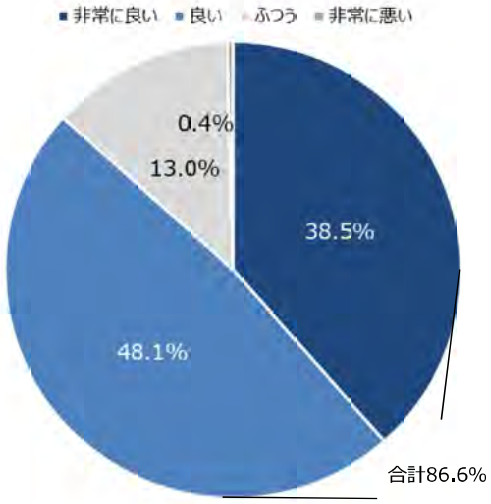
福島県産に限らずぶどう購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ぶどうの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が86.6%であった。

ぶどう購入時の重視点（n=2,368、複数回答）



※ぶどう購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上ぶどうを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうの購入者の評価（n=262）

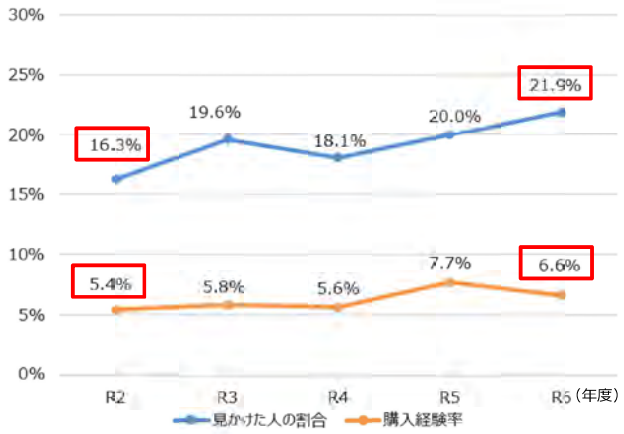


※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産ぶどうを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

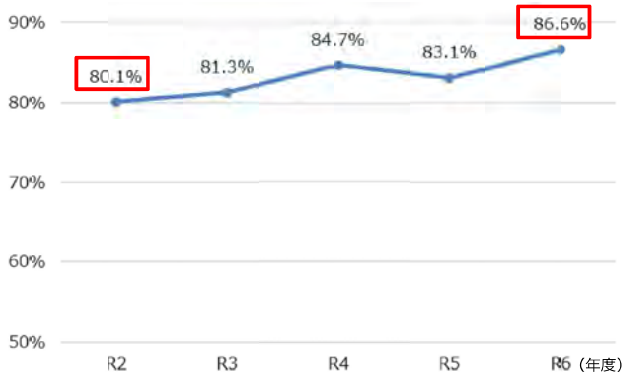
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産ぶどうを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ5.6%ポイント、1.2%ポイント上昇し、福島県産ぶどうの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は6.5%ポイント上昇した。

福島県産ぶどうを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,955、R3:7,551、R4:3,465、R5:2,809、R6:2,542。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000 、R6:4,000。

福島県産ぶどうを高く評価している人の割合

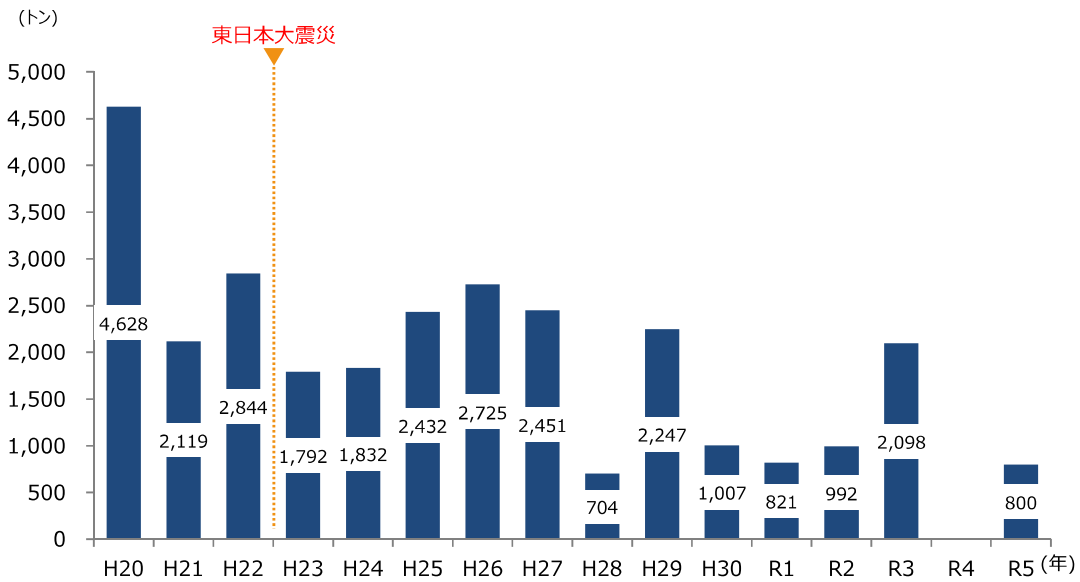


※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:597、R3:633、R4:307、R5:308、R6:262。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に大きく減少した後、平成29年・令和３年に再び2,000トン以上と一時的に回復したが、他の年においては、概ね1,000トン前後を推移している。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移



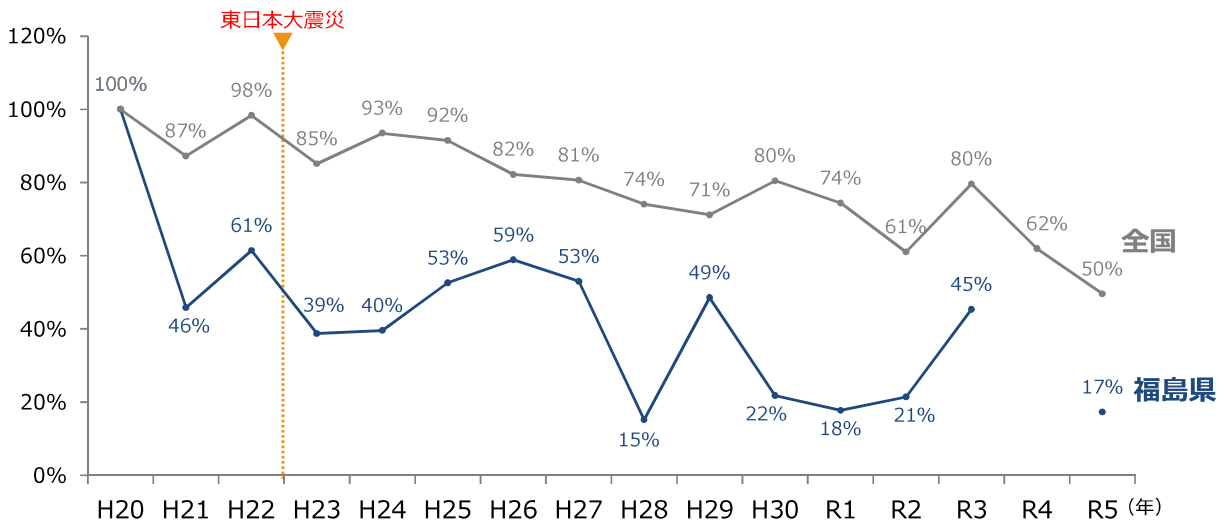
※ 数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
※ H23は震災前の漁獲を含む
※ R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移

全国のカツオの漁獲量は、大きく増加する年もあるものの概ね減少傾向にある。福島県内の漁協に所属する船による漁獲量は、毎年大きく変動し、令和３年は平成21年と同程度となったが、令和５年は平成20年の17%であった

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



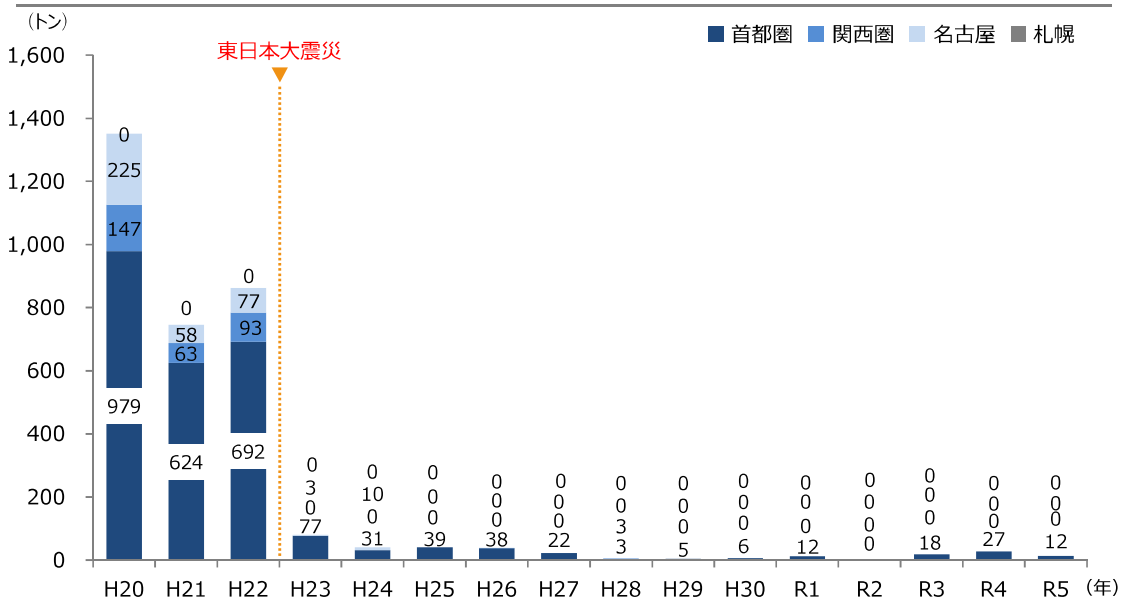
※ H23は震災前の漁獲を含む
※ 福島県のR4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産カツオは、震災前には札幌以外の首都圏、関西圏、名古屋で取り扱われていたが、震災後は出荷が大きく減少し、近年では取扱いがほとんどない。

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産カツオの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	12
宮城	1%	5%	7%	6%	5%	38%	76%	69%	33%	86%	24%	0%	2,843
千葉	2%	19%	3%	36%	28%	23%	14%	6%	6%	1%	11%	0%	1,094
鹿児島	11%	13%	34%	16%	12%	1%	0%	11%	16%	1%	26%	20%	800
宮崎	1%	20%	28%	19%	20%	3%	0%	2%	7%	1%	7%	6%	685
東京	7%	6%	10%	7%	8%	6%	2%	4%	7%	2%	7%	6%	412
総量	**46**	**117**	**622**	**877**	**881**	**922**	**991**	**851**	**817**	**772**	**232**	**114**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	4%	43%	61%	66%	48%	76%	19%	0%	207
千葉	0%	36%	16%	51%	59%	36%	30%	13%	23%	15%	32%	4%	160
鹿児島	19%	51%	67%	35%	21%	1%	0%	8%	16%	3%	27%	69%	81
三重	51%	4%	11%	9%	4%	12%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	22
神奈川	0%	0%	0%	0%	4%	2%	4%	14%	5%	1%	8%	3%	21
総量	**1**	**8**	**30**	**57**	**59**	**68**	**89**	**66**	**56**	**63**	**16**	**4**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産カツオの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	2%	3%	22%	20%	30%	57%	47%	17%	15%	6%	6%	17%	451
鹿児島	24%	36%	38%	39%	29%	5%	10%	11%	16%	7%	29%	25%	336
宮城	0%	0%	0%	0%	1%	5%	16%	40%	30%	66%	15%	0%	300
和歌山	9%	8%	9%	15%	22%	22%	12%	3%	3%	1%	0%	0%	186
千葉	0%	3%	1%	6%	5%	6%	11%	20%	16%	5%	8%	0%	147
総量	**22**	**40**	**141**	**177**	**224**	**228**	**222**	**213**	**183**	**150**	**84**	**41**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	0%	0%	8%	6%	45%	48%	77%	18%	1%	5%	2%	0%	70
静岡	55%	68%	18%	13%	8%	7%	3%	36%	24%	35%	17%	3%	53
高知	0%	0%	29%	39%	6%	27%	8%	16%	16%	4%	4%	3%	43
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	9%	21%	43%	10%	0%	33
長崎	29%	17%	0%	4%	0%	1%	3%	0%	22%	5%	43%	44%	26
総量	**3**	**3**	**16**	**18**	**34**	**54**	**24**	**26**	**38**	**43**	**18**	**9**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産カツオの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	7%	2%	18%	20%	26%	39%	30%	12%	17%	8%	7%	15%	372
宮城	0%	0%	0%	0%	1%	3%	29%	53%	22%	62%	8%	0%	354
鹿児島	42%	39%	38%	21%	14%	6%	3%	13%	15%	6%	22%	54%	258
和歌山	36%	10%	10%	13%	22%	31%	19%	5%	6%	3%	0%	2%	243
宮崎	0%	42%	28%	14%	24%	3%	3%	3%	16%	9%	22%	5%	223
総量	**8**	**26**	**146**	**195**	**244**	**233**	**235**	**204**	**196**	**194**	**63**	**19**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	5%	37%	66%	66%	24%	48%	4%	0%	23
東京	0%	54%	55%	49%	26%	38%	24%	21%	39%	33%	45%	48%	23
宮崎	0%	13%	28%	41%	35%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
千葉	66%	19%	4%	3%	31%	14%	1%	2%	1%	3%	6%	12%	5
北海道	0%	0%	1%	2%	0%	2%	0%	1%	31%	4%	2%	0%	4
総量	**0**	**1**	**4**	**5**	**7**	**9**	**13**	**7**	**10**	**6**	**1**	**2**	

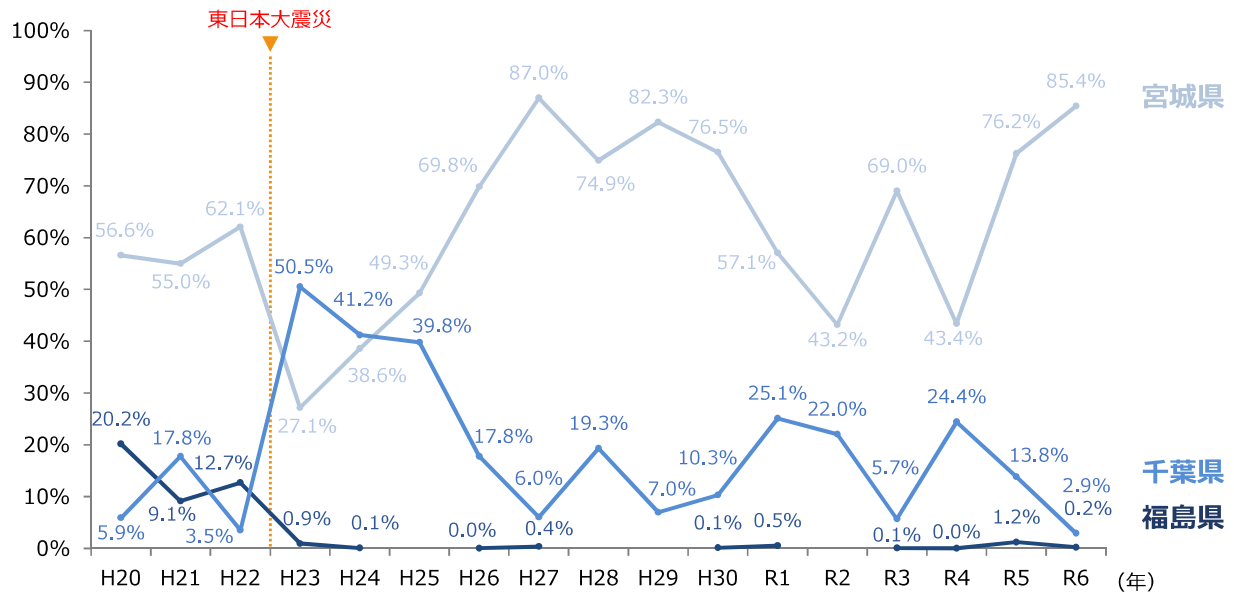
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産カツオのシェアの推移

東京都中央卸売市場における７月の福島県産カツオのシェアは、震災以降は１％程度の低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)

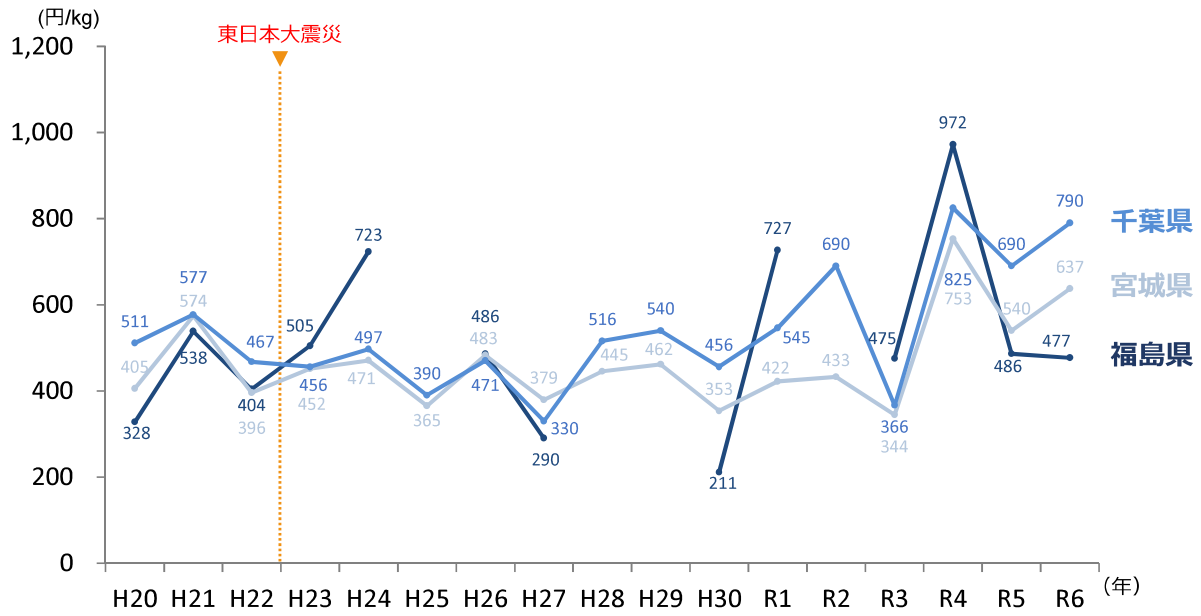


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産カツオの単価の推移

東京都中央卸売市場の７月の福島県産カツオの平均単価は、震災直後に大幅に上昇したが、その後上昇と下落を繰り返し、令和５・６年は千葉県産・宮城県産を下回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(７月)

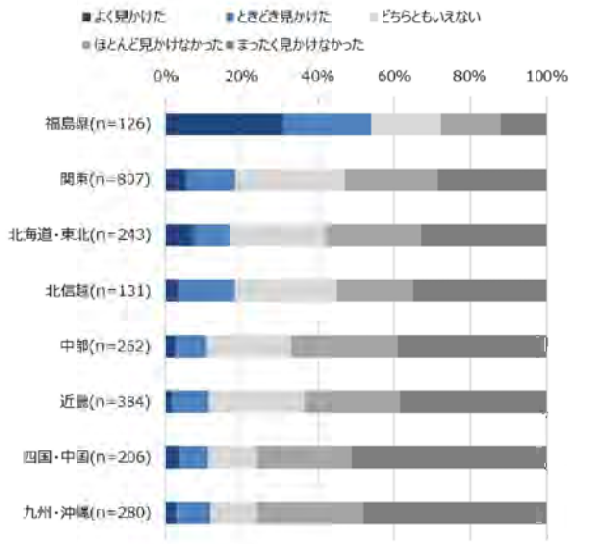


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産カツオを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

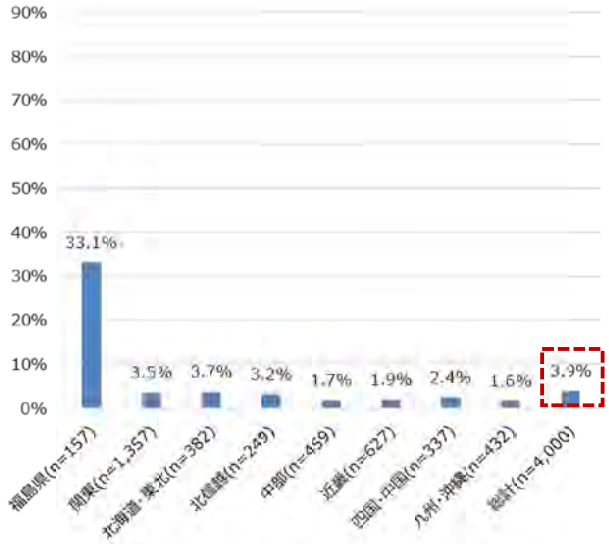
福島県産カツオを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カツオを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.9%であった。

福島県産カツオを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カツオの購入経験率

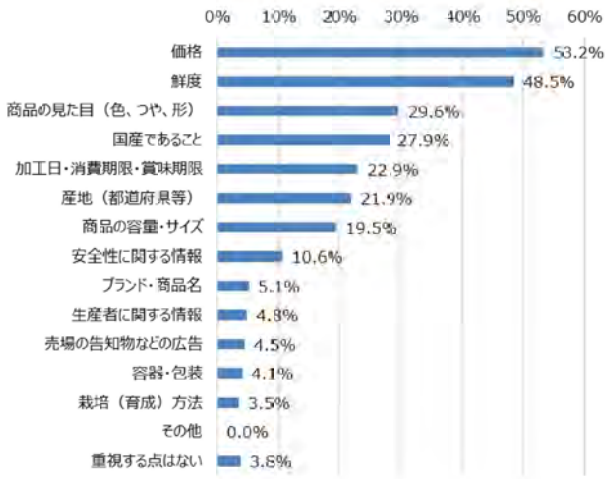


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

カツオ購入時の重視点と福島県産カツオの購入者の評価（消費者アンケート）

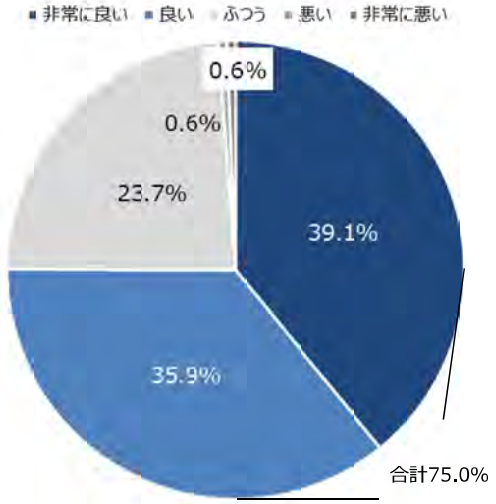
福島県産に限らずカツオ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目（色、つや、形）」があがった。福島県産カツオの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.0%であった。

カツオ購入時の重視点（n=2,210、複数回答）



※カツオ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上カツオを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオの購入者の評価（n=156）

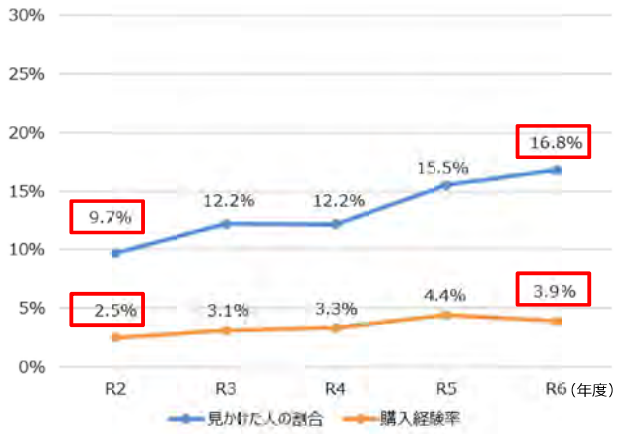


※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

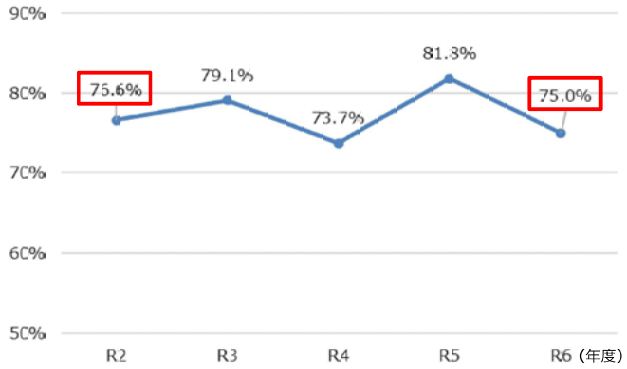
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産カツオを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ7.1%ポイント、1.4%ポイント上昇し、福島県産カツオの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.6%ポイント低下した。

福島県産カツオを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,601、R3:7,095、R4:3,261、R5:2,679、R6:2,439。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産カツオを高く評価している人の割合

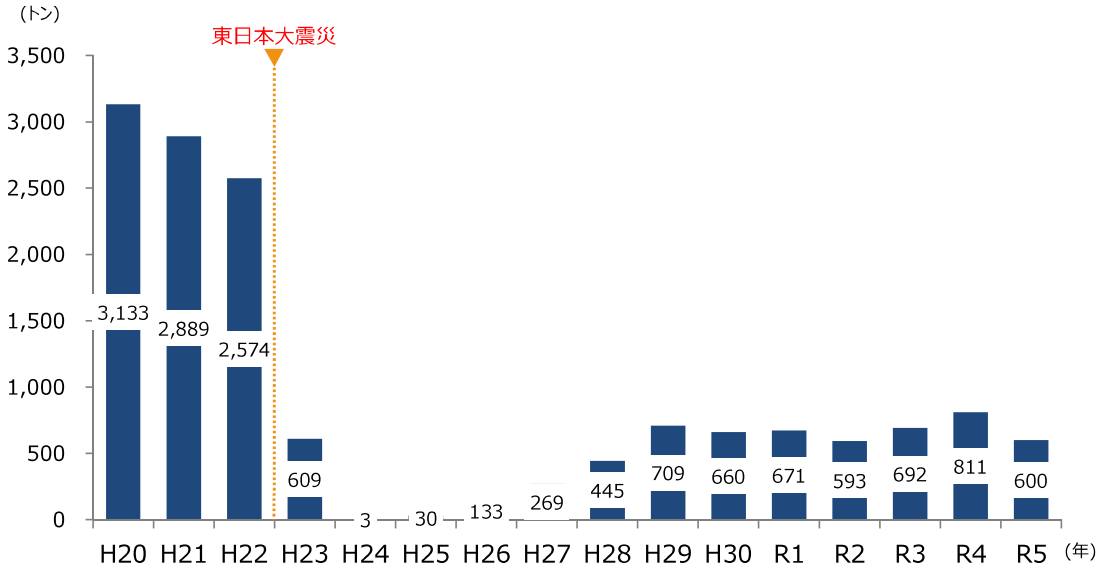


※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:278、R3:345、R4:182、R5:175、R6:156。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

福島県におけるカレイ類の漁獲量は、震災後の平成23年・平成24年に出荷制限等により大幅に減少した。平成25年以降は回復傾向にあり、令和４年には約800トンにまで増加したものの令和５年は約600トンとなった。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

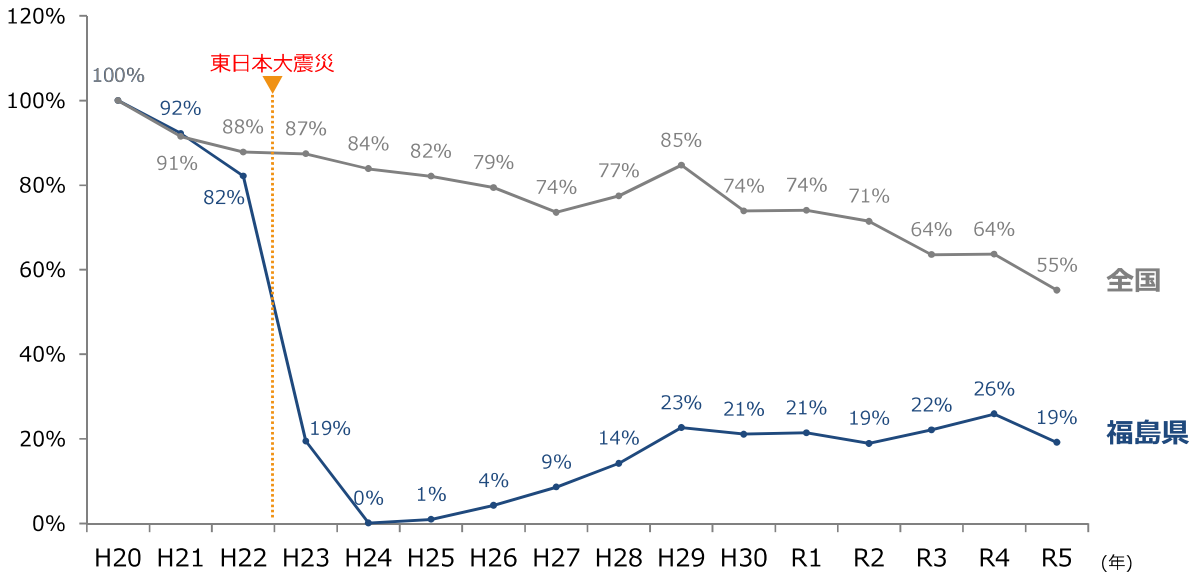


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」　※ H23は震災前の漁獲を含む

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

カレイ類の漁獲量は、全国的には平成28年と平成29年を除き減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降緩やかな回復傾向で推移していたが、平成30年以降ほぼ横ばいで推移している。

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）

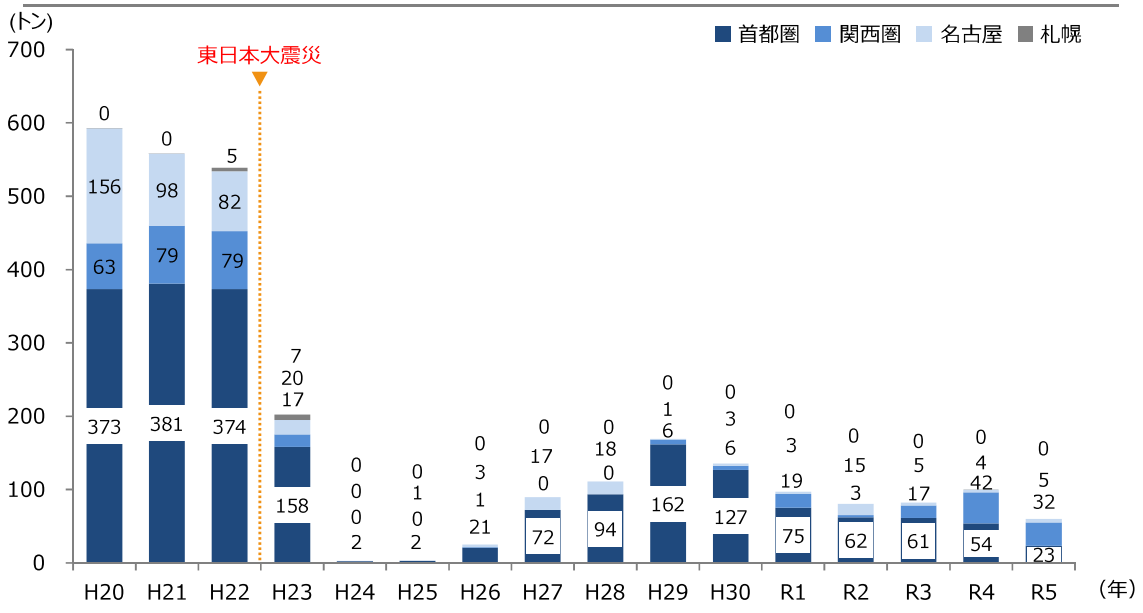


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」　※ H23は震災前の漁獲を含む

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取り扱われていたが、震災後は首都圏以外での取扱いが僅かとなっている。令和５年は特に首都圏での取扱量が減少した。

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ　　※ H23は震災前の出荷を含む

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産カレイ類の取扱いは、東京都中央卸売市場・横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して少量であった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	18
北海道	70%	62%	67%	76%	78%	71%	55%	41%	74%	83%	84%	85%	2,627
宮城	5%	9%	12%	6%	4%	6%	9%	7%	4%	5%	3%	3%	233
東京	5%	5%	7%	7%	7%	6%	6%	6%	5%	4%	6%	3%	208
青森	3%	9%	6%	4%	2%	3%	11%	13%	3%	2%	1%	2%	171
千葉	2%	2%	3%	3%	5%	7%	13%	13%	4%	2%	3%	3%	156
総量	**289**	**370**	**540**	**425**	**366**	**306**	**212**	**147**	**229**	**191**	**267**	**323**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	3%	2%	1%	1%	0%	0%	2%	2%	1%	1%	5
北海道	68%	39%	56%	70%	71%	65%	51%	46%	58%	73%	82%	84%	223
宮城	8%	19%	14%	15%	8%	10%	7%	17%	12%	14%	9%	6%	40
青森	8%	17%	9%	7%	8%	8%	17%	14%	7%	1%	1%	1%	27
岩手	7%	11%	14%	4%	10%	8%	5%	1%	1%	0%	0%	4%	24
神奈川	2%	0%	0%	0%	1%	2%	9%	14%	7%	4%	2%	1%	7
総量	**28**	**33**	**51**	**45**	**42**	**31**	**16**	**10**	**17**	**16**	**27**	**30**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産カレイ類の取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通して少量であった。京都市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	1%	2%	3%	1%	1%	2%	0%	1%	4%	4%	4%	32
鳥取	49%	49%	41%	41%	44%	6%	0%	0%	7%	12%	8%	5%	435
兵庫	18%	18%	20%	27%	14%	3%	2%	1%	61%	41%	40%	39%	347
北海道	6%	4%	1%	2%	5%	74%	80%	86%	10%	12%	14%	15%	266
福井	11%	11%	21%	14%	16%	0%	1%	0%	13%	14%	20%	21%	197
宮城	3%	3%	2%	2%	9%	6%	4%	1%	3%	6%	5%	5%	55
総量	**139**	**190**	**268**	**176**	**134**	**108**	**78**	**58**	**124**	**66**	**82**	**73**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
石川	14%	36%	39%	27%	25%	32%	19%	12%	21%	11%	13%	18%	73
兵庫	8%	8%	15%	22%	20%	3%	5%	2%	31%	21%	17%	11%	40
鳥取	29%	2%	2%	15%	26%	2%	3%	5%	8%	39%	18%	3%	37
宮城	14%	11%	6%	9%	7%	6%	10%	3%	13%	9%	13%	27%	27
北海道	5%	1%	0%	3%	3%	17%	56%	68%	7%	4%	13%	18%	26
総量	**29**	**39**	**51**	**33**	**30**	**20**	**13**	**9**	**13**	**23**	**13**	**12**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和５年産・その他)

福島県産カレイ類の取扱いは、名古屋市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	5
北海道	59%	40%	43%	50%	59%	61%	49%	49%	43%	59%	76%	61%	834
東京	3%	6%	4%	14%	16%	23%	28%	1%	0%	3%	5%	15%	153
福井	4%	17%	24%	9%	5%	1%	0%	0%	3%	0%	1%	1%	112
三重	6%	1%	0%	0%	0%	1%	6%	37%	18%	15%	7%	0%	81
石川	5%	12%	11%	10%	6%	2%	0%	0%	2%	0%	1%	1%	81
総量	**93**	**150**	**221**	**164**	**169**	**138**	**82**	**66**	**92**	**97**	**166**	**106**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	2,870
青森	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
東京	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**161**	**190**	**362**	**365**	**287**	**283**	**237**	**144**	**146**	**140**	**290**	**267**	

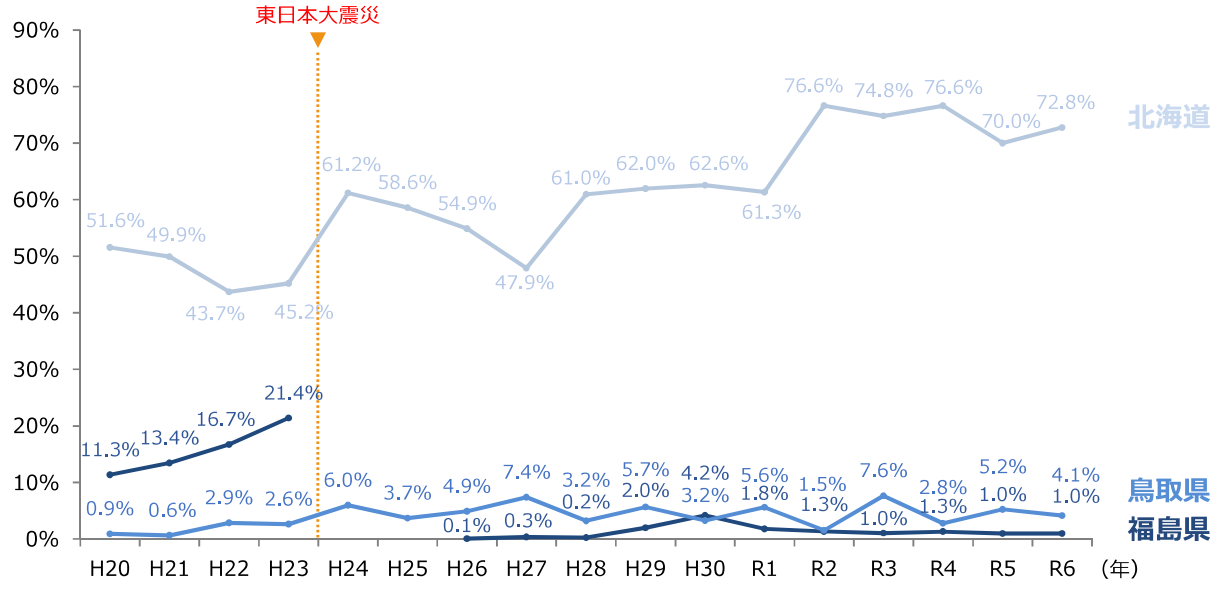
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場における１月の福島県産カレイ類のシェアは、震災前は20%程度を占めていたが、現在は１%程度である。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(１月)



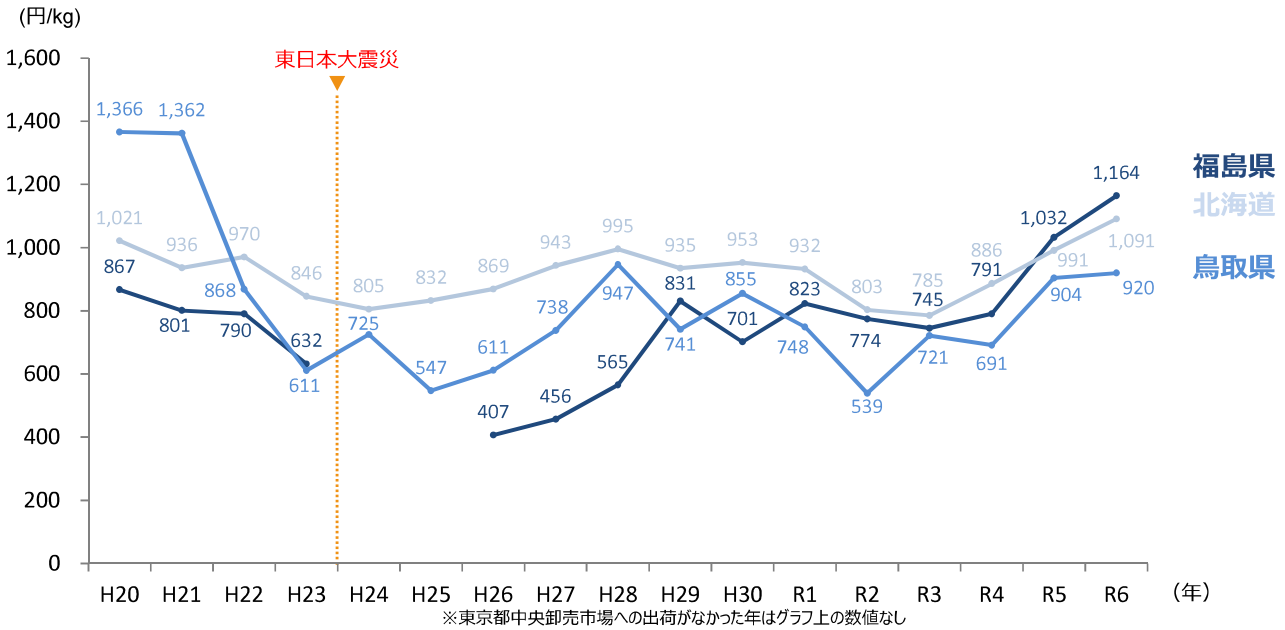
※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H24年、H25年には1月の市場での取扱いはなかった。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場における１月の福島県産カレイ類の平均単価は、震災後は北海道産・鳥取県産よりも低い水準で推移していたが、徐々に上昇傾向にあり、令和５年・６年は北海道産・鳥取県産を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(１月)



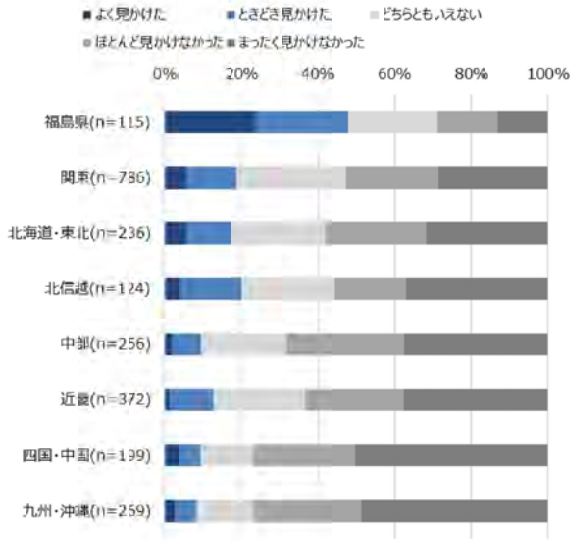
※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H24年、H25年には1月の市場での取扱いはなかった。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産カレイ類を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

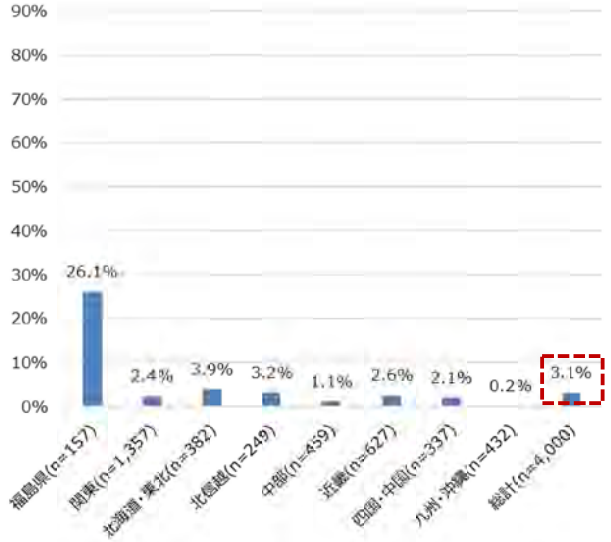
福島県産カレイ類を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カレイ類を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.1%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購入経験率

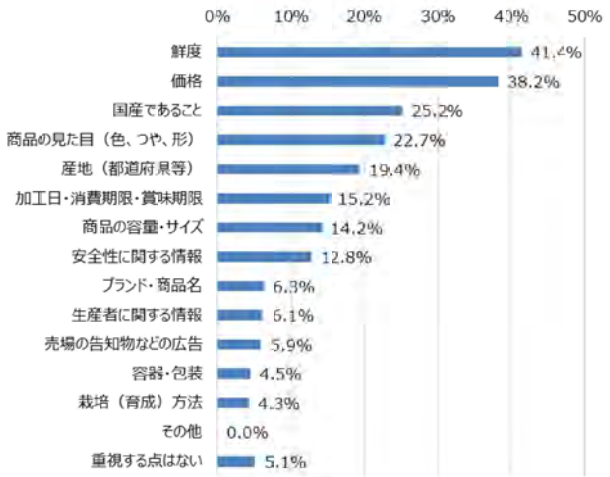


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

カレイ類購入時の重視点と福島県産カレイ類の購入者の評価（消費者アンケート）

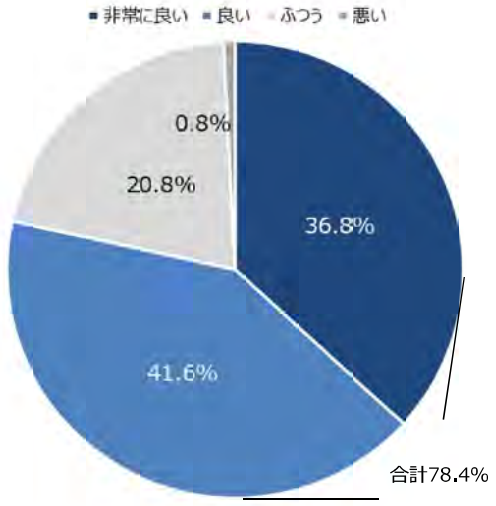
福島県産に限らずカレイ類購入時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産カレイ類の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が78.4%であった。

カレイ類購入時の重視点（n=1,145、複数回答）



※カレイ類購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上カレイ類を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類の購入者の評価（n=125）

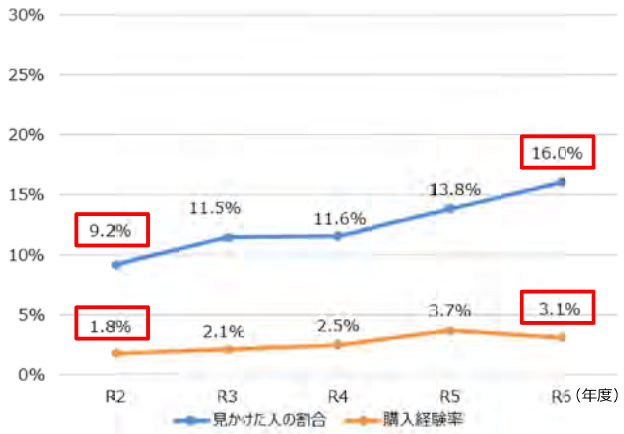


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産カレイ類を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

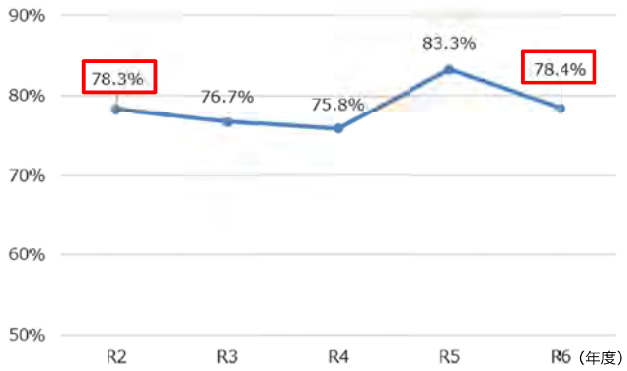
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産カレイ類を店頭で見かけた人の割合、購入経験率は、それぞれ6.8%ポイント、1.3%ポイント上昇し、福島県産カレイ類の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は0.1%ポイント上昇した。

福島県産カレイ類を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,300、R3:6,809、R4:3,105、R5:2,606、R6:2,357。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産カレイ類を高く評価している人の割合

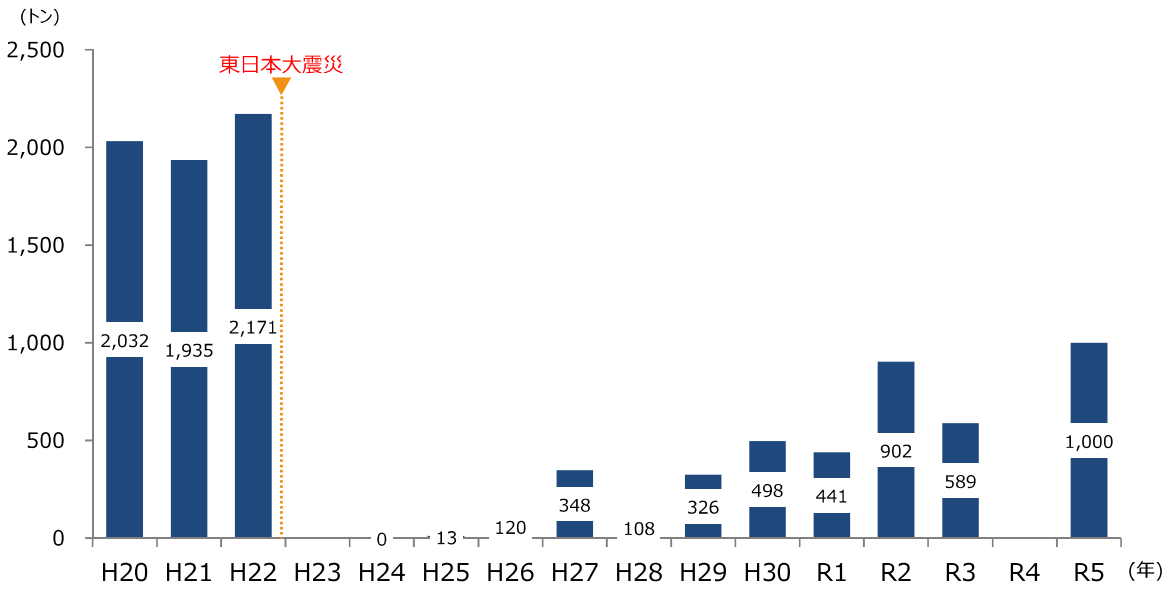


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:199、R3:236、R4:136、R5:149、R6:125。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移

福島県のシラスの漁獲量は、近年徐々に回復している。ただし、震災後で最も水揚量が多かった令和５年でも、震災前の半分以下の水準である。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移



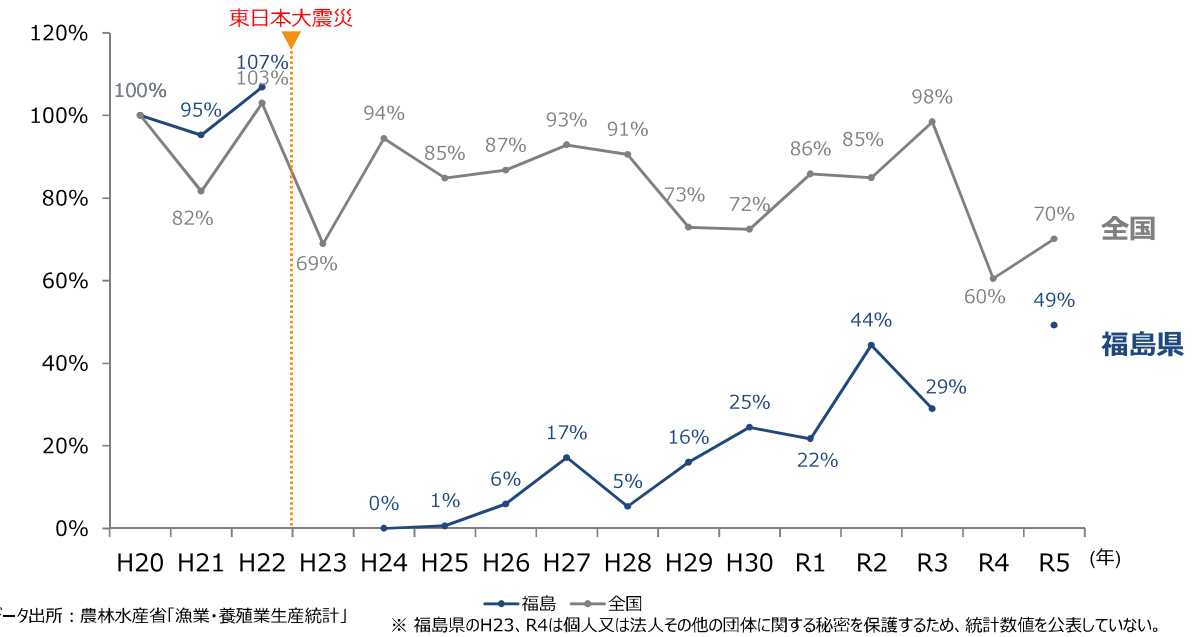
※ H23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移

全国のシラスの漁獲量は、年によって変動が大きいが、令和３年は震災前の平成20年・平成22年と同程度となっている。福島県産シラスの漁獲量は、震災後最も多い令和５年でも平成20年の49%と、震災前の半分以下となっている。

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



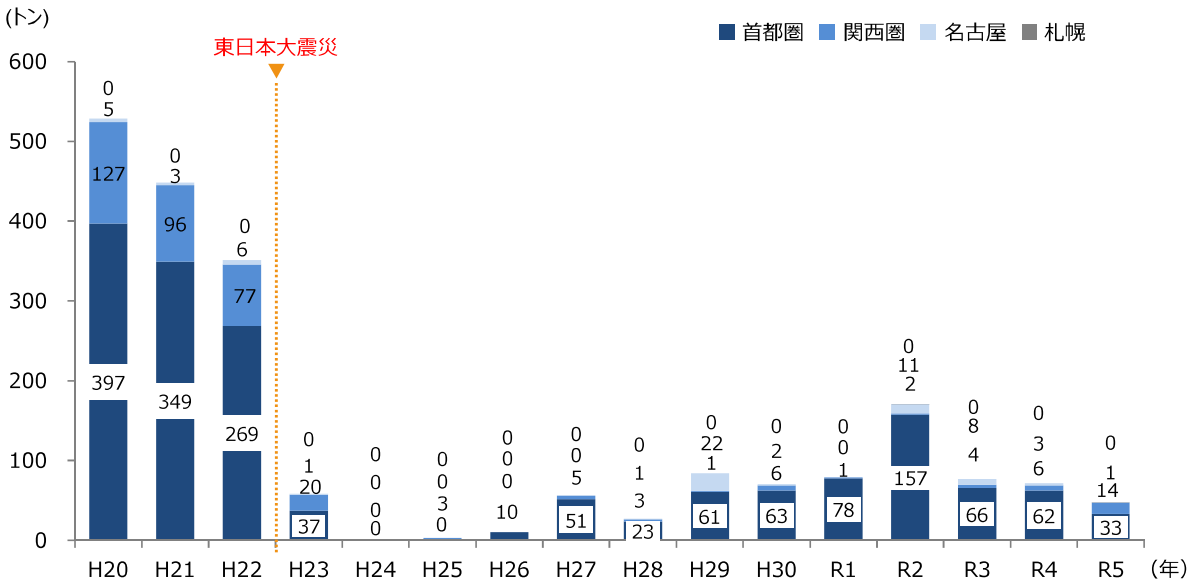
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ 福島県のH23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産シラスは、震災前後を通じて、首都圏を中心に取り扱われている。関西圏でも震災前には一定量取り扱われていたが、震災後出荷が再開されてからはほとんど見られなくなった。

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

※ H23は震災前の出荷を含む

※シラスは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和５年産・首都圏)

福島県産シラスの取扱いは、東京都中央卸売市場では年間を通じて少量であった。横浜市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	1%	0%	0%	33
兵庫	25%	15%	5%	3%	7%	46%	36%	29%	37%	48%	41%	29%	1,861
和歌山	16%	24%	28%	19%	22%	8%	9%	10%	11%	9%	7%	9%	763
東京	6%	12%	14%	8%	5%	4%	7%	8%	9%	7%	7%	9%	461
徳島	2%	6%	1%	1%	4%	8%	7%	9%	10%	9%	12%	10%	443
愛知	11%	5%	5%	11%	8%	4%	5%	4%	6%	4%	13%	9%	414
総量	**317**	**367**	**370**	**348**	**359**	**883**	**553**	**401**	**483**	**663**	**735**	**558**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
茨城	36%	11%	18%	15%	19%	20%	19%	29%	21%	11%	22%	0%	31
静岡	12%	14%	8%	40%	22%	17%	16%	15%	12%	12%	8%	19%	29
大阪	11%	8%	10%	7%	4%	9%	18%	8%	14%	19%	26%	28%	24
和歌山	1%	13%	15%	16%	9%	6%	4%	6%	5%	6%	16%	3%	15
福岡	18%	33%	22%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	17%	1%	1%	13
総量	**12**	**12**	**15**	**16**	**16**	**19**	**14**	**14**	**12**	**14**	**15**	**16**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるシラスの産地リレー(令和５年産・関西圏)

福島県産シラスの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	1%	0%	0%	7
兵庫	36%	31%	17%	10%	23%	74%	43%	48%	73%	73%	58%	49%	727
徳島	3%	9%	3%	1%	9%	8%	16%	20%	12%	8%	11%	5%	128
熊本	1%	0%	5%	31%	4%	0%	0%	0%	0%	1%	10%	12%	69
愛知	5%	1%	2%	9%	8%	2%	3%	3%	2%	1%	8%	4%	48
宮崎	1%	2%	12%	5%	4%	1%	6%	1%	0%	3%	3%	4%	46
総量	**62**	**64**	**78**	**97**	**57**	**233**	**126**	**89**	**144**	**164**	**169**	**109**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	2%	3%	2%	5%	2%	7
徳島	12%	4%	14%	6%	10%	41%	24%	37%	21%	3%	6%	23%	92
大阪	14%	15%	17%	22%	29%	11%	17%	10%	9%	23%	3%	12%	65
和歌山	24%	25%	7%	34%	17%	6%	13%	15%	10%	19%	10%	7%	64
兵庫	13%	2%	1%	1%	3%	20%	9%	19%	36%	10%	4%	26%	63
愛媛	9%	16%	15%	1%	8%	3%	10%	1%	8%	8%	6%	3%	31
総量	**28**	**31**	**33**	**34**	**33**	**87**	**34**	**39**	**52**	**27**	**23**	**27**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるシラスの産地リレー(令和5年産・その他)

福島県産シラスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
愛知	87%	88%	91%	91%	86%	54%	61%	71%	61%	51%	68%	84%	1,063
兵庫	4%	3%	2%	0%	6%	36%	25%	20%	26%	34%	20%	8%	279
徳島	0%	1%	1%	0%	2%	6%	2%	6%	4%	5%	2%	1%	43
東京	0%	0%	0%	2%	0%	0%	8%	0%	4%	2%	0%	0%	24
三重	3%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	0%	1%	2%	3%	6%	21
総量	**73**	**77**	**105**	**121**	**96**	**239**	**153**	**101**	**126**	**119**	**203**	**88**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
東京	59%	70%	49%	44%	41%	71%	87%	74%	70%	83%	85%	68%	88
北海道	33%	22%	38%	36%	35%	19%	6%	16%	17%	11%	9%	19%	21
香川	4%	5%	8%	13%	13%	6%	5%	5%	8%	2%	4%	7%	7
福岡	4%	2%	4%	6%	7%	3%	1%	4%	2%	3%	2%	4%	4
兵庫	1%	0%	1%	1%	3%	1%	0%	1%	1%	1%	1%	2%	1
総量	**6**	**11**	**6**	**6**	**5**	**10**	**23**	**10**	**12**	**12**	**15**	**6**	

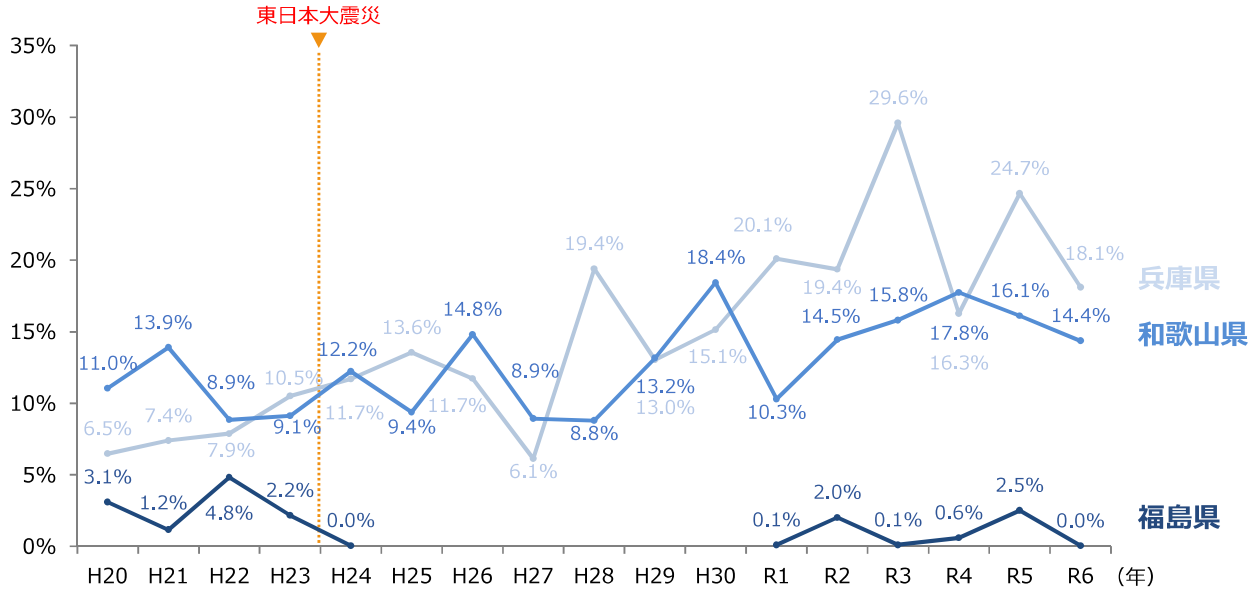
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産シラスのシェアの推移

東京都中央卸売市場における１月の福島県産シラスは、震災後に一度取扱いがなくなった。令和元年以降に再び取扱いが開始されたものの、令和６年における福島県産シラスのシェアは、ほぼ０％となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(１月)

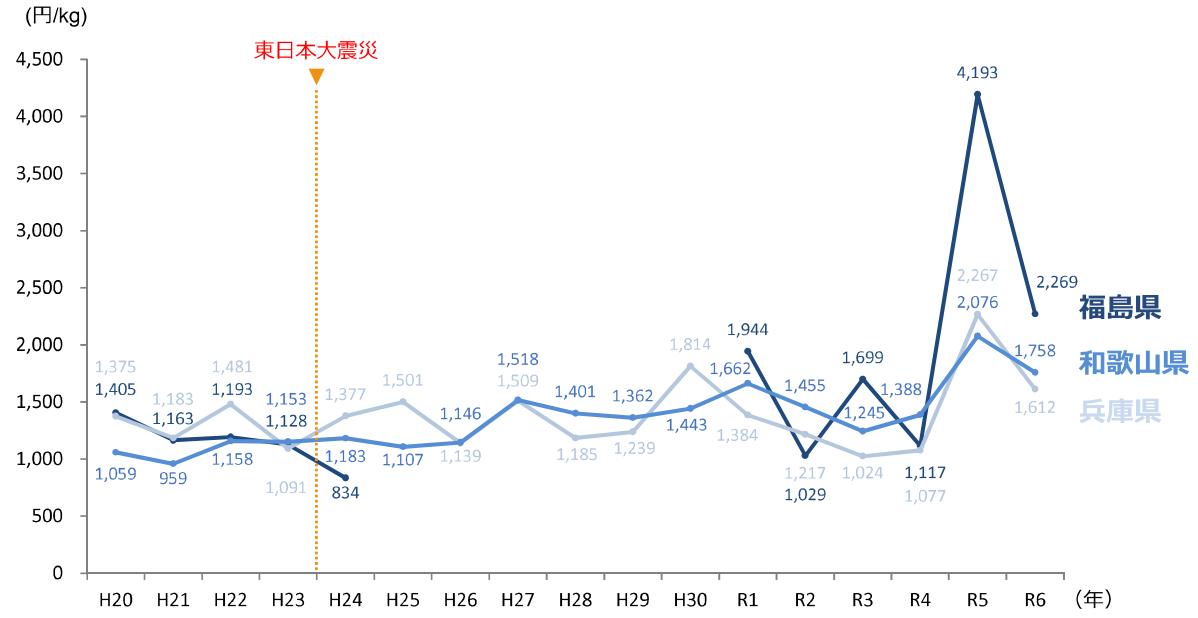


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産シラスの単価の推移

東京都中央卸売市場における１月の福島県産シラスの平均単価は、震災前より高い価格で推移しているが、乱高下しており、令和５年は4,193円/kgと兵庫県産・和歌山県産の価格よりも大幅に上昇した。ただし、令和６年は2,269円/kgまで低下している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(１月)

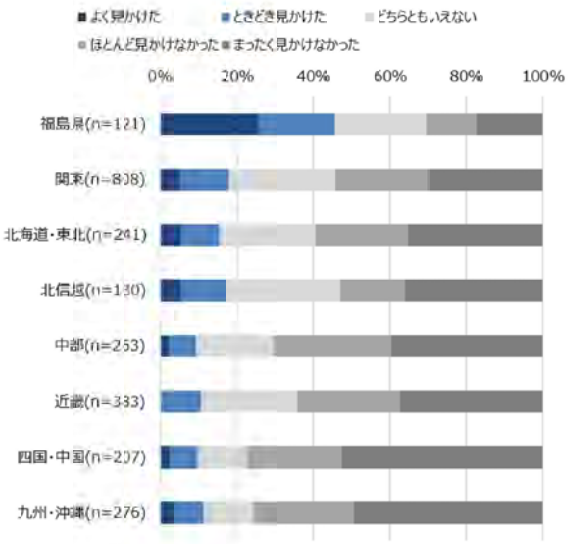


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産シラスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

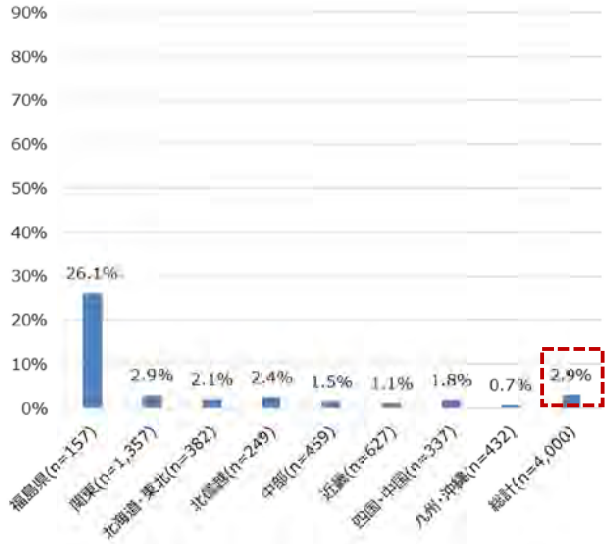
福島県産シラスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産シラスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.9%であった。

福島県産シラスを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産シラスの購入経験率

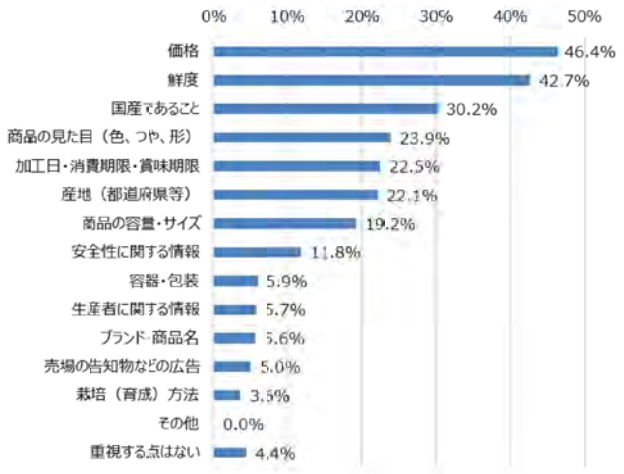


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

シラス購入時の重視点と福島県産シラスの購入者の評価（消費者アンケート）

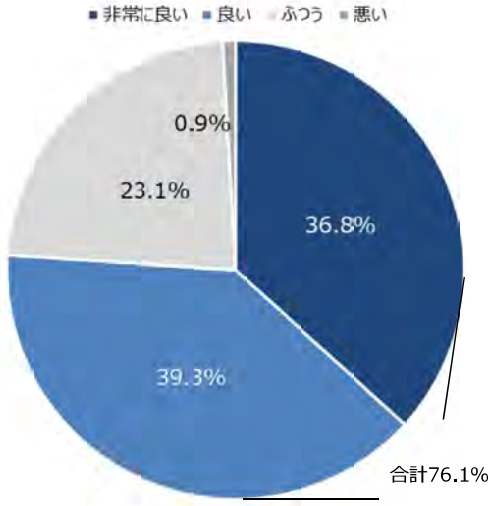
福島県産に限らずシラス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産シラスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.1%であった。

シラス購入時の重視点（n=1,926、複数回答）



※シラス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上シラスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産シラスの購入者の評価（n=117）

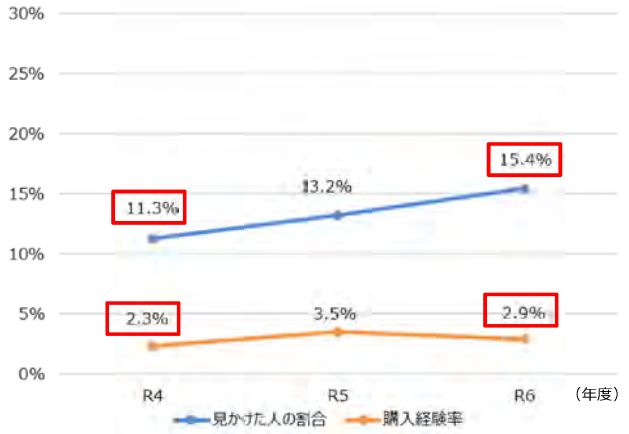


※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産シラスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

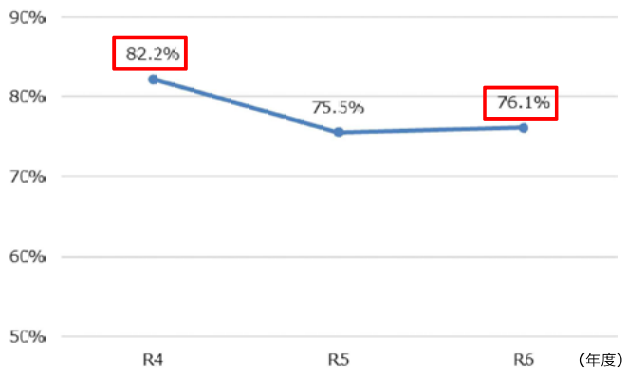
令和４年度と令和６年度を比較すると、福島県産シラスを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.1%ポイント、0.6%ポイント上昇し、福島県産シラスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は6.1%ポイント低下した。

福島県産シラスを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR4:3,233、R5:2,665、R6:2,429。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR4:5,500、R5:4,000、R6:4,000 。

福島県産シラスを高く評価している人の割合

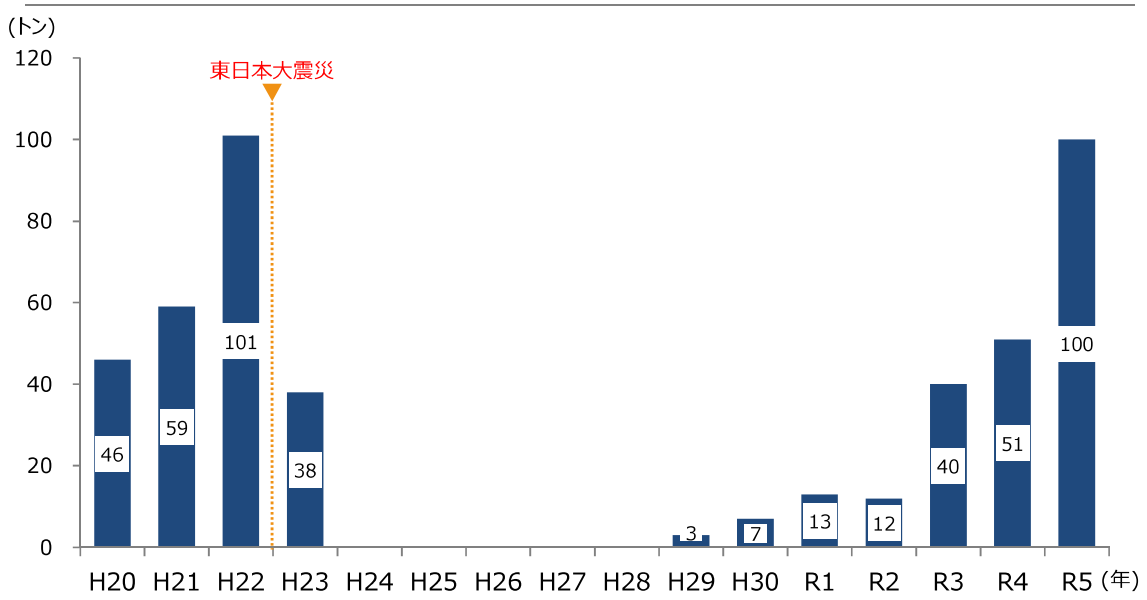


※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR4:129、R5:139、R6:117。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

福島県のフグ類の漁獲量は、平成24年～28年はなかったが、平成29年以降徐々に増加し、令和５年には震災前の平成22年と同程度の水準となった。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移



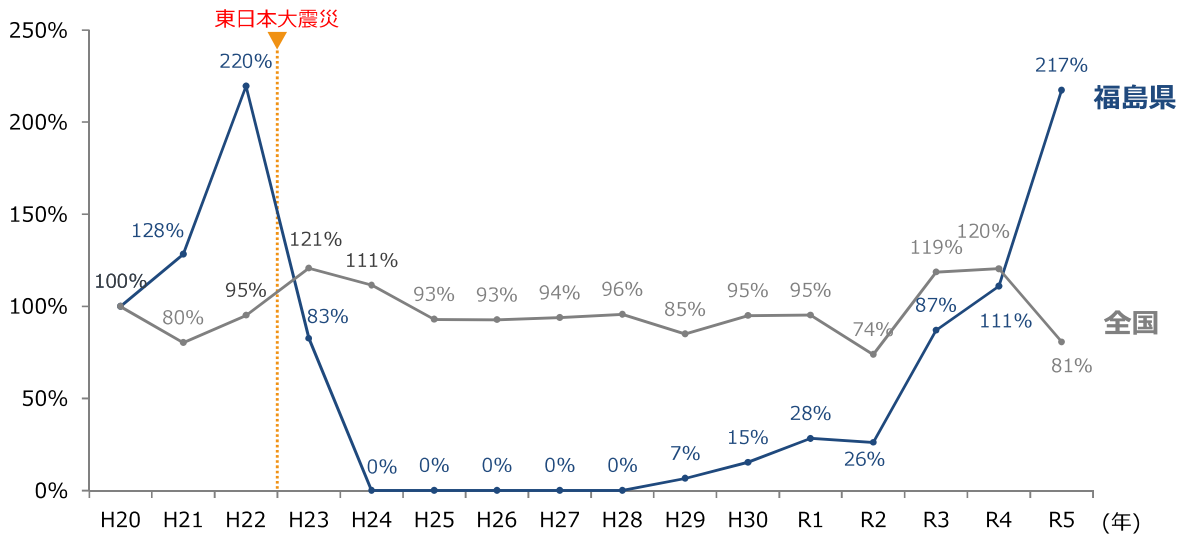
※ H23は震災前の漁獲を含む
※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国と福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

フグ類の漁獲量は、全国では令和３年・令和４年が平成20年の約120%まで増加していたが、令和５年は約80%と減少。福島県においては平成29年から増加傾向にあり、令和５年は震災以前の平成22年と同水準にまで回復している。

全国・福島県におけるフグ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）

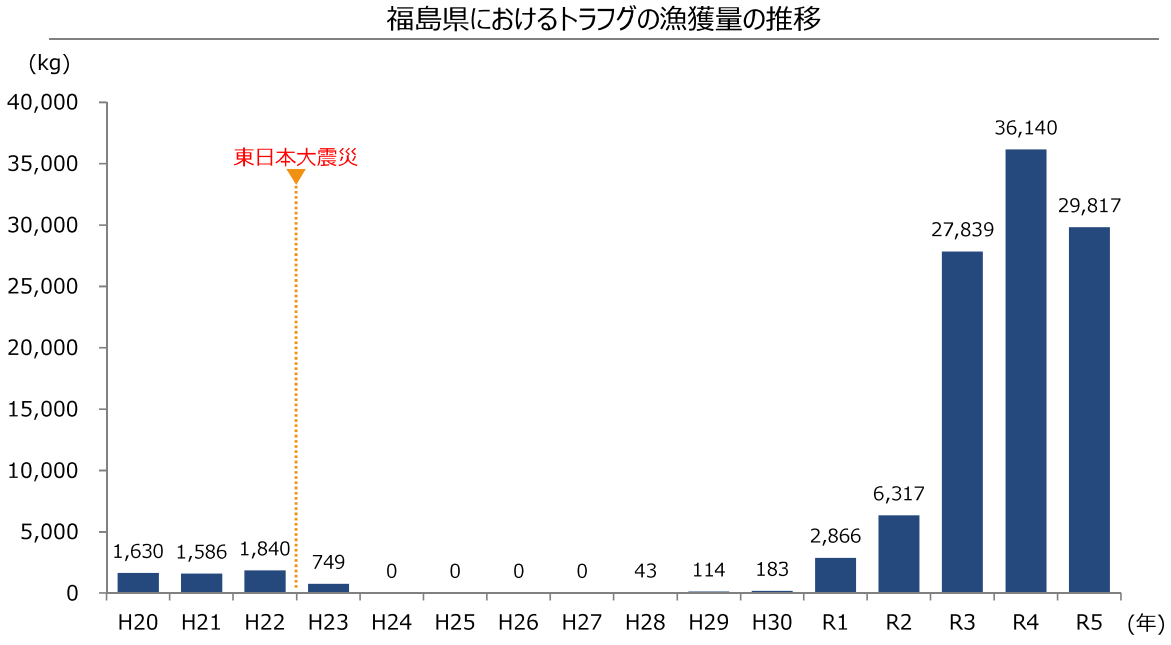


※ H23は震災前の漁獲を含む
※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移

福島県のトラフグの漁獲量は、平成24年～27年はなかったが、平成28年以降徐々に増加し、令和４年においては、海流の変化や水温の上昇を背景に約36トンまで増加した。令和５年においては、約30トンの漁獲量となった。

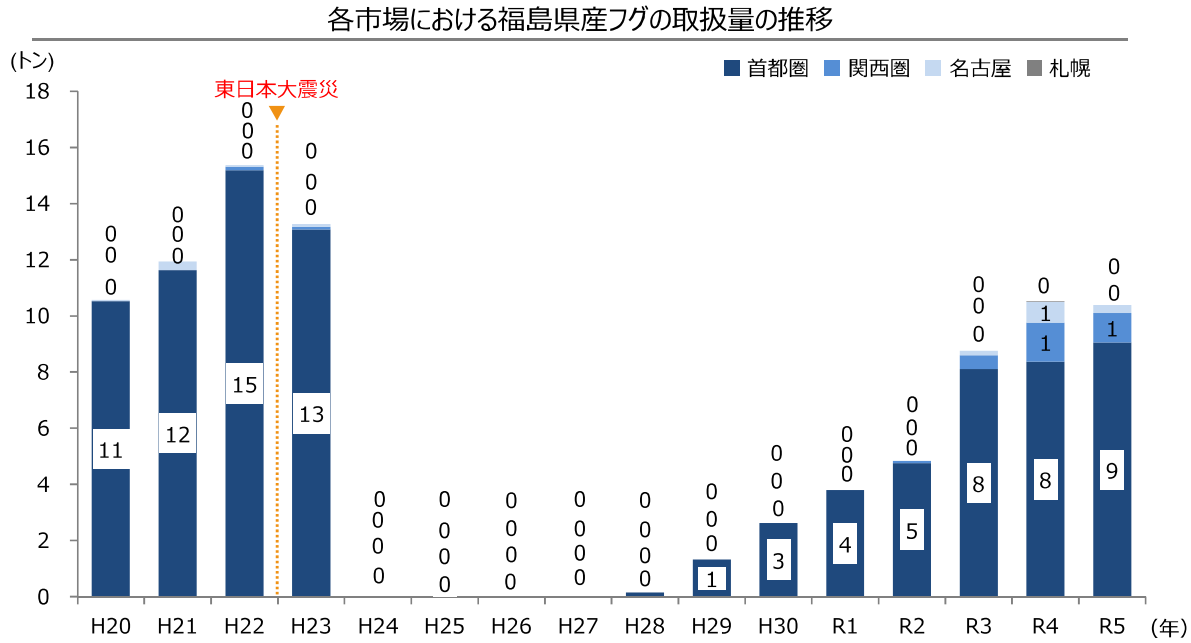


※ H23は震災前の漁獲を含む

データ出所：福島県（水産海洋研究センター）のデータを基に作成　※平成24～26年は、東日本大震災の影響による操業自粛等があり漁獲は皆無

各市場における福島県産フグの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産フグは、震災以降は平成28年より取扱いが開始され、令和３～５年に関西圏･名古屋･札幌で少量の取扱いがあるが、主に首都圏で取り扱われている。令和３年以降、取扱量は約10トンまで増加している。



データ出所：各卸売市場の統計データ
※H23は震災前の漁獲を含む
※首都圏は「トラフグ」、大阪はH26までは「フグ」･H27以降は「トラフグ」、京都･札幌は「フグ」、名古屋は「フグ類」のデータを活用

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるフグの産地リレー(令和５年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、３月・７月～８月を除き年間を通して福島県産トラフグの取扱いが見られ（１%に満たない数量の月を含む）、10月～11月にシェアが３位であった。横浜市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

東京都中央卸売市場　トラフグのデータ

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	7%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	4%	19%	17%	9%	9
千葉	34%	35%	46%	41%	16%	21%	20%	14%	24%	19%	27%	26%	45
山口	24%	28%	18%	18%	16%	25%	14%	28%	10%	22%	24%	29%	34
宮城	3%	2%	0%	2%	2%	12%	52%	4%	16%	20%	3%	2%	13
福岡	12%	14%	13%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	7%	7%	10
総量	**18**	**15**	**15**	**11**	**12**	**7**	**11**	**6**	**13**	**12**	**15**	**25**	

横浜市中央卸売市場　トラフグのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	0
山口	41%	29%	32%	25%	51%	48%	51%	62%	54%	35%	56%	56%	7
東京	29%	33%	43%	33%	7%	6%	1%	1%	2%	40%	26%	22%	4
千葉	18%	11%	15%	19%	4%	4%	11%	4%	12%	10%	7%	9%	2
福岡	11%	6%	8%	10%	24%	16%	18%	17%	15%	7%	6%	7%	1
大阪	0%	0%	0%	3%	8%	21%	14%	15%	12%	2%	3%	4%	1
総量	**2**	**2**	**1**	**1**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**1**	**2**	**5**	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるフグの産地リレー(令和５年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、６月～９月を除き福島県産トラフグの取扱いが見られた（１%に満たない数量の月を含む）。京都市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

大阪市中央卸売市場　トラフグのデータ

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	4%	3%	1%	1
中国	55%	26%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	27%	43%	53%	57%	40
長崎	16%	56%	72%	21%	41%	3%	4%	2%	2%	0%	5%	10%	17
熊本	10%	4%	3%	5%	0%	0%	0%	5%	19%	6%	9%	12%	8
大分	8%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	9%	28%	21%	12%	9%	7
山口	3%	7%	10%	12%	10%	21%	10%	8%	7%	10%	4%	4%	5
総量	**15**	**11**	**5**	**2**	**2**	**1**	**1**	**1**	**2**	**5**	**9**	**37**	

京都市中央卸売市場　フグのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
香川	47%	54%	4%	7%	0%	0%	0%	0%	15%	39%	41%	8%	27
長崎	29%	5%	42%	2%	2%	5%	6%	0%	1%	0%	0%	30%	17
山口	8%	3%	28%	56%	45%	11%	37%	7%	18%	12%	6%	9%	10
熊本	1%	2%	4%	0%	14%	26%	37%	39%	33%	18%	20%	19%	10
徳島	1%	1%	1%	3%	9%	8%	5%	3%	2%	3%	13%	12%	5
総量	**24**	**10**	**6**	**3**	**2**	**1**	**0**	**0**	**1**	**6**	**14**	**22**	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるフグの産地リレー(令和５年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産フグ類の取扱いは10月～１月にかけて見られた。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和５年産)

名古屋市中央卸売市場　フグ類のデータ

各月で市場シェア１位～３位の順に■■■で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0
山口	21%	21%	30%	23%	33%	39%	40%	51%	49%	32%	20%	24%	26
熊本	33%	32%	29%	16%	6%	1%	2%	0%	0%	16%	16%	28%	23
鳥取	25%	20%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	14%	19%	18%	15
愛知	9%	10%	3%	3%	3%	2%	3%	17%	19%	11%	22%	18%	12
三重	2%	2%	3%	4%	9%	21%	9%	8%	12%	4%	7%	5%	5
総量	**14**	**12**	**9**	**6**	**4**	**3**	**3**	**2**	**3**	**7**	**11**	**28**	

札幌市中央卸売市場　フグのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	11%	98%	100%	100%	100%	100%	97%	62%	1%	27
山口	91%	90%	92%	77%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	34%	92%	3
福岡	8%	10%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	8%	0
秋田	0%	0%	0%	12%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮崎	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**1**	**1**	**0**	**0**	**1**	**11**	**1**	**0**	**10**	**4**	**1**	**1**	

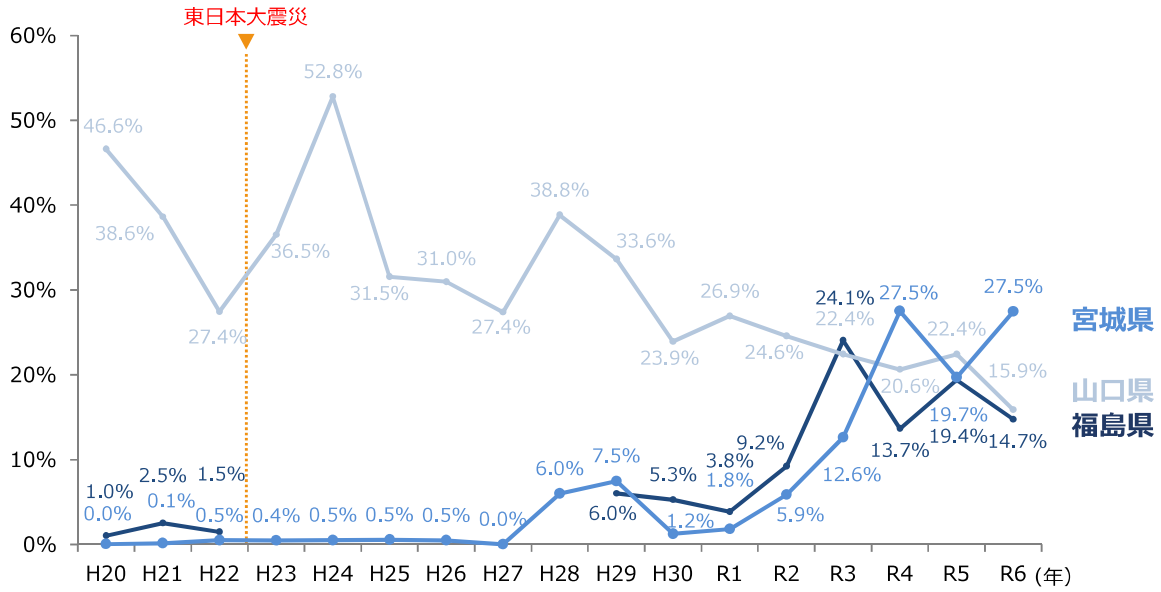
※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグのシェアの推移

東京都中央卸売市場における10月の福島県産トラフグのシェアは、震災後は震災前よりも高い水準で推移し、令和６年のシェアは約14.7%となっている。一方で、非常に高いシェアを誇っていた山口県のシェアは年々縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(10月)

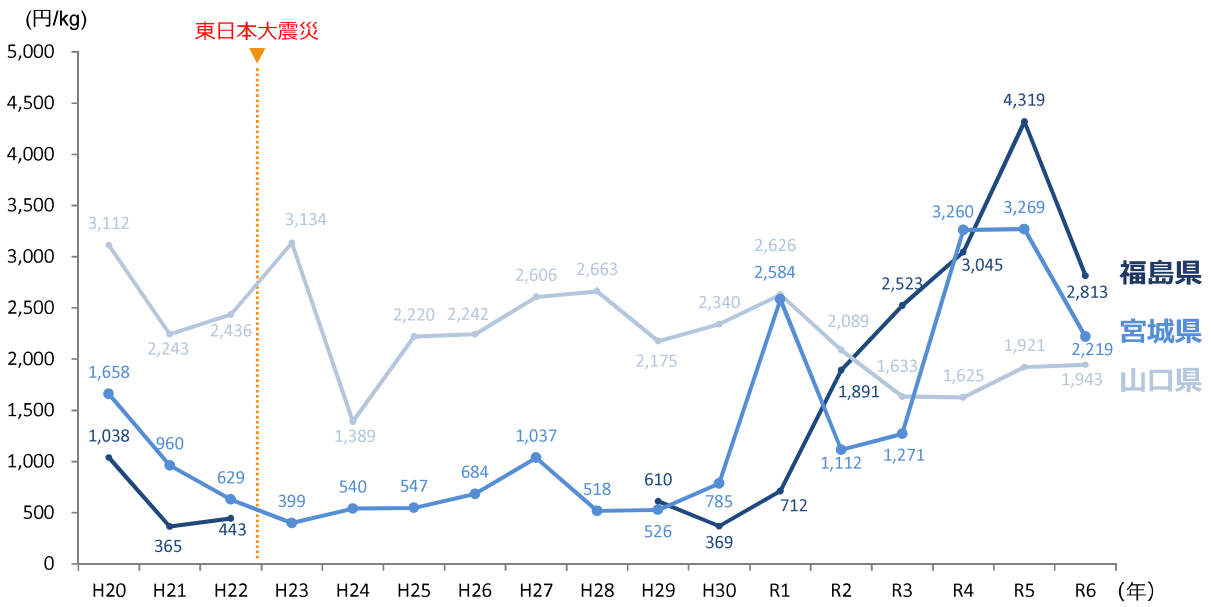


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグの単価の推移

東京都中央卸売市場における10月の福島県産トラフグの平均単価は、震災後は震災前よりも高い水準で推移している。特に令和２年以降の伸びが大きく、令和６年は産地を問わず価格が落ち込んだが、令和５年・６年は山口県産・宮城県産の価格を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(10月)

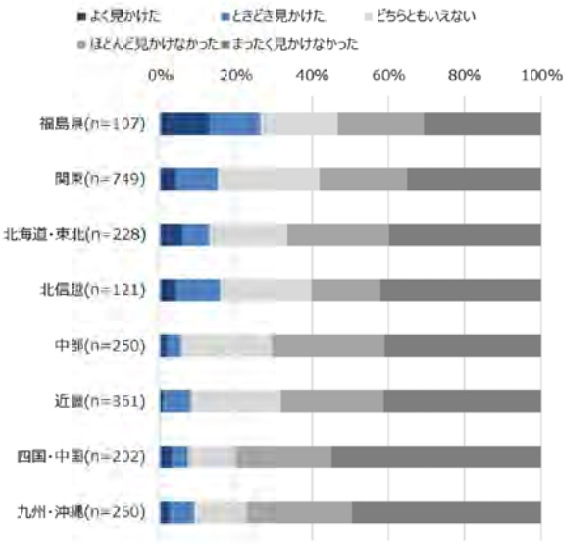


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産トラフグを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

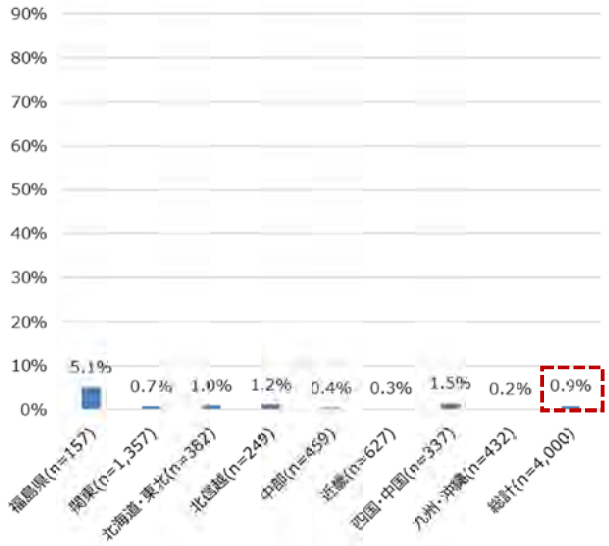
福島県産トラフグを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高かったが、福島県を含むその他の地域で15%に満たない。福島県産トラフグを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では0.9%であった。

福島県産トラフグを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トラフグの購入経験率

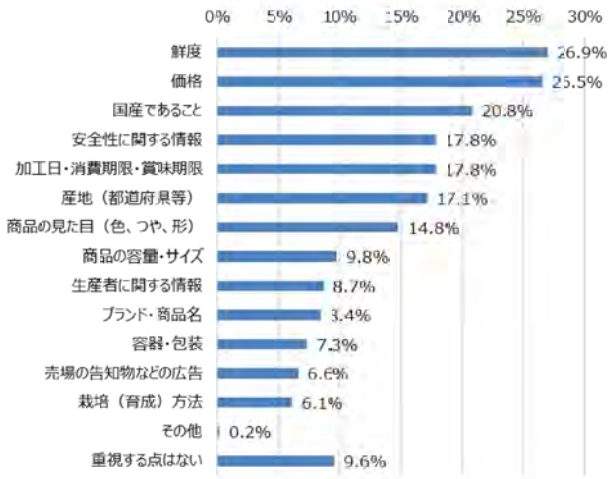


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

トラフグ購入時の重視点と福島県産トラフグの購入者の評価（消費者アンケート）

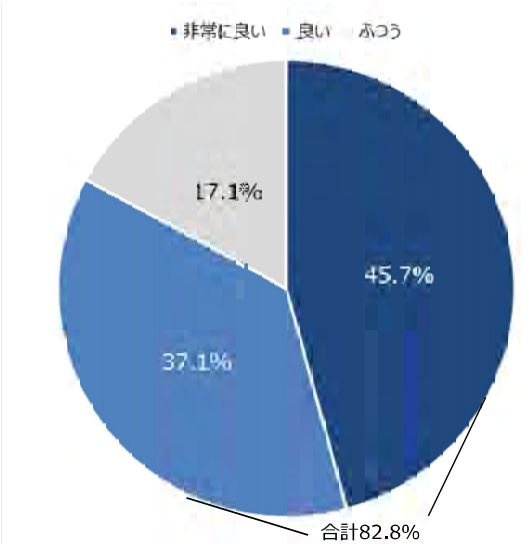
福島県産に限らずトラフグ購入時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産トラフグの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.8%であった。

トラフグ購入時の重視点（n=427、複数回答）



※トラフグ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上トラフグを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トラフグの購入者の評価（n=35）

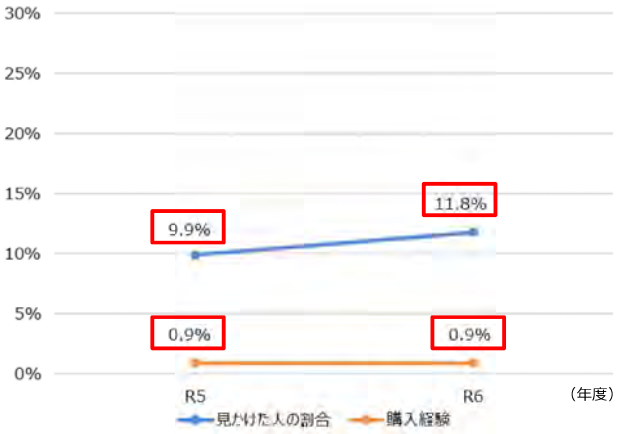


※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産トラフグを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

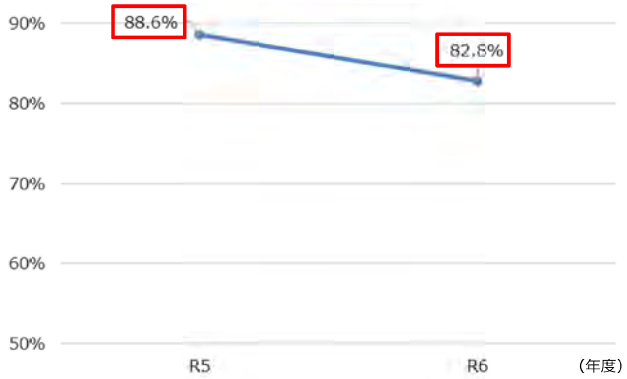
令和５年度と令和６年度を比較すると、福島県産トラフグを店頭で見かけた人の割合は1.9%ポイント上昇し、購入経験率は変化がなかった。福島県産トラフグの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は5.8%ポイント低下した。

福島県産トラフグを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR5:2,539、R6:2,278。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR5:4,000、R6:4,000。

福島県産トラフグを高く評価している人の割合

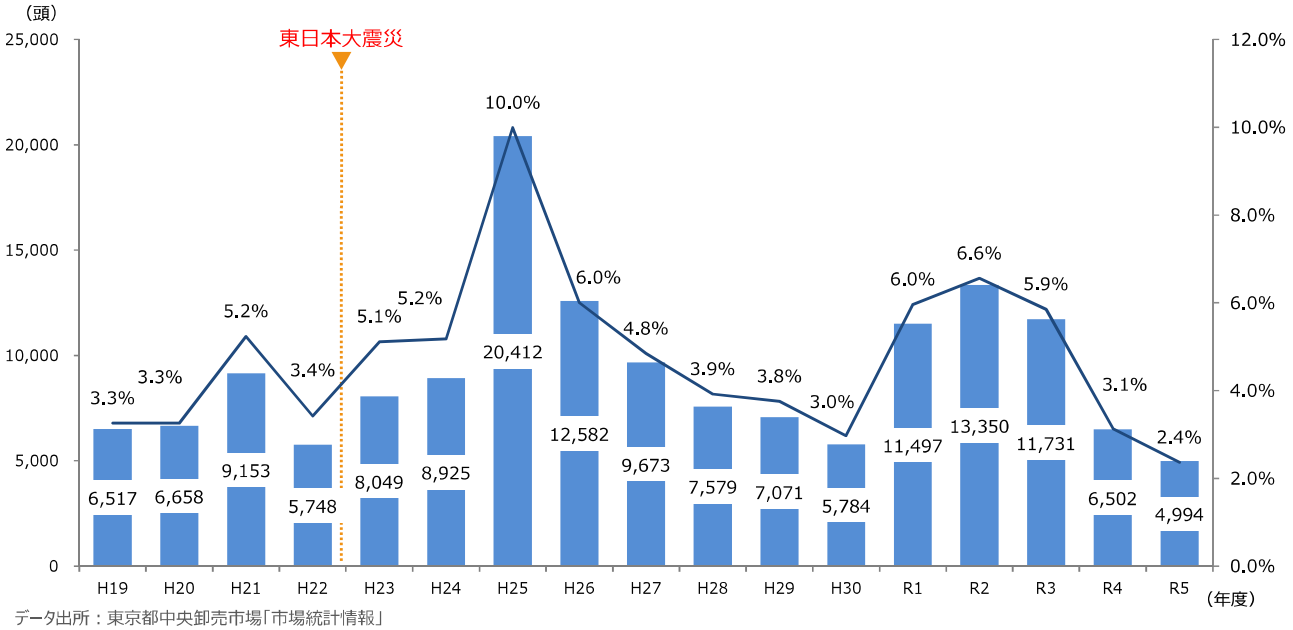


※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR5:35、R6:35。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数とシェアは、震災後増加したものの、平成25年度をピークに縮小傾向にあった。令和元年度以降は一時増加したが、再び縮小し、令和５年度の出荷頭数、シェア共に震災前より低い水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

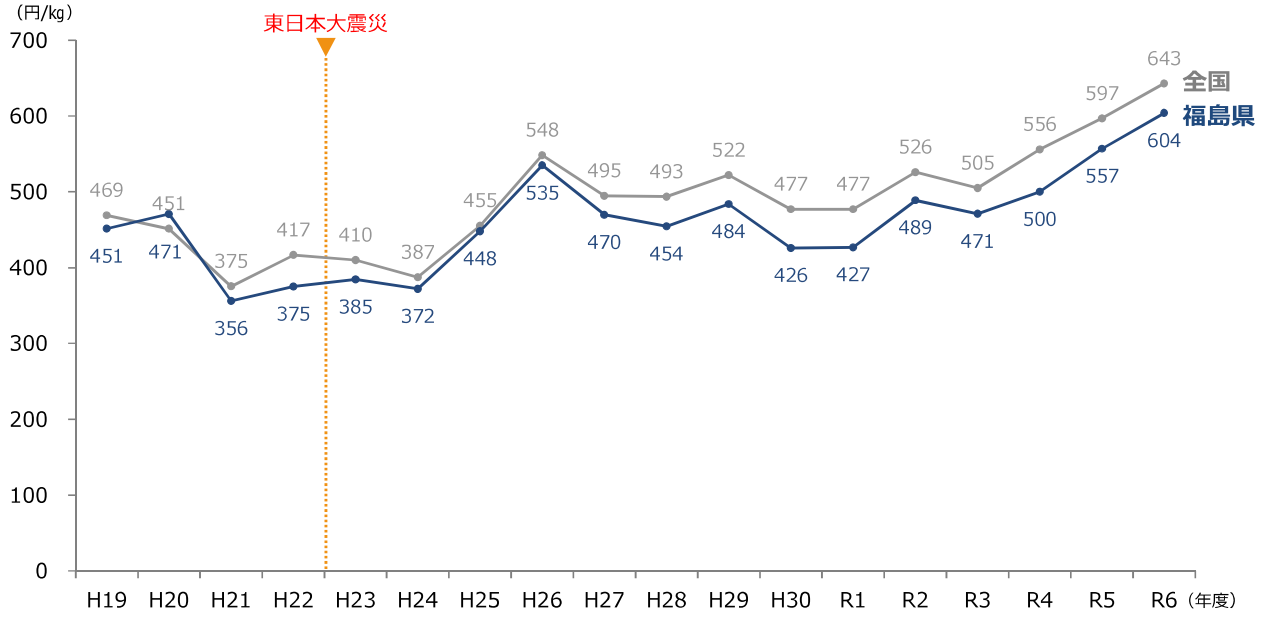


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の単価の推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の平均単価は、震災前後に関わらず概ね全国平均をやや下回る。平成24年度から26年度にかけて全国平均に接近したが、平成27年度以降は全国平均より30円～50円/kg程度低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の平均単価の推移



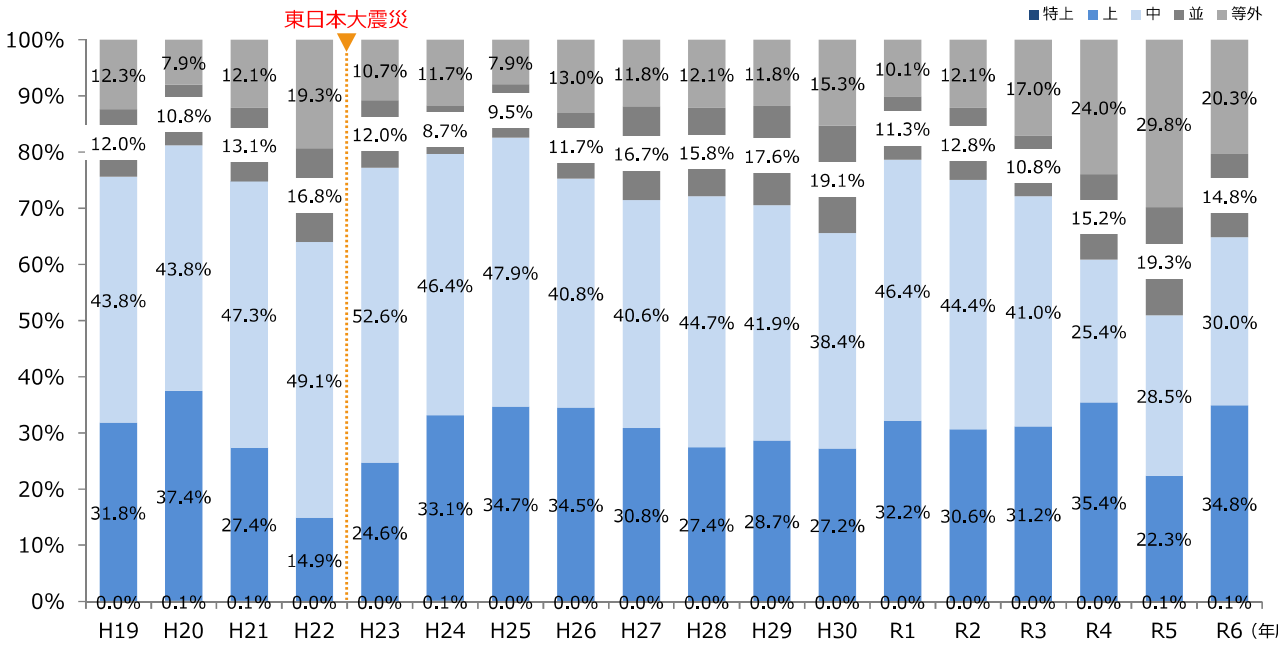
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※それぞれ年度単位の数値であり、令和6年度は令和6年12月までのデータを使用。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の等級別割合

福島県産豚肉の等級別の割合は、出荷年によってばらつきが大きい。令和５年度は、「上」の割合が減り「中」と「等外」の割合が大きくなったが、令和６年度は再び、「上」と「中」の割合が大きくなり、令和４年度の割合と近い結果となった。

福島県産豚肉の等級別割合推移

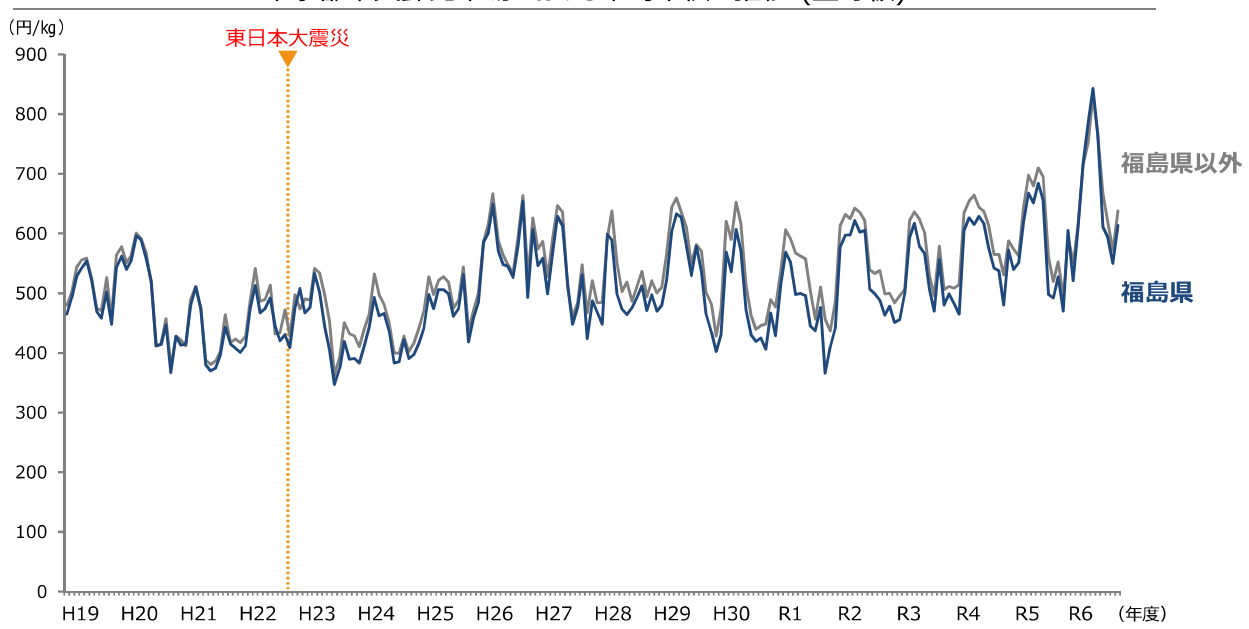


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※それぞれ年度単位の数値であり、令和6年度は令和6年12月までのデータを使用。

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（上等級））

上等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、平成28年度から令和５年度にかけては、福島県産以外が福島県産よりも若干高値で推移していたが、令和６年度においては、両者の平均単価はほぼ同水準で推移した。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移 (上等級)

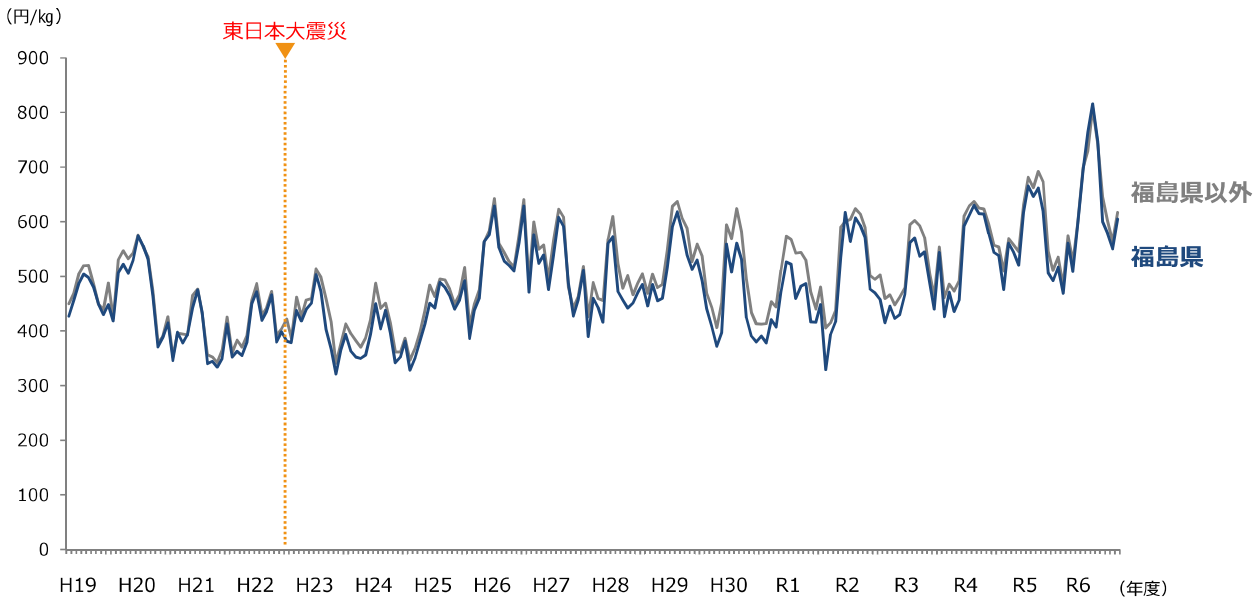


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※それぞれ年度単位の数値であり、令和6年度は令和6年12月までのデータを使用。

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（中等級））

中等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、平成28年度から令和５年度にかけては、福島県産以外が福島県産よりも若干高値で推移していたが、令和６年度においては、両者の平均単価はほぼ同水準で推移した。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移 (中等級)

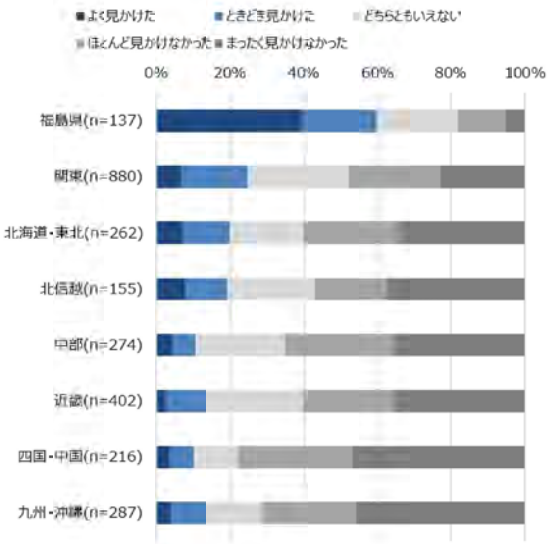


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※それぞれ年度単位の数値であり、令和6年度は令和6年12月までのデータを使用。

福島県産豚肉を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

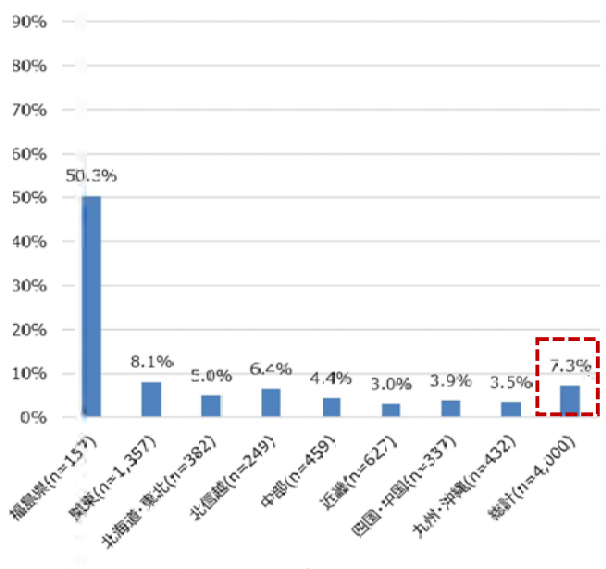
福島県産豚肉を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産豚肉を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.3%であった。

福島県産豚肉を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産豚肉の購入経験率

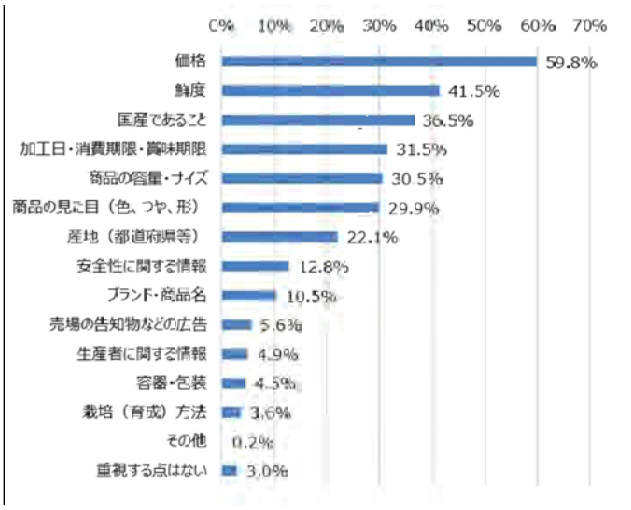


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

豚肉購入時の重視点と福島県産豚肉の購入者の評価（消費者アンケート）

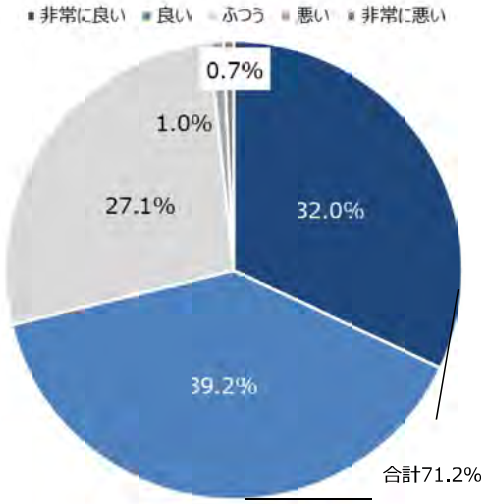
福島県産に限らず豚肉購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」があがった。福島県産豚肉の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.2%であった。

豚肉購入時の重視点（n=3,771、複数回答）



※豚肉購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上豚肉を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産豚肉の購入者の評価（n=291）

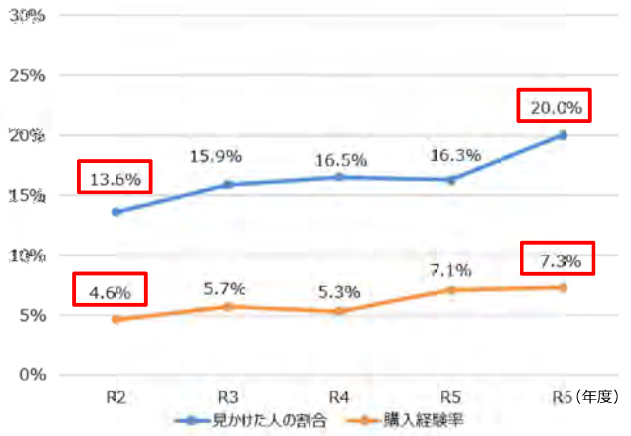


※福島県産豚肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

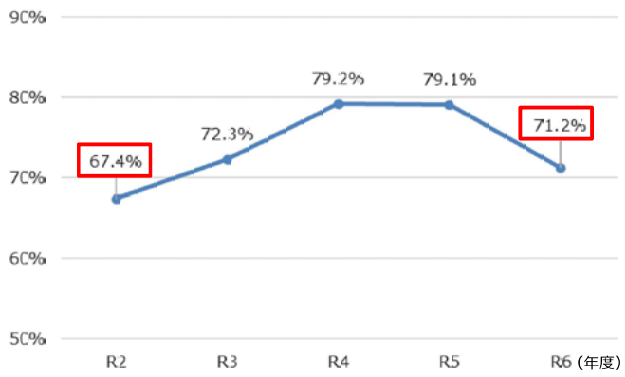
福島県産豚肉を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産豚肉を店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ6.4%ポイント、2.7%ポイント上昇し、福島県産豚肉の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.8%ポイント上昇した。

福島県産豚肉を見かけた人の割合、購入経験率



福島県産豚肉を高く評価している人の割合



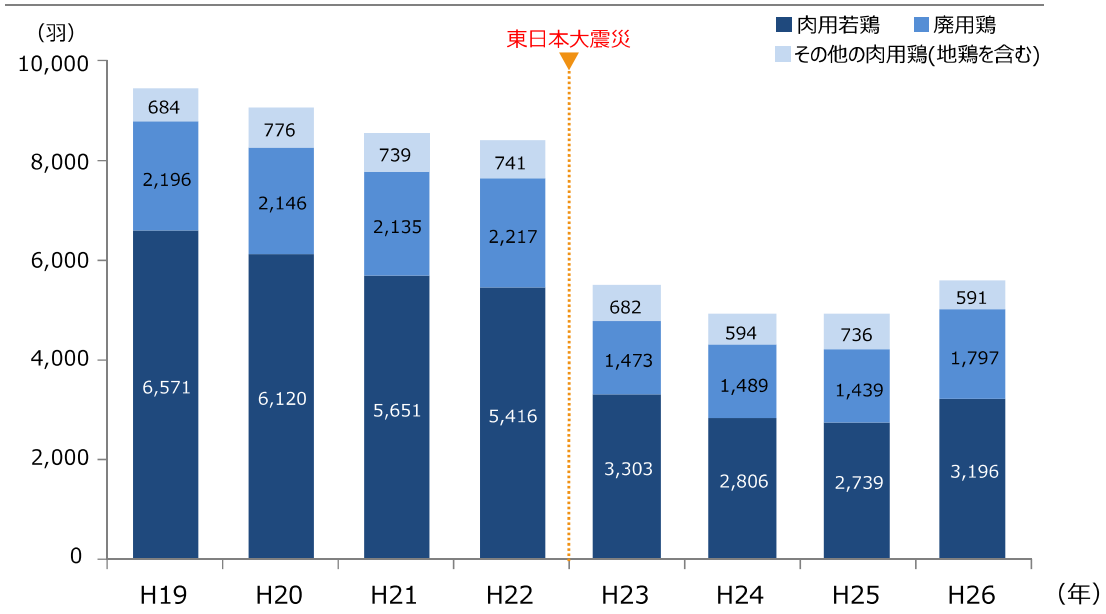
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,195、R3:7,724、R4:3,639、R5:2,874、R6:2,613。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、 R6:4,000。

※福島県産豚肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:501、R3:632、R4:294、R5:282、R6:291。

福島県産鶏の出荷羽数の推移

福島県産鶏の出荷羽数は、平成23年以降、肉用若鶏を中心に大幅に減少。ただし、最後に都道府県別統計が公表された平成26年は前年よりやや増加した。

福島県における鶏の出荷羽数



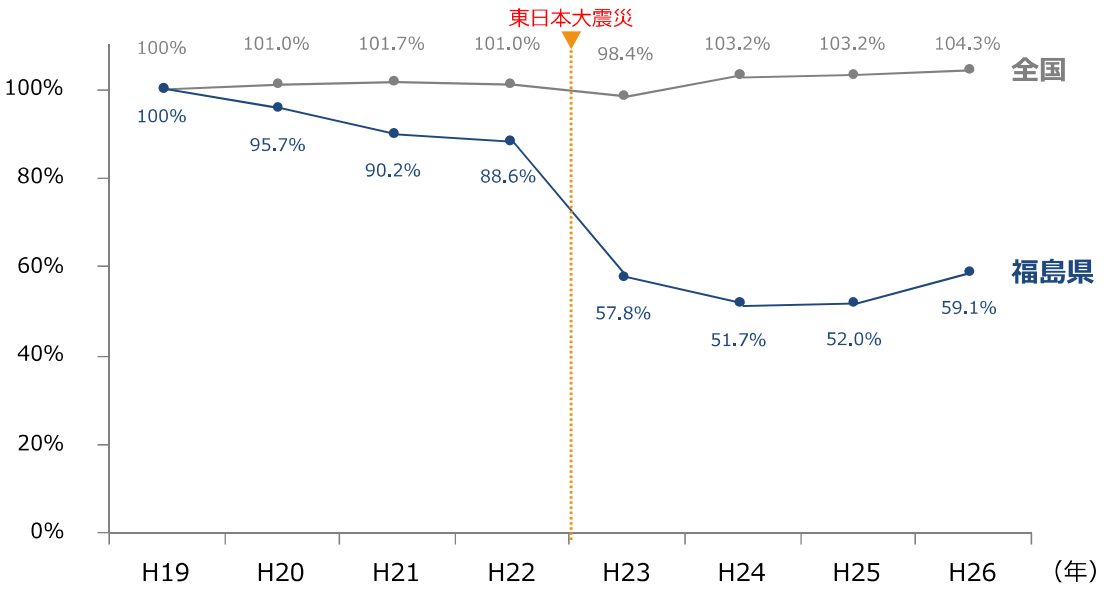
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数の推移

肉用若鶏の出荷羽数は、全国では微増傾向である一方、福島県の出荷羽数は震災後大幅に減少した後、平成19年比50～60%程度で推移している。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



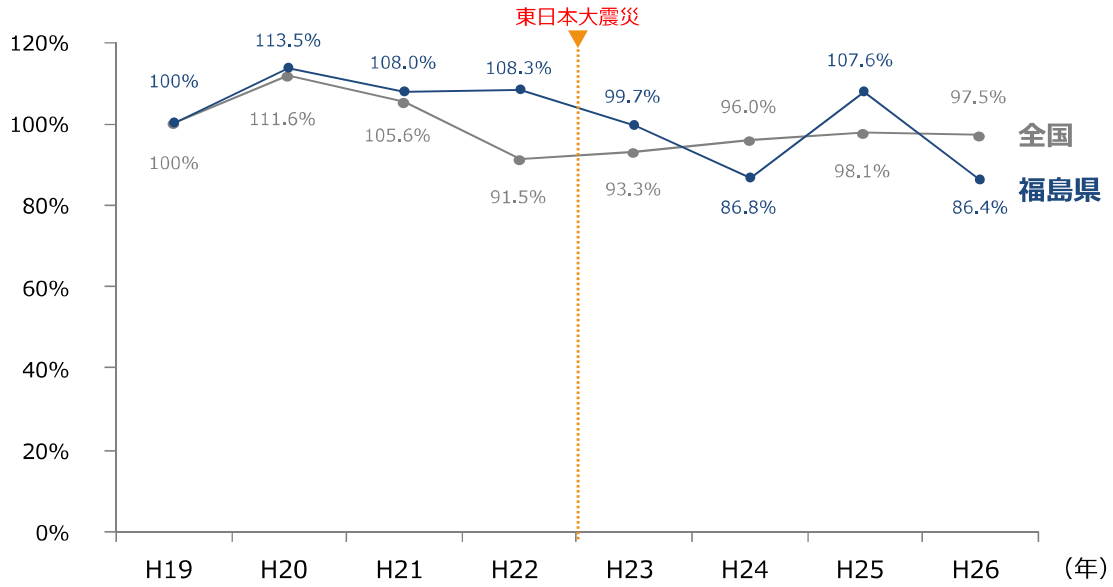
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数の推移

福島県産の地鶏を含むその他の肉用鶏の出荷羽数は、震災後、２年連続で減少した後、平成25年に一時的に回復したものの、平成26年に再び減少している。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



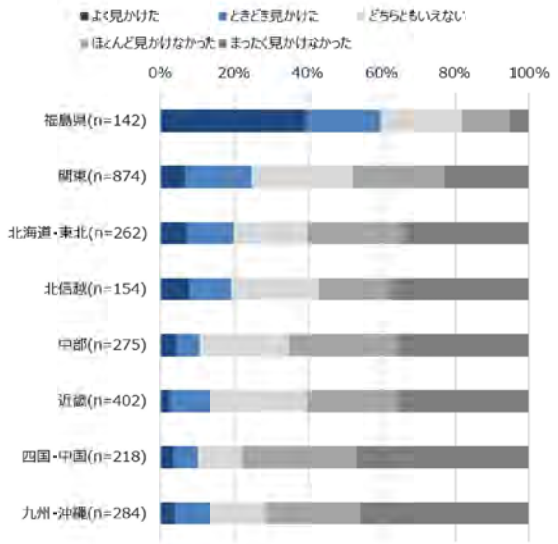
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

福島県産鶏肉を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

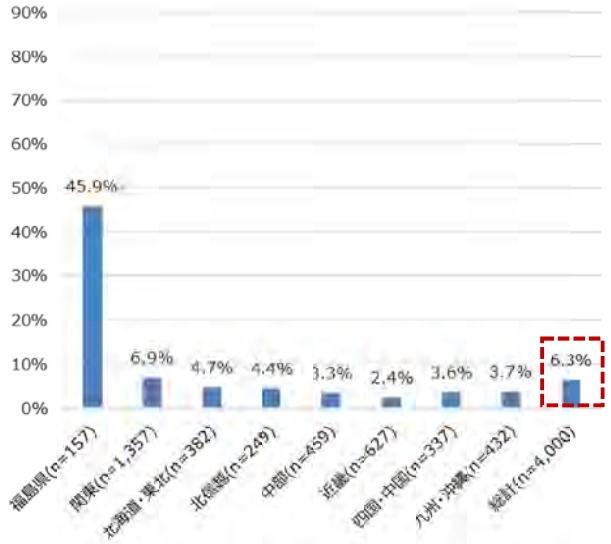
福島県産鶏肉を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産鶏肉を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.3%であった。

福島県産鶏肉を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産鶏肉の購入経験率

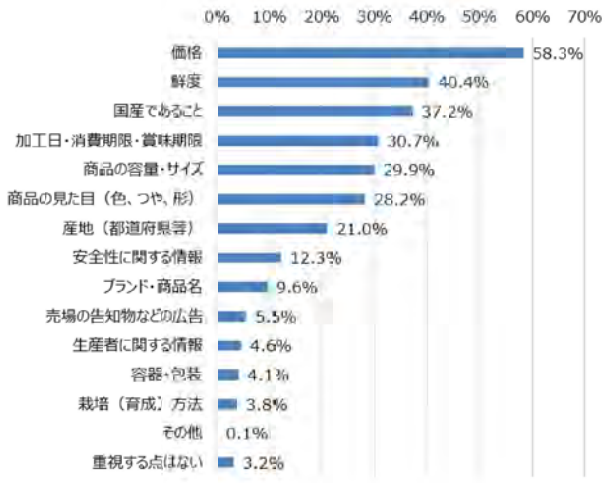


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

鶏肉購入時の重視点と福島県産鶏肉の購入者の評価（消費者アンケート）

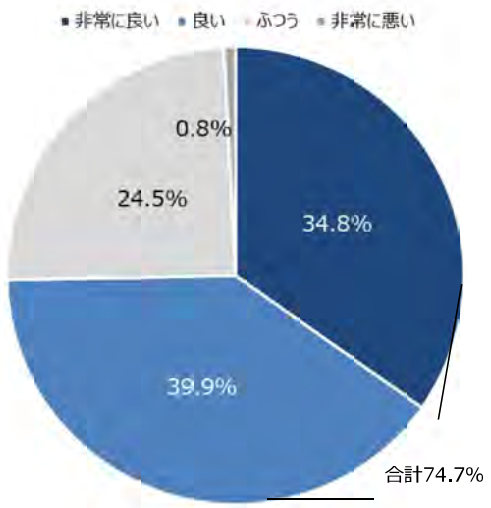
福島県産に限らず鶏肉購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産鶏肉の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.7%であった。

鶏肉購入時の重視点（n=3,664、複数回答）



※鶏肉購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上鶏肉を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏肉の購入者の評価（n=253）

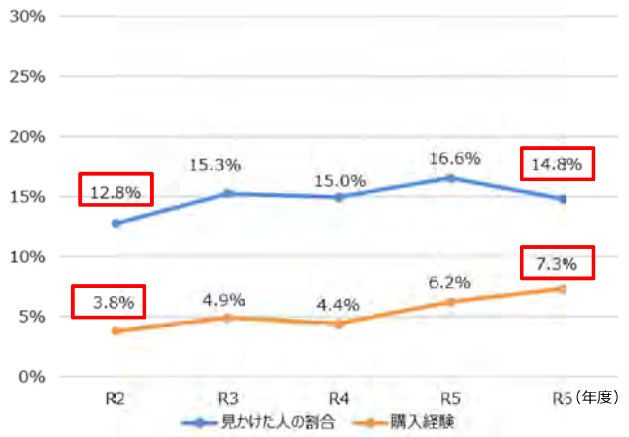


※福島県産鶏肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産鶏肉を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

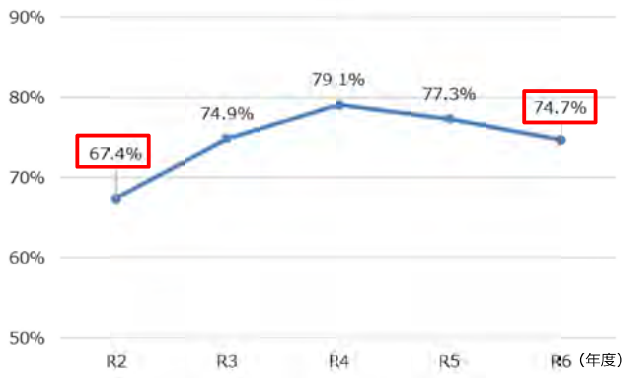
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産鶏肉を店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ2.0%ポイント、3.5%ポイント上昇し、福島県産鶏肉の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は7.3%ポイント上昇した。

福島県産鶏肉を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,189、R3:7,698、R4:3,644、R5:2,867、R6:3,484。nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産鶏肉を高く評価している人の割合

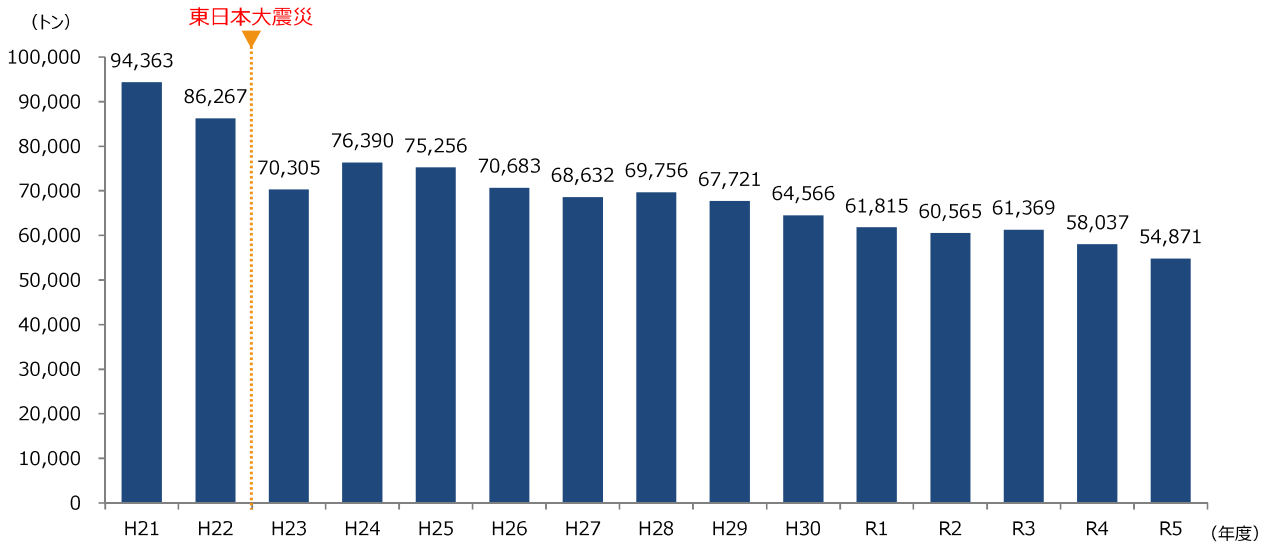


※福島県産鶏肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:421、R3:537、R4:244、R5:247、R6:253。

福島県産生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は平成23年度に大きく減少し、平成24年度に回復したものの、それ以降減少傾向で推移している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳受託販売乳量の推移

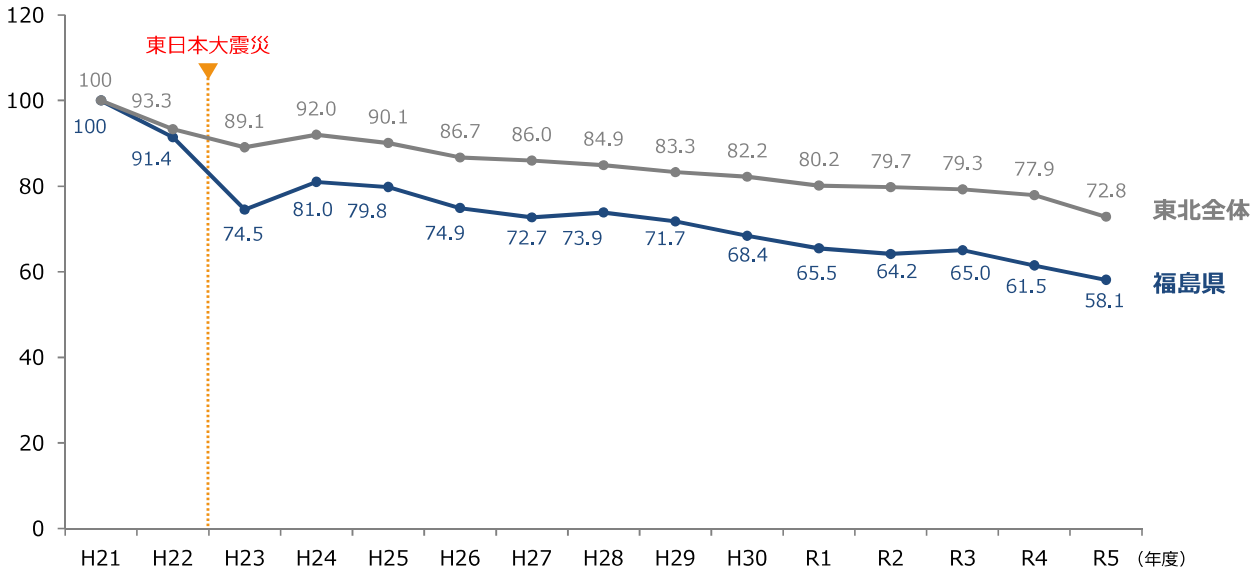


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

東北全体・福島県での生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は、震災前は東北全体と同程度の傾向で推移していたが、震災直後、大きく減少した。その後平成24年度にやや回復したが、それ以降は減少傾向で推移している。

東北全体・福島県での指定生乳生産者団体における生乳受託販売乳量の推移
（平成21年度を100とした指数）

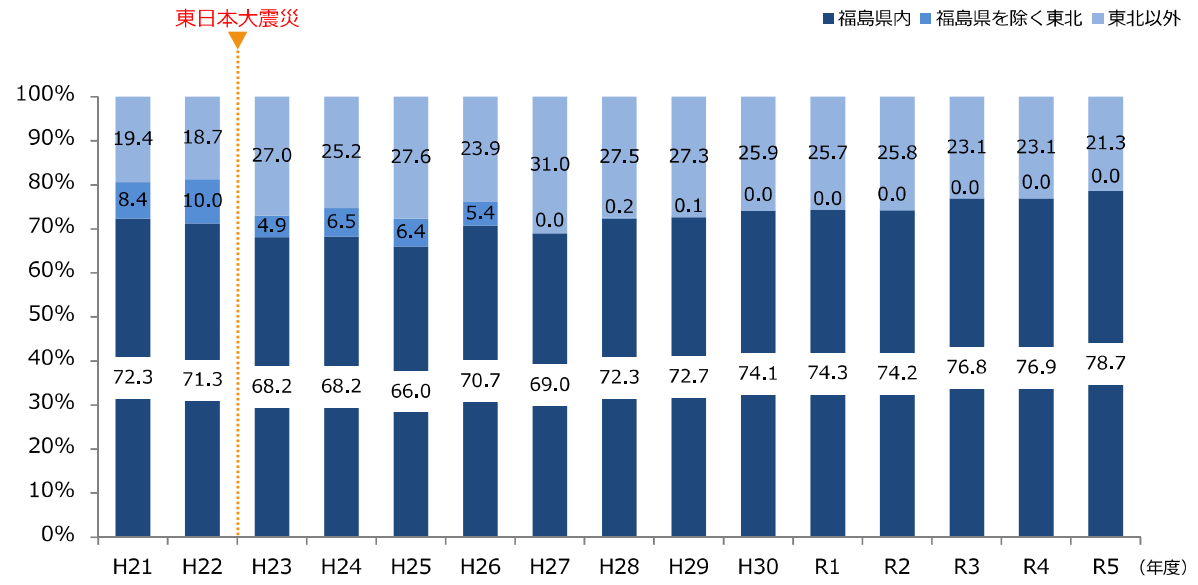


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

福島県産生乳の供給先別シェアの推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の供給先としては、県内向けが中心であり、平成27年度以降は福島県以外の東北地域への供給はほぼない状態が継続している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳供給先別シェアの推移

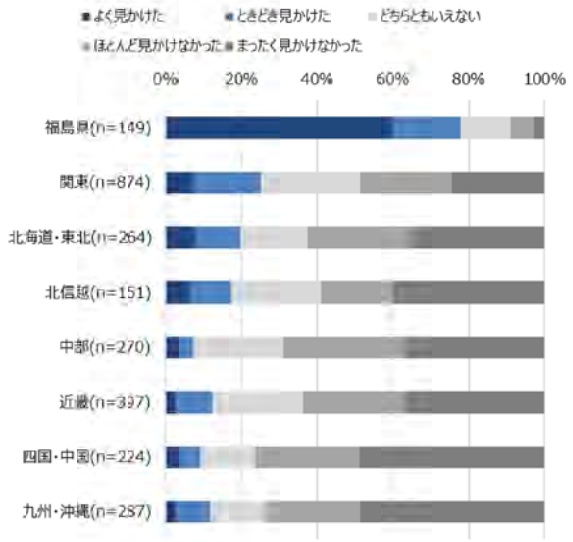


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

福島県産牛乳を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

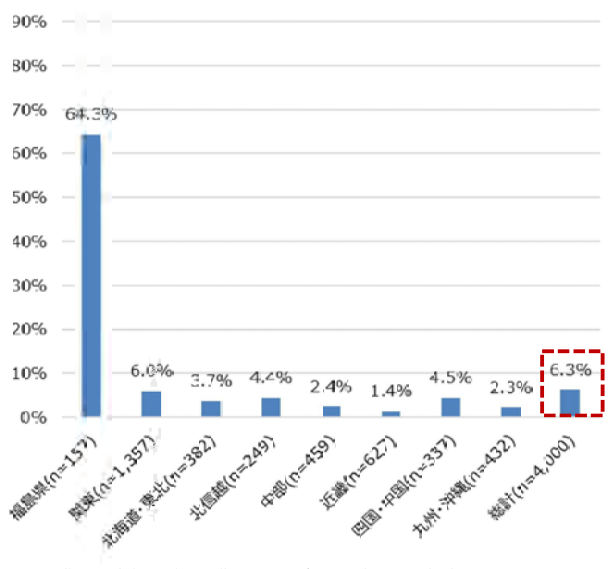
福島県産牛乳を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産牛乳を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.3%であった。

福島県産牛乳を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産牛乳の購入経験率

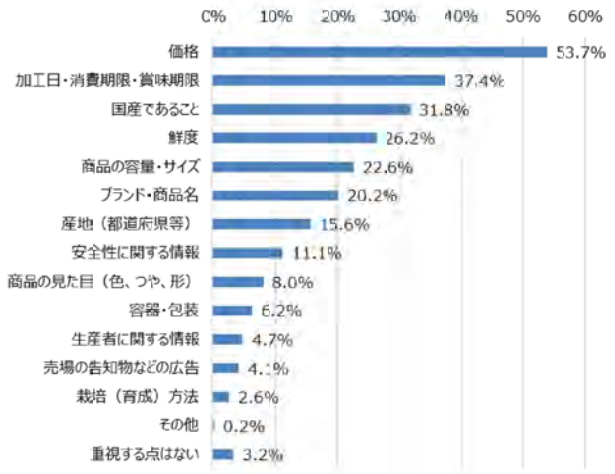


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

牛乳購入時の重視点と福島県産牛乳の購入者の評価（消費者アンケート）

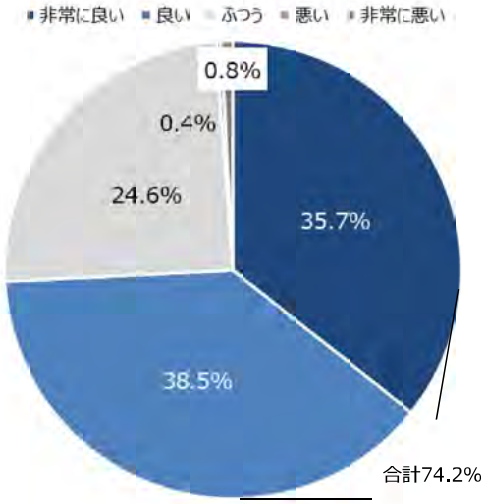
福島県産に限らず牛乳購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「加工日・消費期限・賞味期限」が上位にあがった。福島県産牛乳の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.2%であった。

牛乳購入時の重視点（n=3,307、複数回答）



※牛乳購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上牛乳を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳の購入者の評価（n=252）

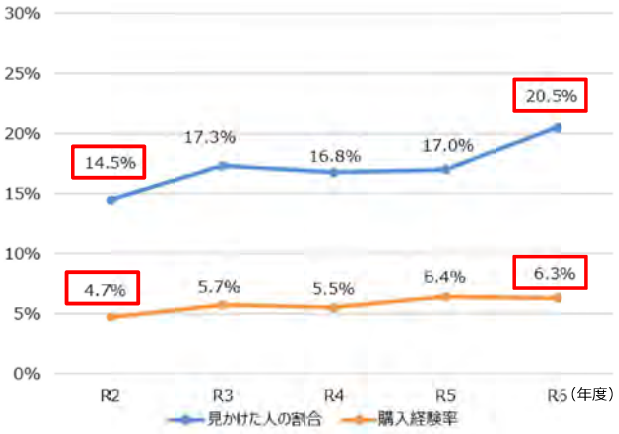


※福島県産牛乳を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

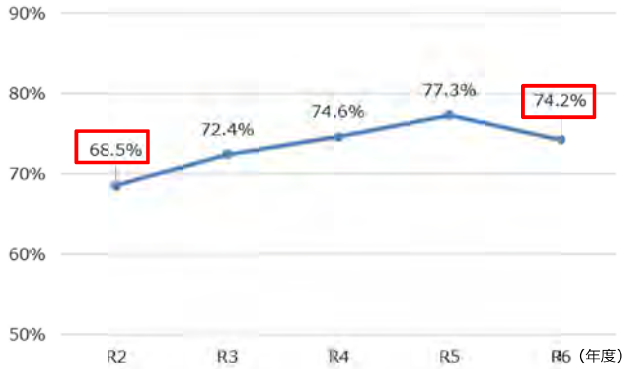
令和２年度と令和６年度を比較すると、福島県産牛乳を店頭で見かけた人の割合、購入経験率は、それぞれ6.0%ポイント、1.6%ポイント上昇し、福島県産牛乳の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は5.7%ポイント上昇した。

福島県産牛乳を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:7,233 、R3:7,709、R4:3,643、R5:2,903、R6:2,616。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

福島県産牛乳を高く評価している人の割合



※福島県産牛乳を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:520、R3:629、R4:303、R5:256、R6:252。